

神栖市国民健康保険 データヘルス計画書

平成28年3月
神栖市

-目次-

I. 事業目的と背景		
1. 事業目的と背景		3
2. データヘルス計画の位置付け		3
3. 基本方針		4
4. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		7
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		8
(4) 介護保険の状況		16
(5) 死因の状況		20
4. 過去の取組みの考察		21
(1) 特定健康診査・特定保健指導の導入		21
(2) 保健事業実施状況		21
(3) 保健事業の課題		23
II. 現状分析と課題		
1. 医療費状況の把握		24
(1) 基礎統計		24
(2) 高額レセプトの件数及び要因		29
(3) 疾病別医療費		33
(4) 医療機関受診状況の把握		68
(5) 人工透析患者の実態		69
(6) 糖尿病性腎症重症化予防対象者分析		71
(7) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数		74
(8) メンタル疾患の発症予防事業		75
(9) ジェネリック医薬品普及率		77
(10) 特定健診結果とレセプトによる分析		80
(11) 特定健診の受診者と未受診者の治療状況		85
(12) 特定保健指導対象者・非対象者の医療費比較		89
2. 分析結果と課題及び対策の設定		91
III. 実施事業		
1. 実施事業の目的と概要		96
2. データヘルス計画の見直し		98

-目次-

IV. 事業内容	
1. 特定健康診査未受診者対策(特定健診受診率向上)	99
2. 特定保健指導事業	101
3. 健診異常値放置者受診勧奨事業	103
4. 糖尿病性腎症重症化予防事業	107
5. 高血圧症重症化予防事業	109
6. 受診行動適正化指導事業	111
7. ジェネリック医薬品差額通知事業	117
8. 薬剤併用禁忌防止事業	120
9. 人間ドック等健康診査費用助成事業	123
10. 若年者健康診査事業	123
11. ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業	124
V. その他	
1. データヘルス計画の公表・周知	125
2. 事業運営上の留意事項	125
3. 個人情報の保護	125

I. 事業目的と背景

1. 事業目的と背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組みを求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報(以下「診療報酬明細書等情報」という))を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、診療報酬明細書等情報を活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。それぞれの事業については、少なくとも毎年度効果の測定及び評価を行ったうえで、必要に応じて事業内容等の見直しを行うこととしている。

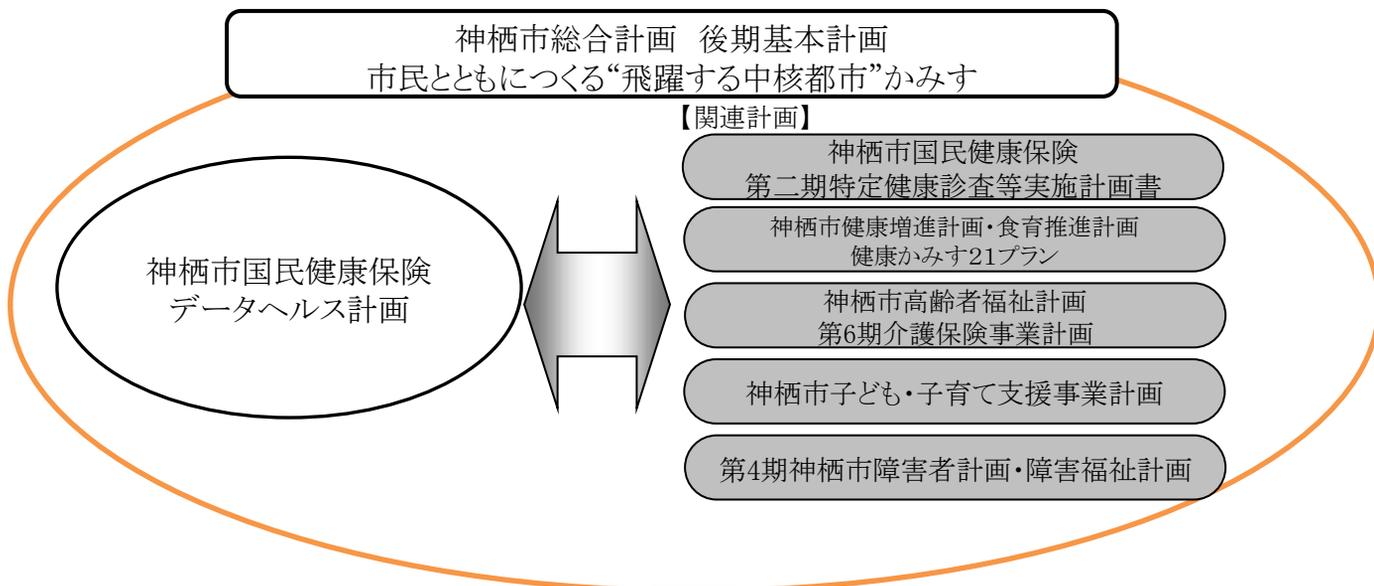
神栖市国民健康保険においては、上記の要件に沿ってデータヘルス計画を作成し、被保険者の健康維持増進をはかる。

診療報酬明細書等情報を用いた現状分析は、データホライゾン社の医療費分解技術と傷病管理システムを用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料など)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報および診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

2. データヘルス計画の位置付け

「データヘルス計画」は、「健康日本21(第二次)」に示された基本方針を踏まえるとともに、神栖市の関連計画で定めた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る。



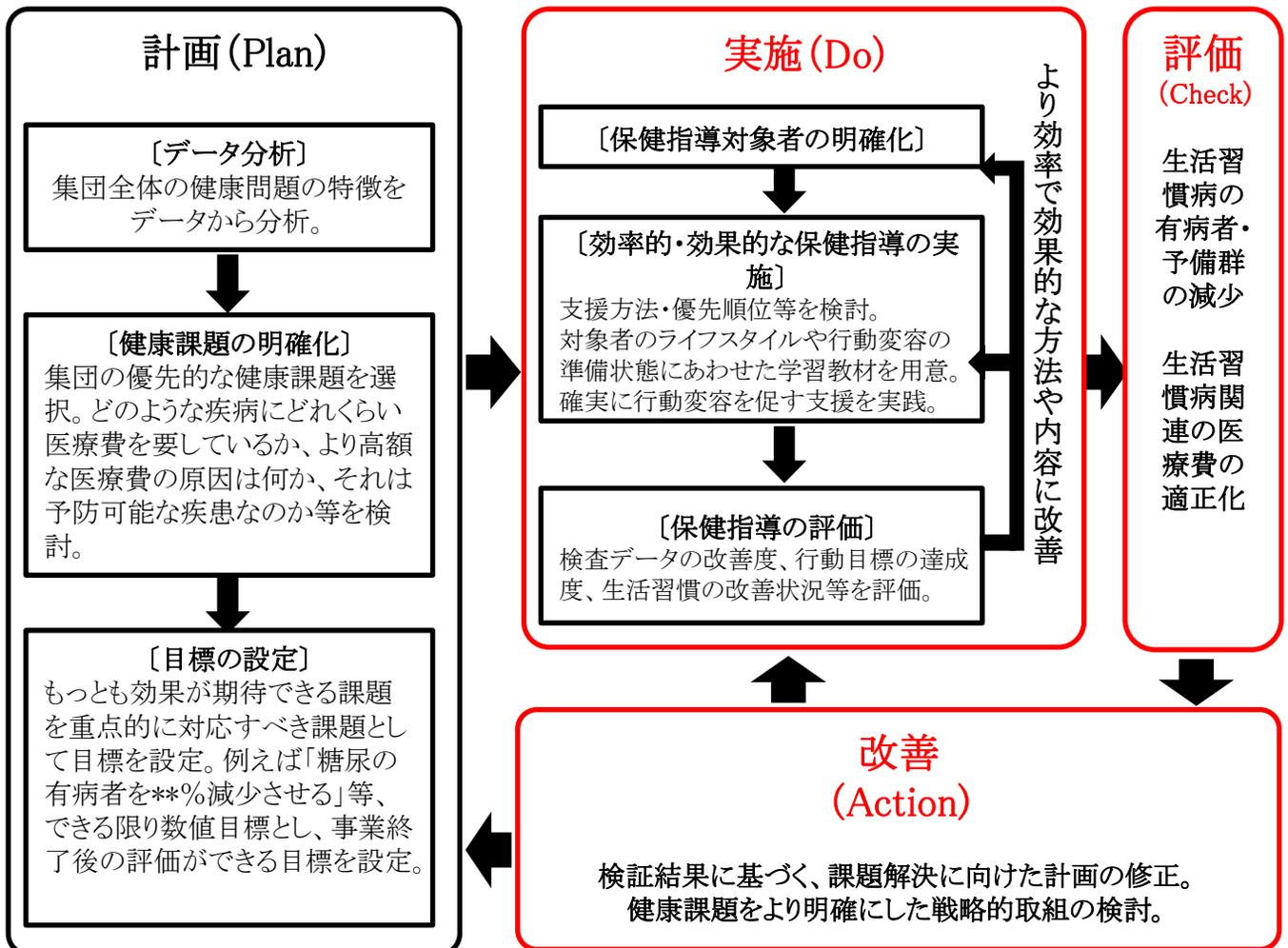
3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画書には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することの出来る効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

【保健事業のPDCAサイクル】



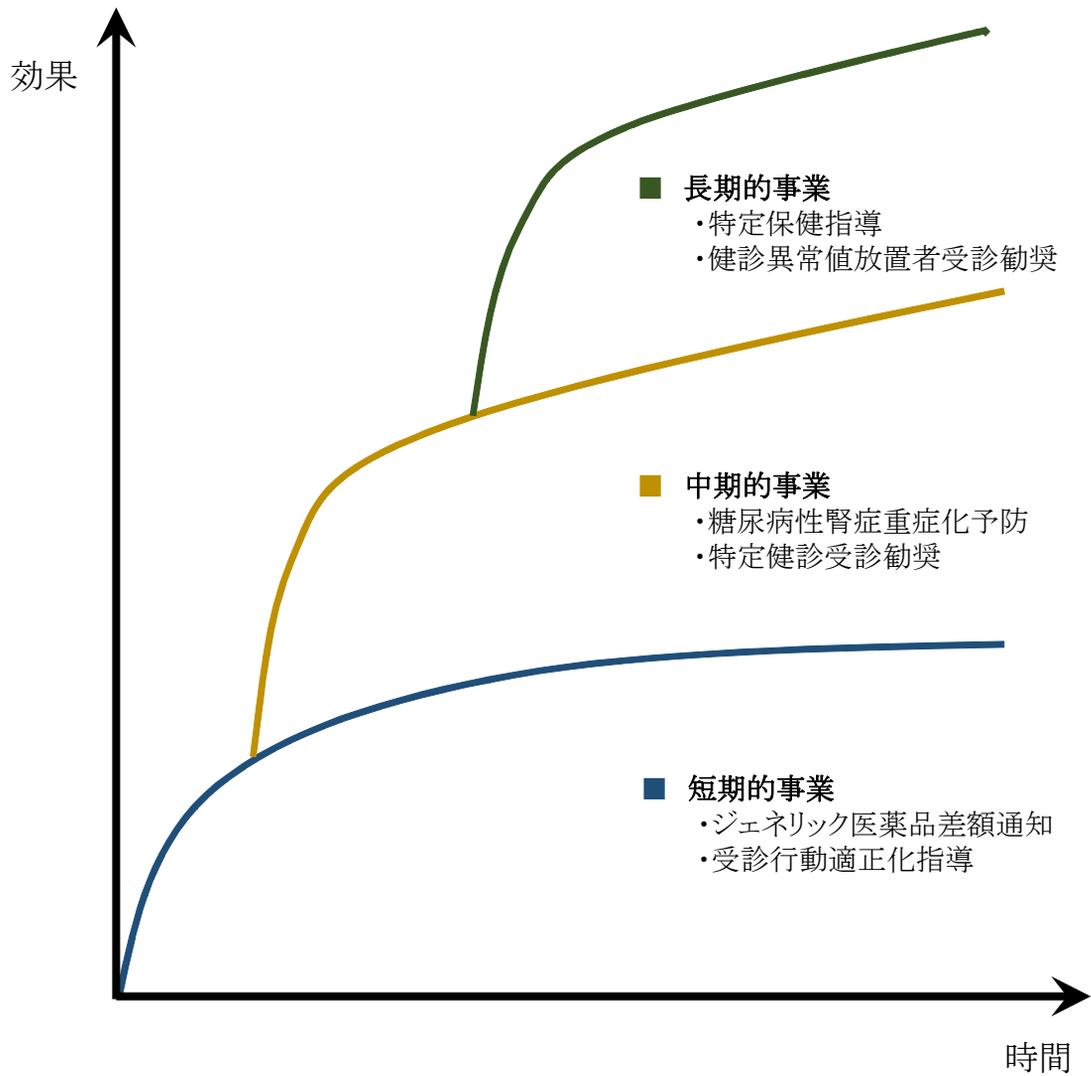
出典：厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」

特定健診受診勧奨

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。

これら事業を神栖市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. 保険者の特性把握

(1)基本情報

本市の平成26年度人口は、91,321人である。高齢化率(65歳以上)は17.2%、茨城県22.8%と比較すると約0.8倍、国23.2%と比較すると約0.7倍である。

国民健康保険被保険者数は、30,880人で、市の人口に占める国保加入率は33.8%である。国保被保険者平均年齢は46.5歳である。

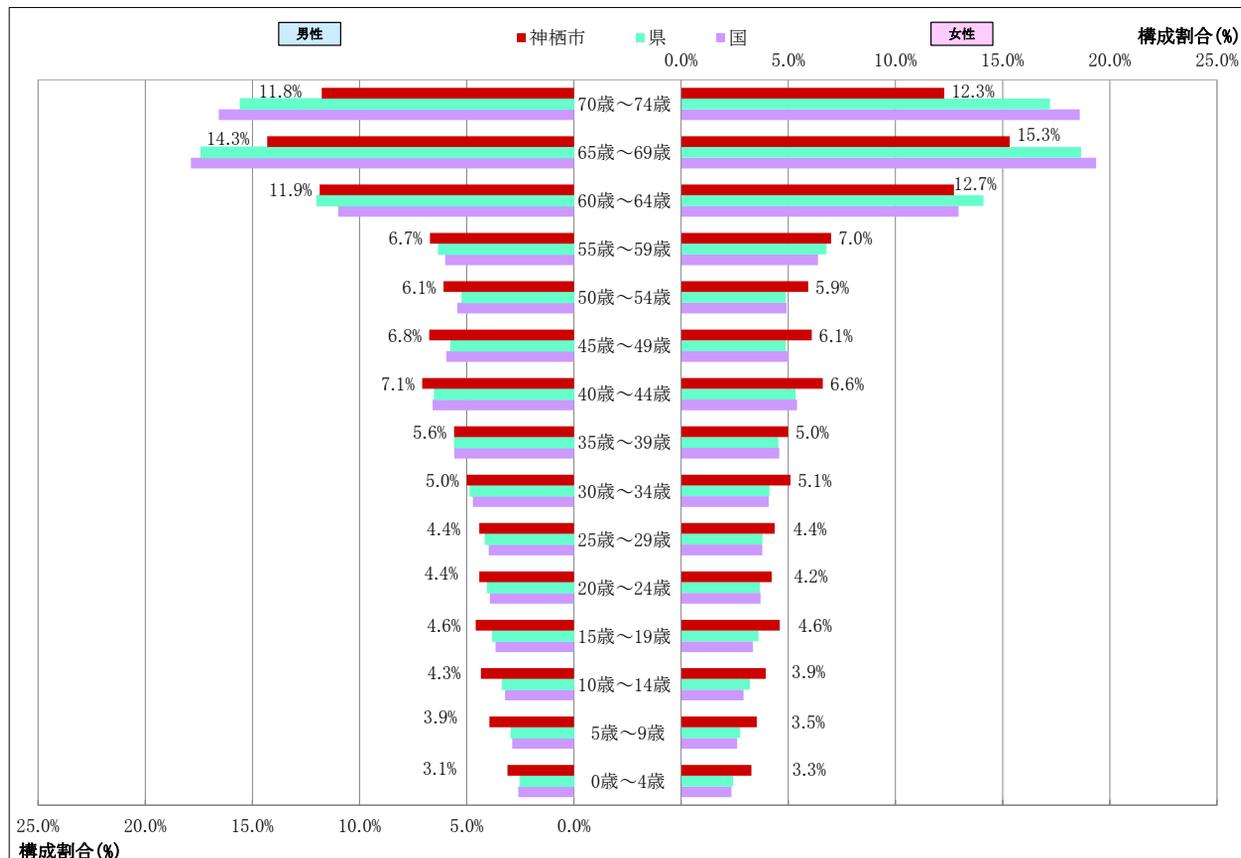
人口構成概要(H26年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
神栖市	91,321	17.2%	30,880	33.8%	46.5	10.6%	8.5%
県	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
同規模	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下全ての表において同様である。

※国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド(H26年度)



※国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」より

(2)医療費等の状況

本市の医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(H26年度)

医療項目	神栖市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.2
診療所数	1.2	2.0	2.6	2.7
病床数	32.8	36.9	47.1	44.0
医師数	2.8	5.9	6.8	7.9
外来患者数	528.9	606.0	662.5	652.3
入院患者数	14.2	15.7	19.2	18.1
受診率	543.2	621.6	681.7	670.4
一件当たり医療費(円)	34,110	33,710	35,330	34,740
一般(円)	33,900	33,600	35,280	34,650
退職(円)	38,590	35,680	36,040	36,580
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	61.2%	62.2%	59.3%	59.7%
外来受診率	528.9	606.0	662.5	652.3
一件当たり医療費(円)	21,440	21,510	21,540	21,320
一人当たり医療費(円)	11,340	13,030	14,270	13,910
一日当たり医療費(円)	14,610	14,100	13,410	13,210
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	38.8%	37.8%	40.7%	40.3%
入院率	14.3	15.7	19.2	18.1
一件当たり医療費(円)	504,470	505,710	511,970	517,930
一人当たり医療費(円)	7,190	7,930	9,810	9,380
一日当たり医療費(円)	37,550	33,150	31,290	32,530
一件当たり在院日数	13.4	15.3	16.4	15.9

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

(3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

①特定健康診査

本市の平成26年度における、40～74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

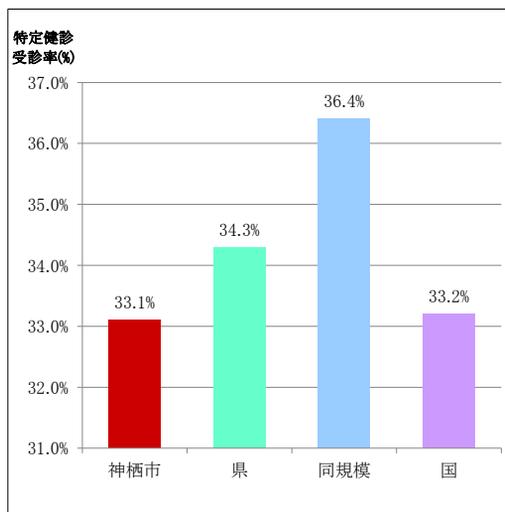
特定健康診査受診状況 (H26年度)

	特定健診受診率	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
神栖市	33.1%	9.8%	6.4%	16.2%	15.1%
県	34.3%	10.1%	4.3%	14.4%	8.3%
同規模	36.4%	8.9%	3.2%	12.0%	4.8%
国	33.2%	8.6%	3.4%	12.0%	3.9%

※動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

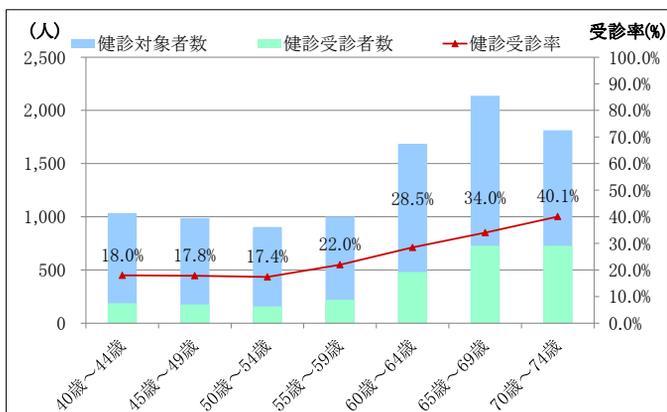
特定健康診査受診率(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向にある。

(男性)年齢別特定健康診査受診率(H26年度) グラフ



(女性)年齢別特定健康診査受診率(H26年度) グラフ



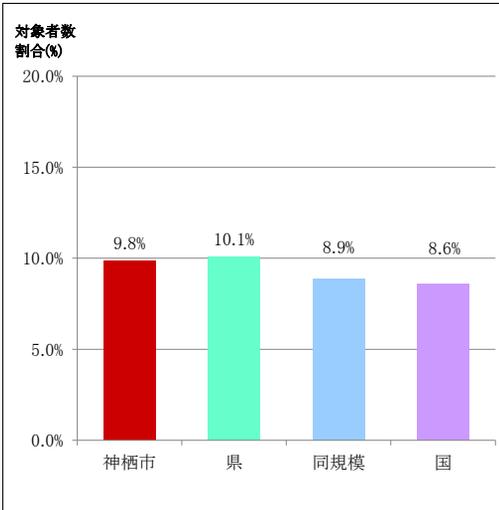
※国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

②特定保健指導

本市の平成26年度における、特定保健指導の実施率を以下に示す。

健診受診者に対する

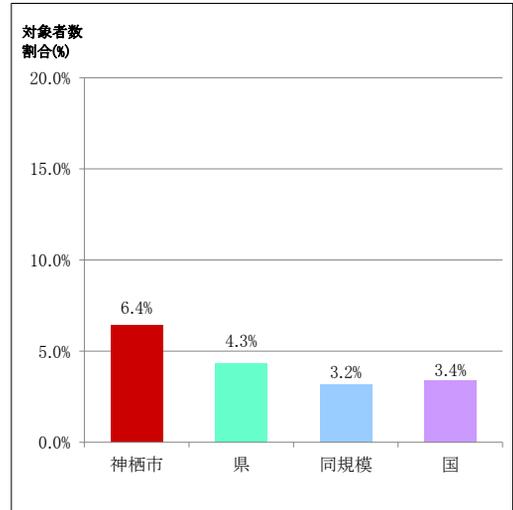
動機付け支援対象者数割合(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

健診受診者に対する

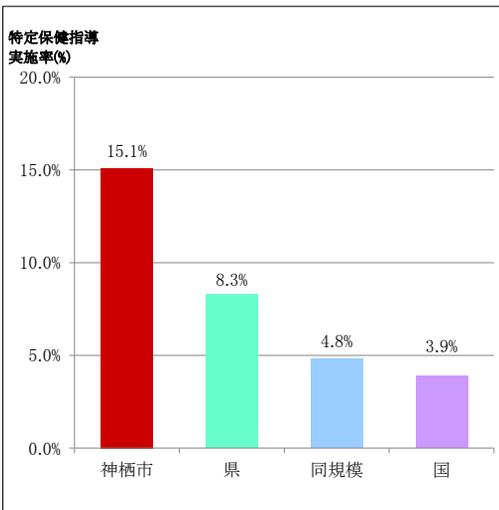
積極的支援対象者数割合(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

健診受診者に対する

特定保健指導実施率(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

③特定健診結果

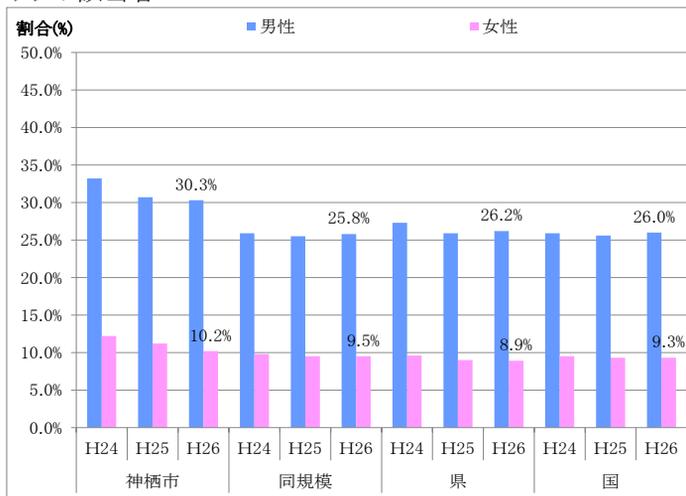
平成24年度から平成26年度の特定健診結果を以下に示す。メタボ該当者・予備群・腹囲において、男女共に同規模・県・国より割合が多い状況である。

健診結果

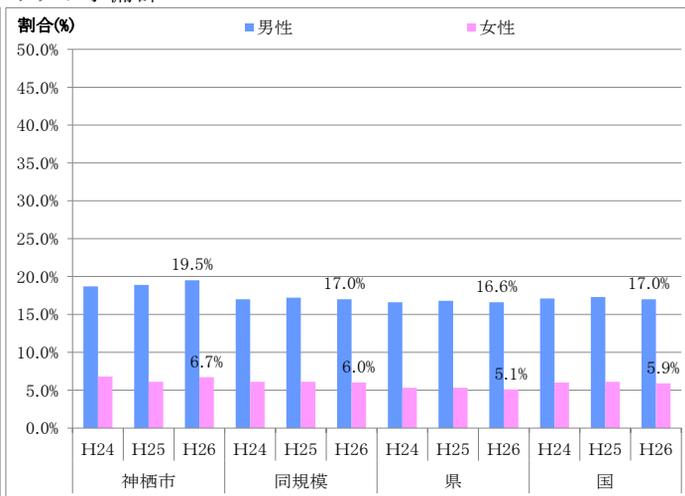
		神栖市			同規模			県			国			
		H24	H25	H26										
非肥満高血糖		13.9	9.6	9.7	11.2	9.3	9.5	15.7	12.9	13.6	10.6	8.9	9.1	
メタボ	該当者	21.1	19.5	18.7	16.7	16.4	16.5	17.3	16.4	16.5	16.6	16.3	16.5	
	男性	33.2	30.7	30.3	25.9	25.5	25.8	27.3	25.9	26.2	25.9	25.6	26.0	
	女性	12.2	11.2	10.2	9.8	9.5	9.5	9.6	9.0	8.9	9.5	9.3	9.3	
	予備群	11.8	11.5	12.1	10.8	10.9	10.7	10.2	10.3	10.2	10.8	10.9	10.7	
	男性	18.7	18.9	19.5	17.0	17.2	17.0	16.6	16.8	16.6	17.1	17.3	17.0	
	女性	6.8	6.1	6.7	6.1	6.1	6.0	5.3	5.3	5.1	6.0	6.1	5.9	
メタボ該当・予備群レベル	腹囲	総数	36.5	34.6	34.2	31.0	30.8	30.6	30.9	30.2	30.0	31.0	30.8	30.7
		男性	57.3	54.6	54.4	48.3	48.0	47.9	49.1	47.8	47.9	48.5	48.3	48.3
		女性	21.1	19.8	19.3	18.1	17.7	17.5	17.0	16.4	16.1	17.7	17.5	17.2
	BMI	総数	5.5	5.5	5.1	5.0	4.9	4.8	5.4	5.3	5.2	5.0	4.9	4.8
		男性	1.7	1.6	1.3	1.8	1.8	1.7	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8
		女性	8.4	8.3	7.8	7.4	7.2	7.1	8.1	7.9	7.8	7.3	7.2	7.0
	血糖のみ		1.3	0.8	1.0	0.8	0.7	0.7	1.1	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6
	血圧のみ		6.4	6.4	7.0	7.4	7.5	7.4	6.4	6.6	6.5	7.4	7.6	7.4
	脂質のみ		4.2	4.3	4.1	2.6	2.7	2.6	2.7	2.8	2.8	2.6	2.7	2.6
	血糖・血圧		3.3	2.5	2.4	2.9	2.6	2.6	3.4	3.0	3.0	2.8	2.6	2.6
	血糖・脂質		2.1	1.5	1.5	1.0	0.9	0.9	1.4	1.2	1.2	1.0	0.9	0.9
	血圧・脂質		8.6	9.6	9.0	7.7	8.2	8.2	6.7	7.1	7.0	7.8	8.2	8.2
	血糖・血圧・脂質		7.1	5.9	5.8	5.1	4.7	4.8	5.8	5.1	5.3	5.0	4.7	4.8

※国保データベース(KDB)システムより

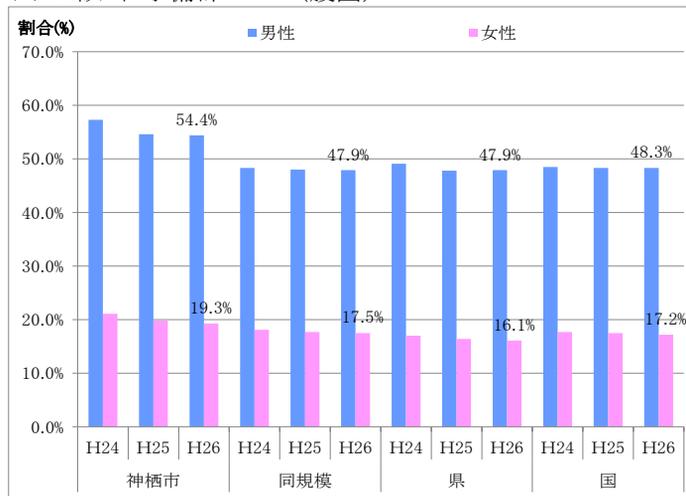
メタボ該当者



メタボ予備群



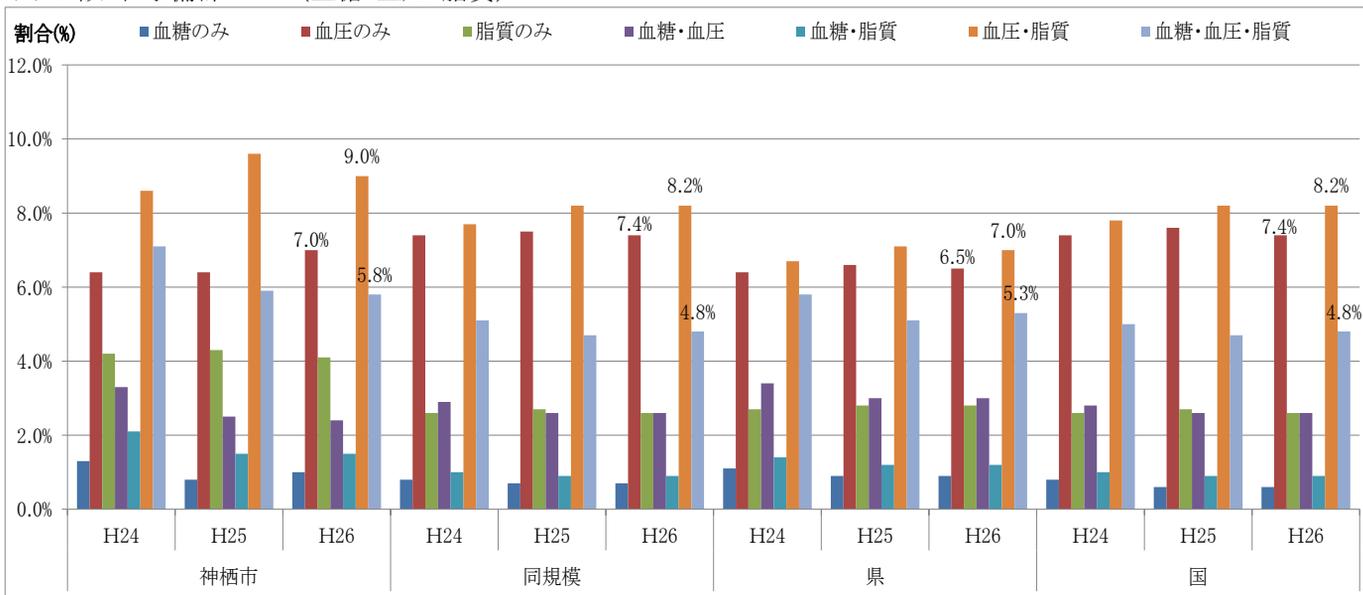
メタボ該当・予備群レベル(腹囲)



メタボ該当・予備群レベル(BMI)



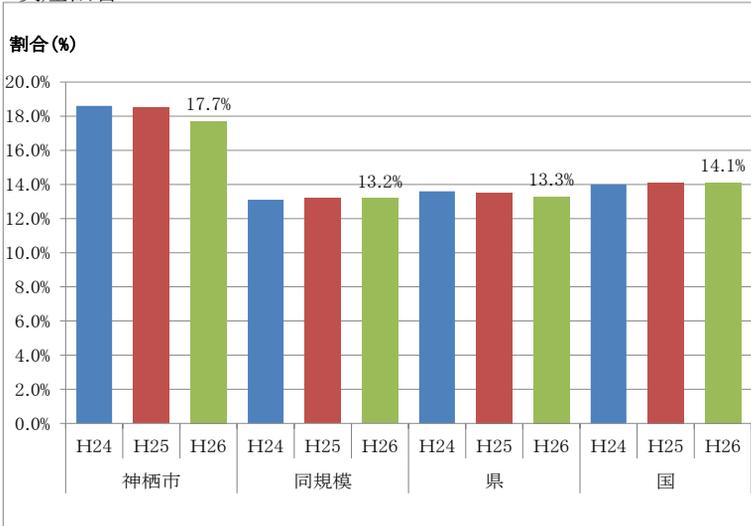
メタボ該当・予備群レベル(血糖・血圧・脂質)



生活習慣の状況

項目	神栖市			同規模			県			国			
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	
服薬	高血圧	30.3	30.3	29.5	32.6	33.3	33.6	29.5	30.2	30.6	32.5	33.2	33.4
	糖尿病	6.8	7.2	6.9	6.5	6.8	7.1	5.8	6.1	6.3	6.4	6.7	7.0
	脂質異常	19.2	19.4	19.6	21.0	21.9	22.5	17.4	18.2	19.0	20.9	21.7	22.5
既往歴	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2.1	2.0	2.2	3.2	3.3	3.2	2.5	2.5	2.6	3.2	3.3	3.3
	心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	5.8	5.4	5.8	5.7	5.7	5.7	5.5	5.6	5.8	5.5	5.6	5.6
	腎不全	2.6	2.6	2.6	0.8	0.8	0.8	2.5	2.4	2.2	0.6	0.6	0.6
	貧血	4.4	4.2	4.6	9.8	9.8	9.8	6.2	6.4	6.9	9.8	9.9	10.0
喫煙	18.6	18.5	17.7	13.1	13.2	13.2	13.6	13.5	13.3	14.0	14.1	14.1	
週3回以上朝食を抜く	14.9	14.7	14.4	6.5	6.6	6.9	7.2	7.0	7.1	7.6	7.7	7.9	
週3回以上食後間食	13.5	12.9	13.8	11.2	11.1	11.0	9.6	10.0	9.8	11.7	11.8	11.6	
週3回以上就寝前夕食	23.2	20.3	19.3	15.6	15.5	15.0	20.2	20.1	19.6	16.3	16.2	15.8	
食への速度が速い	35.0	34.2	33.5	25.5	25.0	25.0	26.0	26.0	25.6	26.1	26.0	25.8	
20歳時体重から10kg以上増加	44.0	39.9	38.0	31.5	31.4	31.1	33.0	33.0	32.6	32.1	32.0	31.7	
1回30分以上運動習慣なし	62.8	62.8	60.1	59.5	59.0	58.5	58.5	57.7	57.7	60.1	59.3	58.7	
1日1時間以上運動なし	47.9	47.0	50.3	44.2	43.7	43.5	57.7	57.0	57.3	47.1	46.6	46.1	
睡眠不足	22.8	25.1	26.5	23.5	23.4	23.3	23.6	23.5	23.9	24.6	24.7	24.0	
毎日飲酒	25.7	25.1	25.3	24.4	24.6	24.6	25.1	24.7	24.5	25.4	25.7	25.7	
時々飲酒	20.7	20.2	19.7	20.7	20.7	20.8	20.6	20.0	19.9	21.3	21.4	21.6	
1日飲酒量	1合未満	41.9	42.6	44.7	65.0	64.9	64.7	52.8	54.9	56.7	64.6	64.3	64.6
	1~2合	27.9	30.8	32.6	23.7	23.7	23.8	27.8	27.7	27.5	23.8	24.0	23.6
	2~3合	24.7	21.1	17.7	9.0	9.1	9.1	16.3	14.5	13.2	9.0	9.1	9.1
	3合以上	5.5	5.5	5.1	2.3	2.4	2.4	3.1	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6

喫煙割合

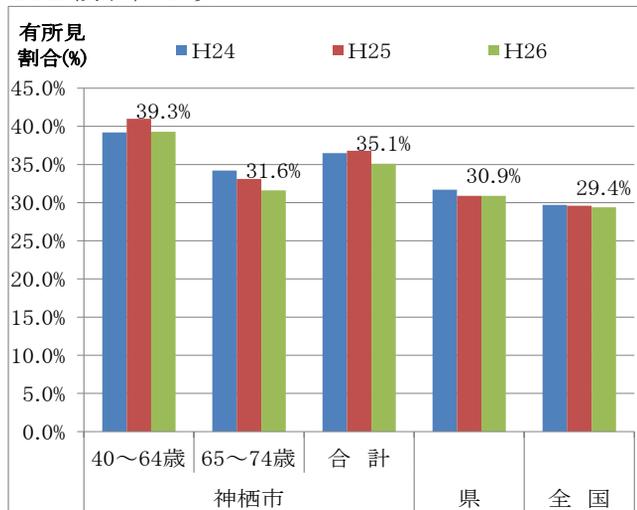


血糖・血圧・脂質におけるメタボの割合では、特に血圧・脂質、血糖・血圧・脂質での割合が同規模・県・国より多い状況である。

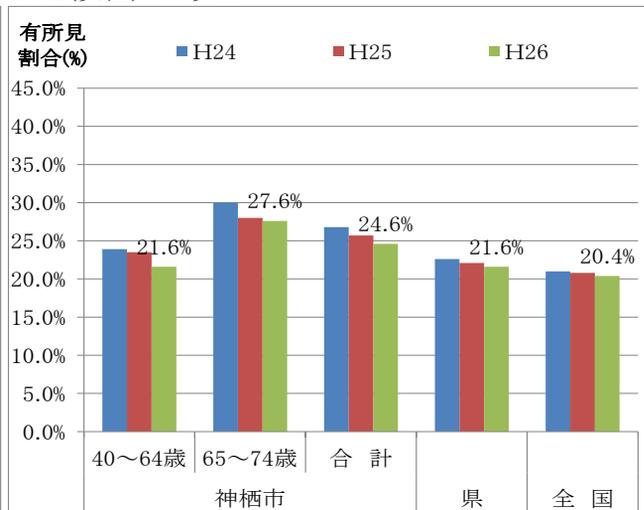
また喫煙の割合も多い状況である。

平成24年度から平成26年度における特定健診の有所見者割合を以下に示す。

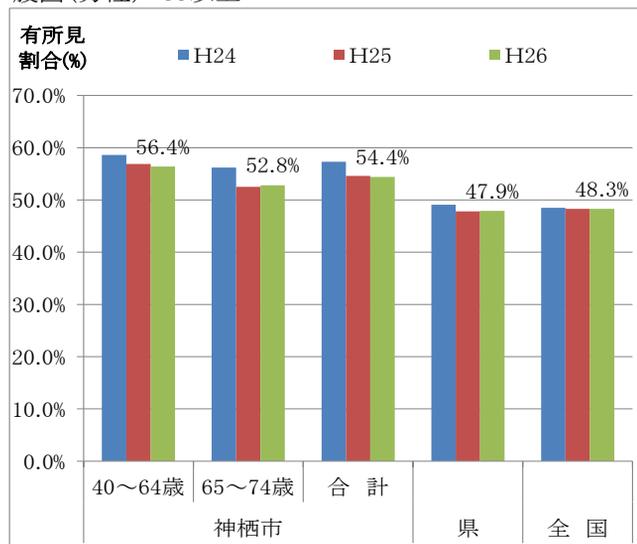
BMI(男性) 25以上



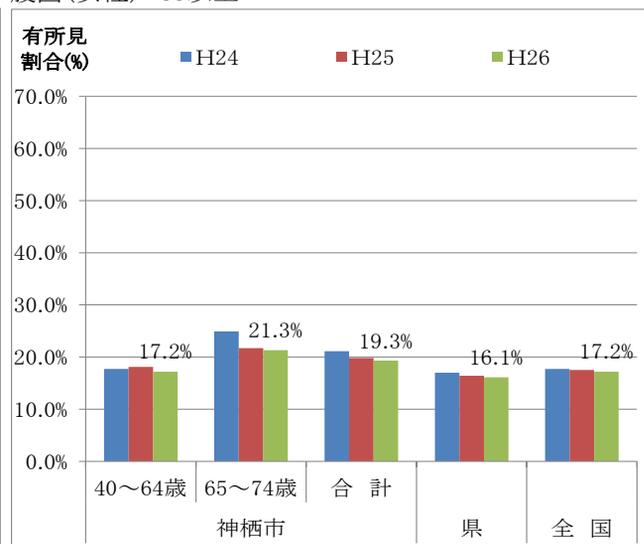
BMI(女性) 25以上



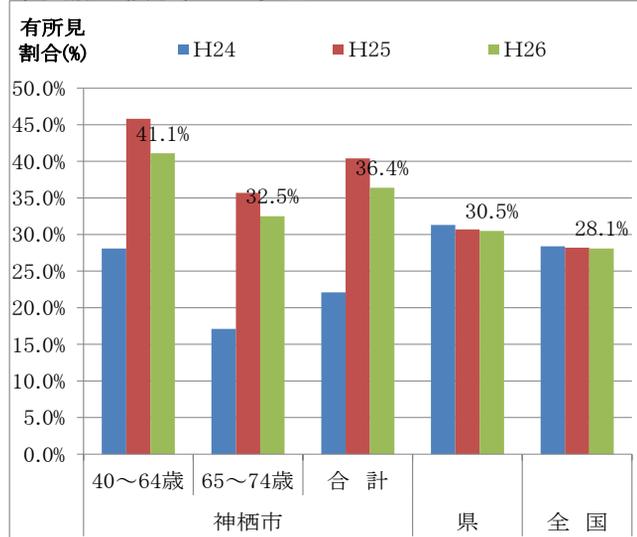
腹囲(男性) 85以上



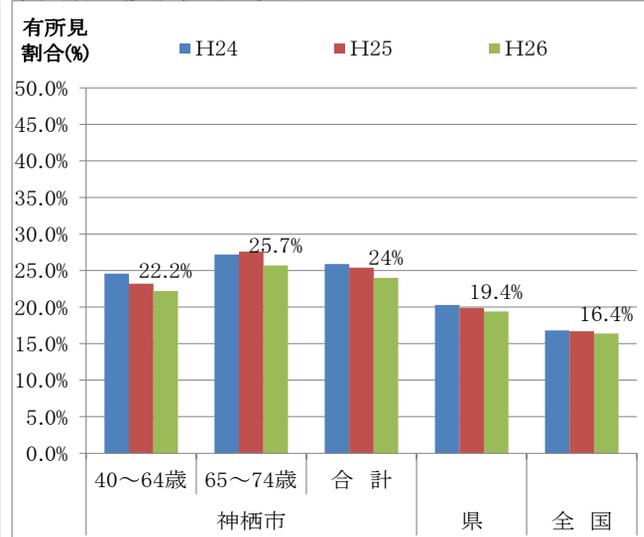
腹囲(女性) 85以上



中性脂肪(男性) 150以上

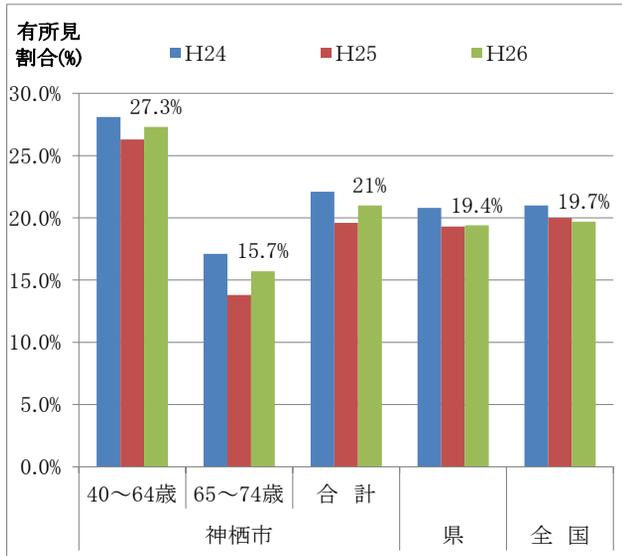


中性脂肪(女性) 150以上

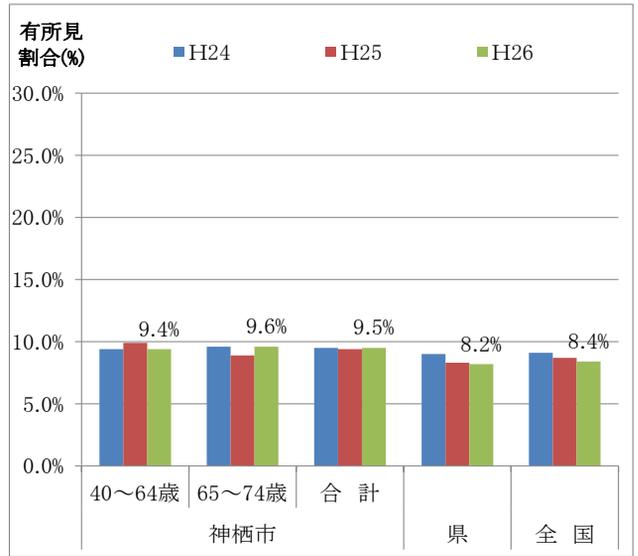


※国保データベース(KDB)システムより

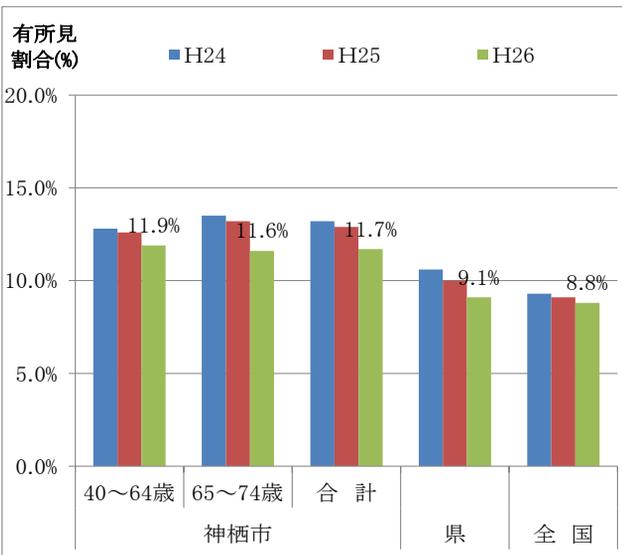
GPT(男性) 31以上



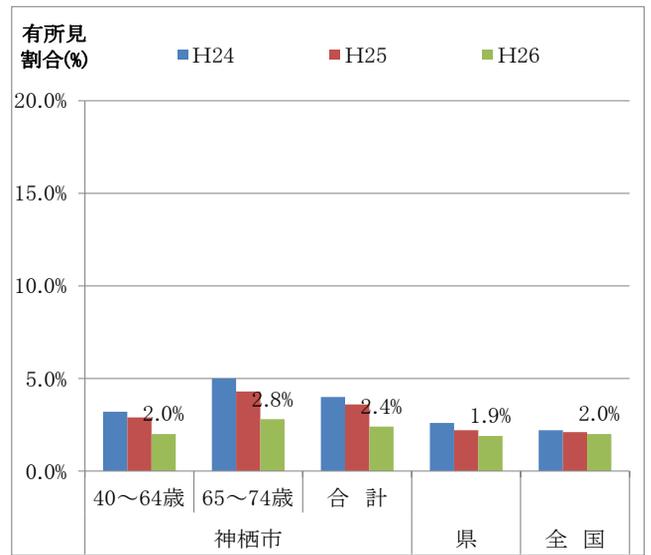
GPT(女性) 31以上



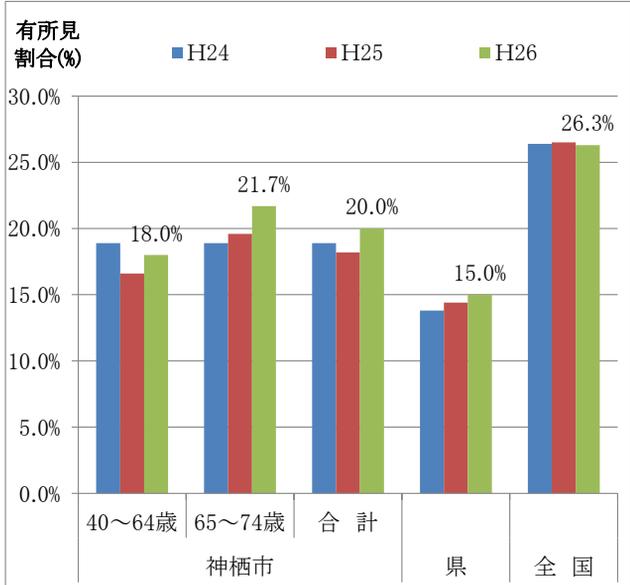
HDL-C(男性) 40未満



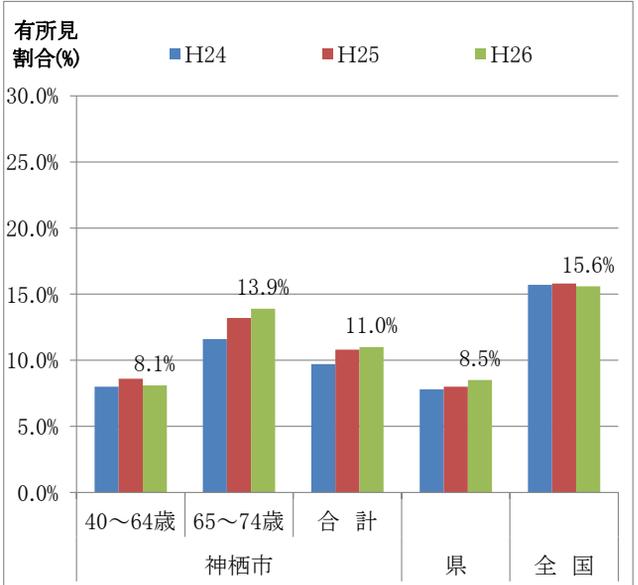
HDL-C(女性) 40未満



空腹時血糖(男性) 100以上

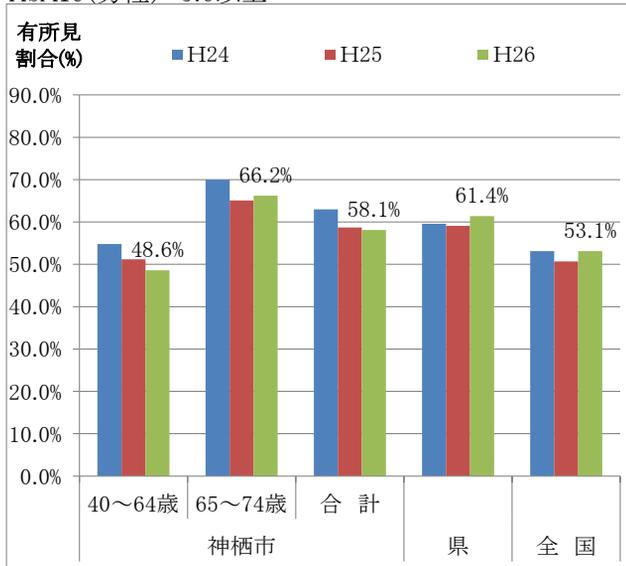


空腹時血糖(女性) 100以上

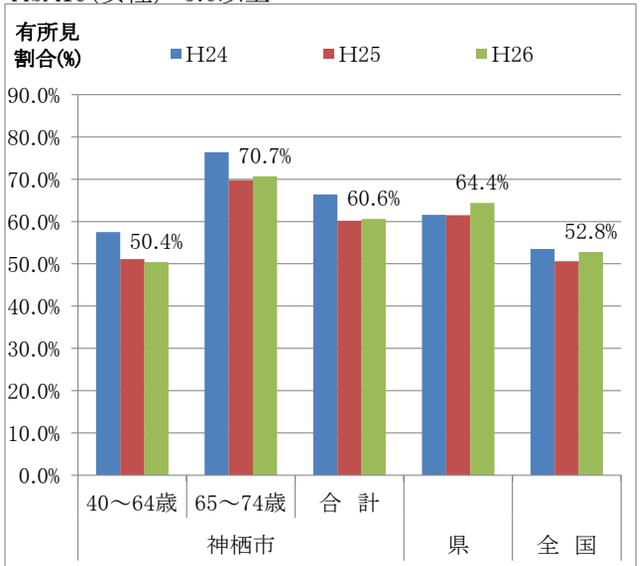


※国保データベース(KDB)システムより

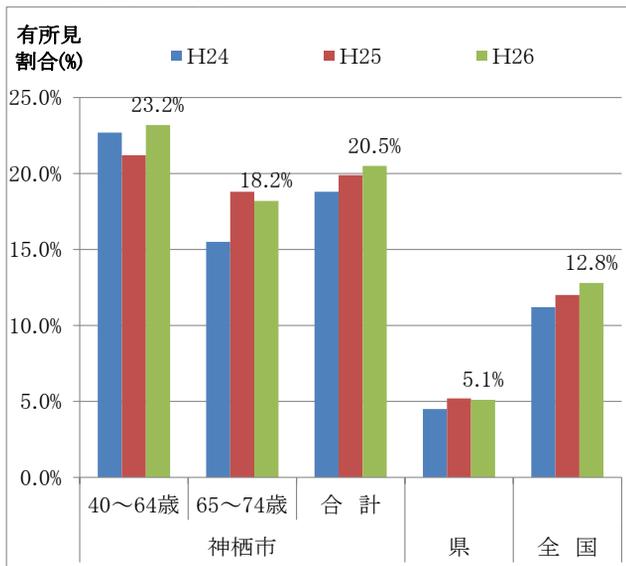
HbA1c(男性) 5.6以上



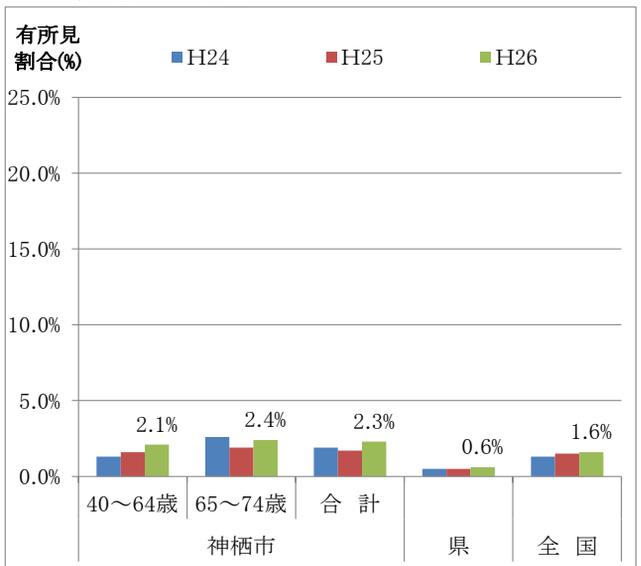
HbA1c(女性) 5.6以上



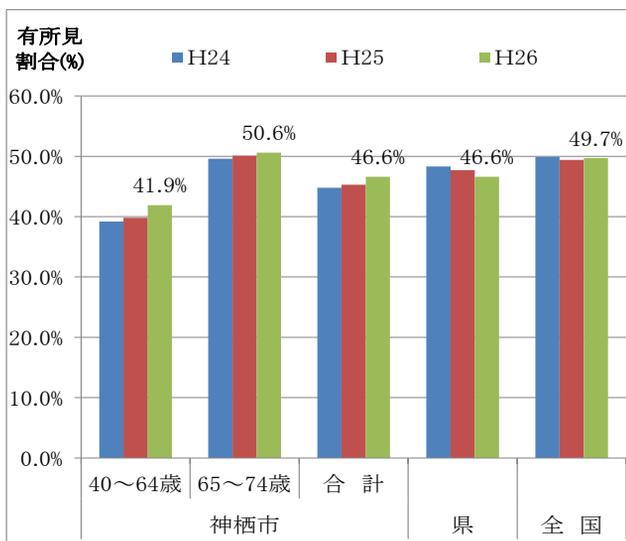
尿酸(男性) 7.0以上



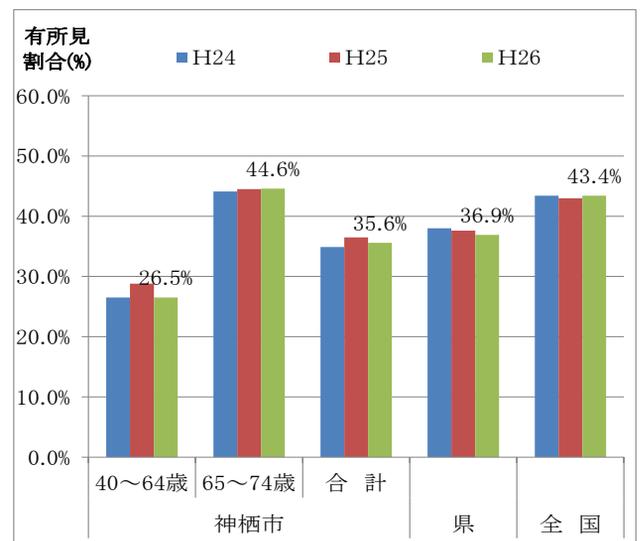
尿酸(女性) 7.0以上



収縮期血圧(男性) 130以上

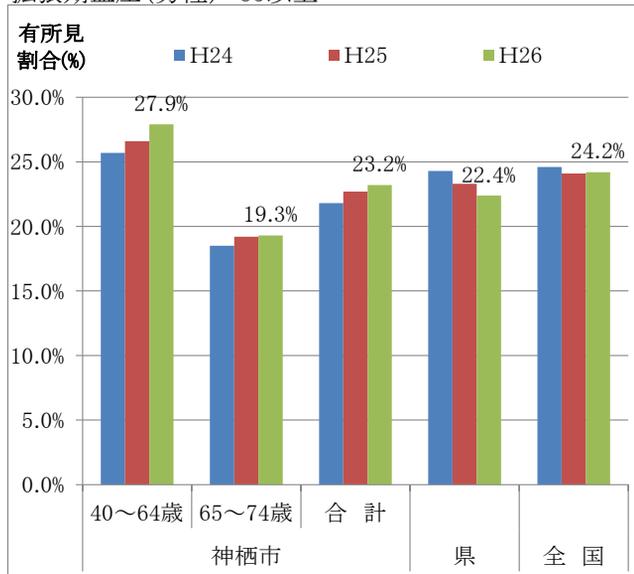


収縮期血圧(女性) 130以上

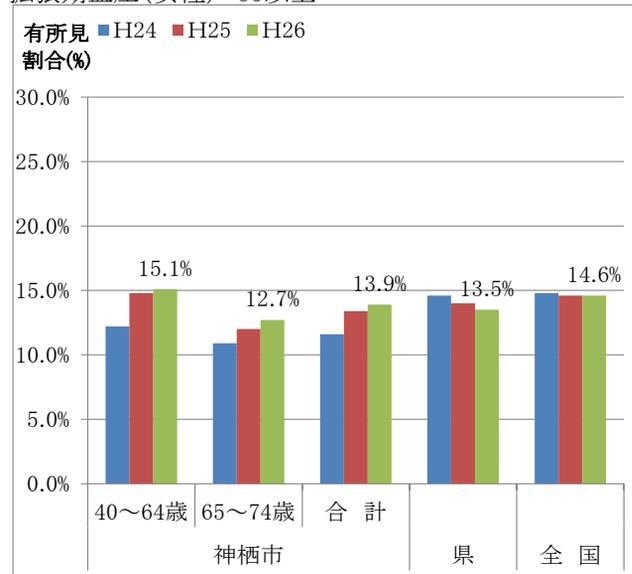


※国保データベース(KDB)システム より

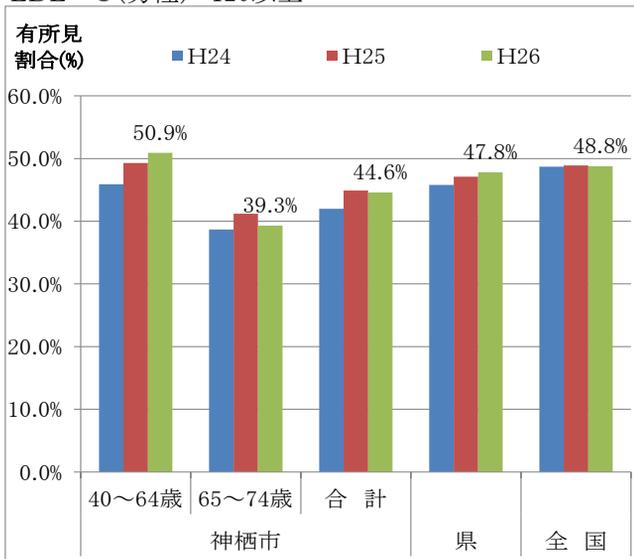
拡張期血圧(男性) 85以上



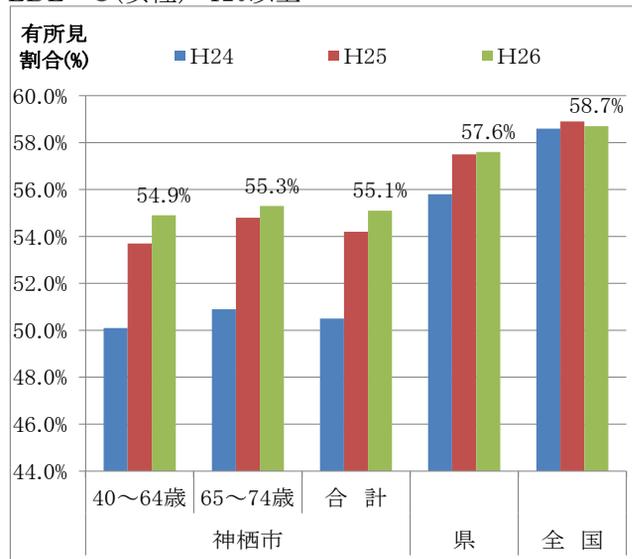
拡張期血圧(女性) 85以上



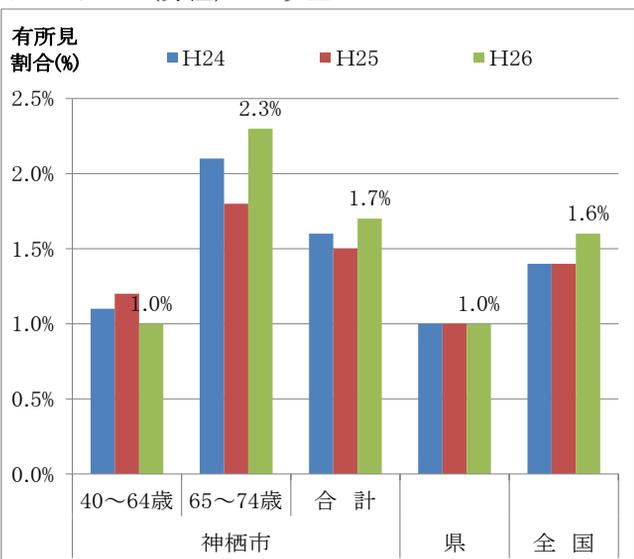
LDL-C(男性) 120以上



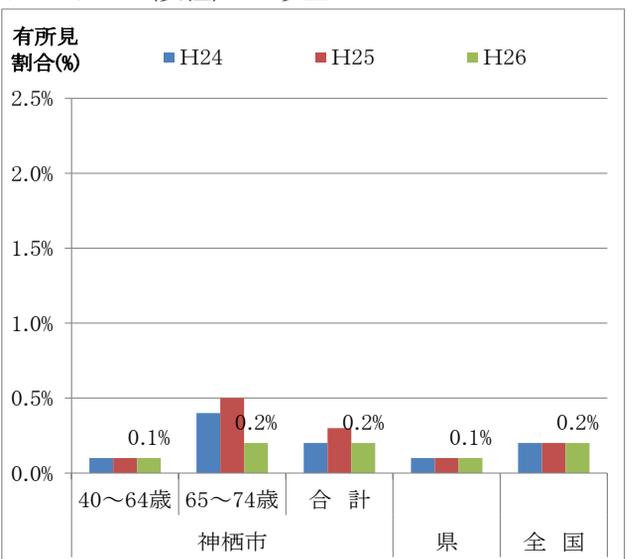
LDL-C(女性) 120以上



クレアチニン(男性) 1.3以上



クレアチニン(女性) 1.3以上



※国保データベース(KDB)システムより

(4)介護保険の状況

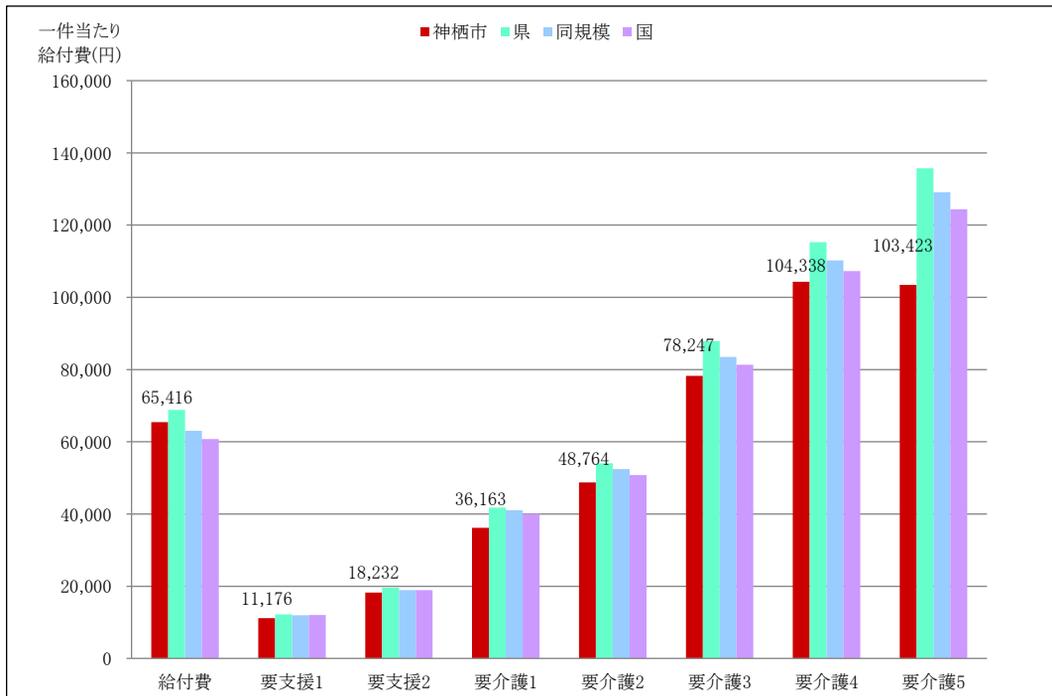
本市の介護保険認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

介護保険認定率及び給付費等の状況(H26年度)

区分	神栖市	県	同規模	国
認定率	16.7%	16.9%	19.3%	20.0%
認定者数(人)	2,785	118,329	883,689	5,324,880
第1号(65歳以上)	2,668	114,417	860,333	5,178,997
第2号(40～64歳)	117	3,912	23,356	145,883
一件当たり給付費(円)				
給付費	65,416	68,857	63,011	60,773
要支援1	11,176	12,209	11,992	12,041
要支援2	18,232	19,603	18,939	18,910
要介護1	36,163	41,758	41,021	40,034
要介護2	48,764	54,043	52,440	50,769
要介護3	78,247	87,886	83,458	81,313
要介護4	104,338	115,274	110,208	107,254
要介護5	103,423	135,708	129,047	124,396

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

レセプト1件あたり要介護度別給付費(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

平成24年度から平成26年度の要介護認定状況を以下に示す。

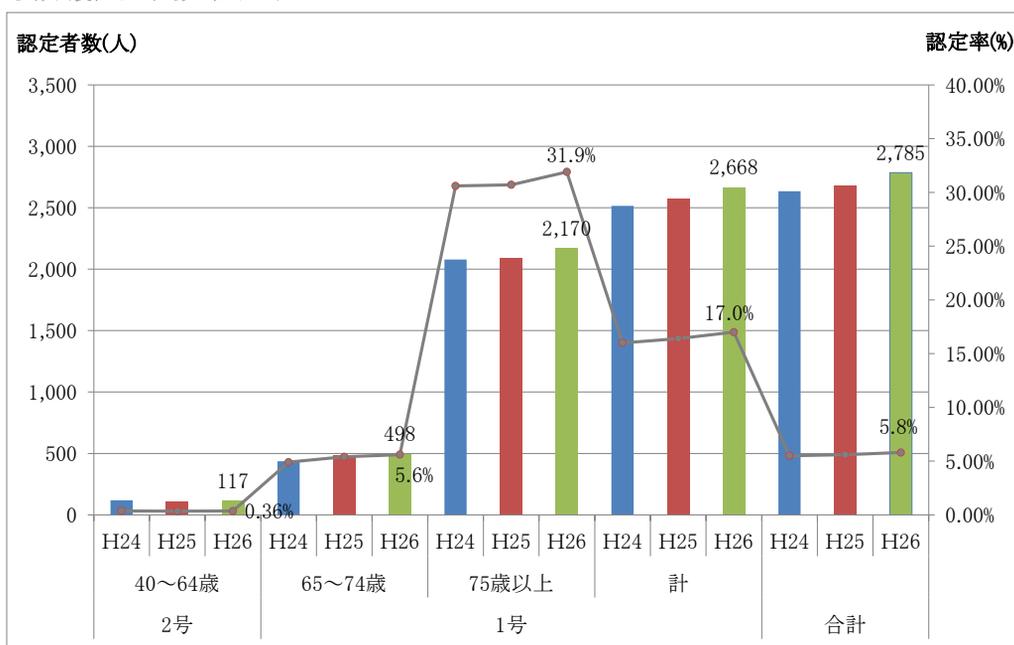
40歳から64歳の要介護3～5の認定割合が多い状況である。

要介護認定状況 (H24年度～H26年度)

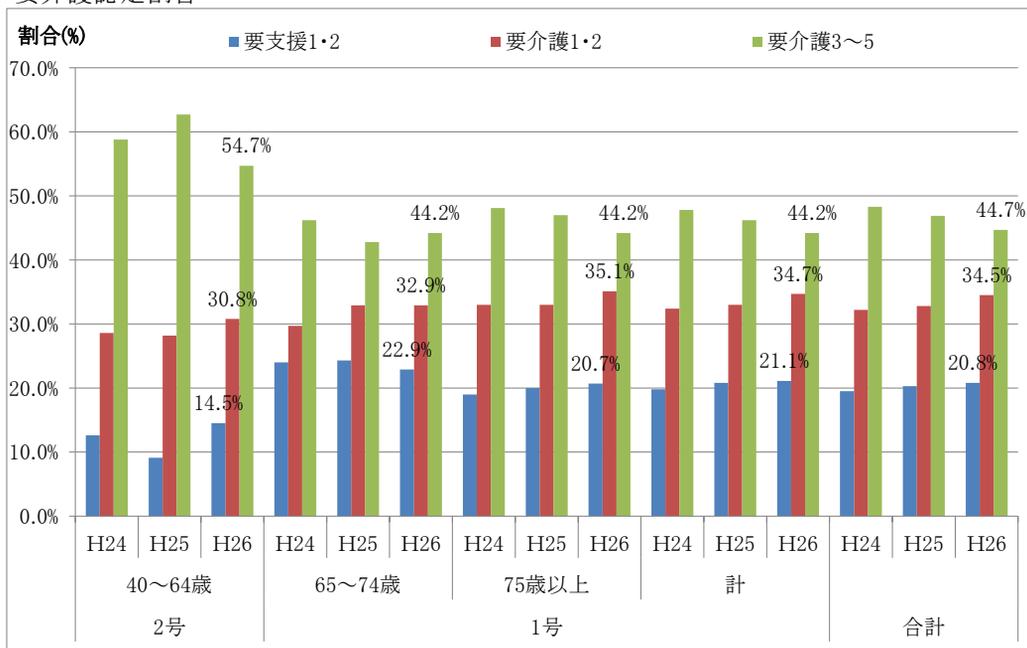
	2号						1号						合計		
	40～64歳			65～74歳			75歳以上			計					
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
被保険者数	32,171	32,171	32,171	8,925	8,925	8,925	6,800	6,800	6,800	15,725	15,725	15,725	47,896	47,896	47,896
認定者数	119	110	117	437	486	498	2,078	2,088	2,170	2,515	2,574	2,668	2,634	2,684	2,785
認定率	0.37%	0.34%	0.36%	4.9%	5.4%	5.6%	30.6%	30.7%	31.9%	16.0%	16.4%	17.0%	5.5%	5.6%	5.8%
新規認定者数	22人	7人	22人	204人	46人	208人	0人	0人	0人	204人	46人	208人	226人	53人	230人
要支援1・2	12.6%	9.1%	14.5%	24.0%	24.3%	22.9%	19.0%	20.0%	20.7%	19.8%	20.8%	21.1%	19.5%	20.3%	20.8%
要介護1・2	28.6%	28.2%	30.8%	29.7%	32.9%	32.9%	33.0%	33.0%	35.1%	32.4%	33.0%	34.7%	32.2%	32.8%	34.5%
要介護3～5	58.8%	62.7%	54.7%	46.2%	42.8%	44.2%	48.1%	47.0%	44.2%	47.8%	46.2%	44.2%	48.3%	46.9%	44.7%

要介護認定者数・認定率

※国保データベース(KDB)システムより



要介護認定割合



要介護認定者の疾病別有病率を以下に示す。

疾病毎の有病者数を合計すると、8,006人となり、認定者数2,785人の約2.9倍である。

認定者一人当たり、2.9種類の疾病を併発していることがわかる。

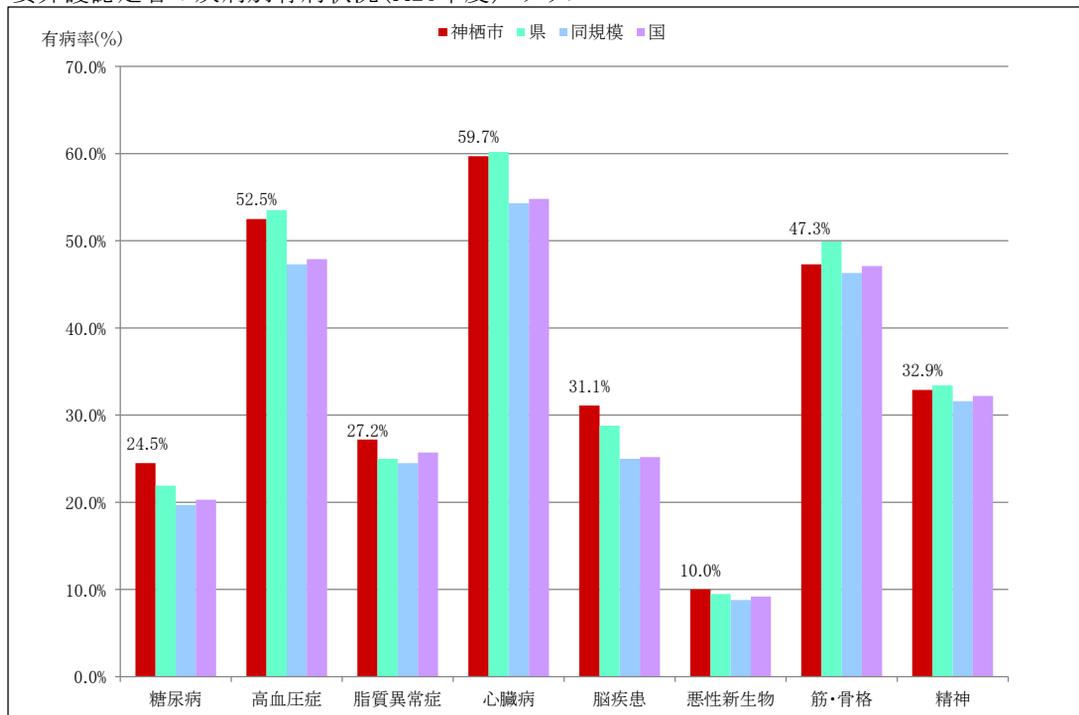
要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(H26年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		神栖市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		2,785		118,329		883,689		5,324,880	
糖尿病	実人数(人)	674	7	26,068	7	180,064	7	1,089,285	7
	有病率	24.5%		21.9%		19.7%		20.3%	
高血圧症	実人数(人)	1,495	2	63,832	2	429,786	2	2,551,660	2
	有病率	52.5%		53.5%		47.3%		47.9%	
脂質異常症	実人数(人)	797	6	30,322	6	224,805	5	1,386,541	5
	有病率	27.2%		25.0%		24.5%		25.7%	
心臓病	実人数(人)	1,679	1	71,637	1	491,660	1	2,914,608	1
	有病率	59.7%		60.2%		54.3%		54.8%	
脳疾患	実人数(人)	853	5	33,934	5	223,901	6	1,324,669	6
	有病率	31.1%		28.8%		25.0%		25.2%	
悪性新生物	実人数(人)	267	8	11,498	8	80,701	8	493,808	8
	有病率	10.0%		9.5%		8.8%		9.2%	
筋・骨格	実人数(人)	1,335	3	59,387	3	420,178	3	2,505,146	3
	有病率	47.3%		49.9%		46.3%		47.1%	
精神	実人数(人)	906	4	39,795	4	288,192	4	1,720,172	4
	有病率	32.9%		33.4%		31.6%		32.2%	

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

要介護認定者の疾病別有病状況(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

平成24年度から平成26年度の要介護認定者の疾病有病状況を以下に示す。

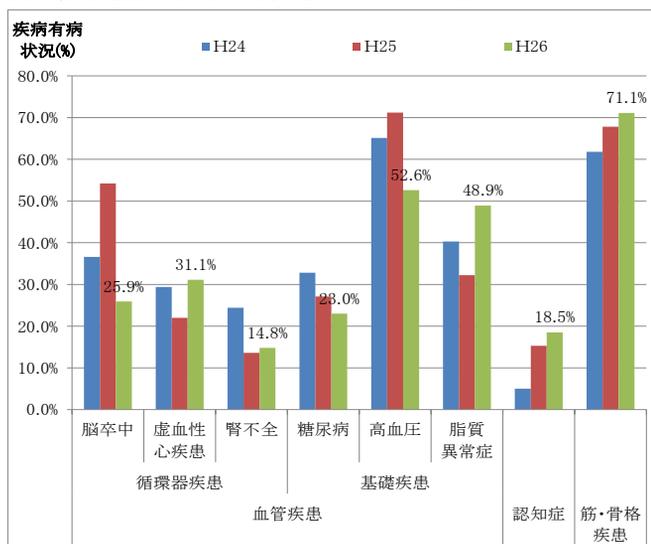
筋・骨格、高血圧の有病率が高い。

要介護認定者の疾病有病状況

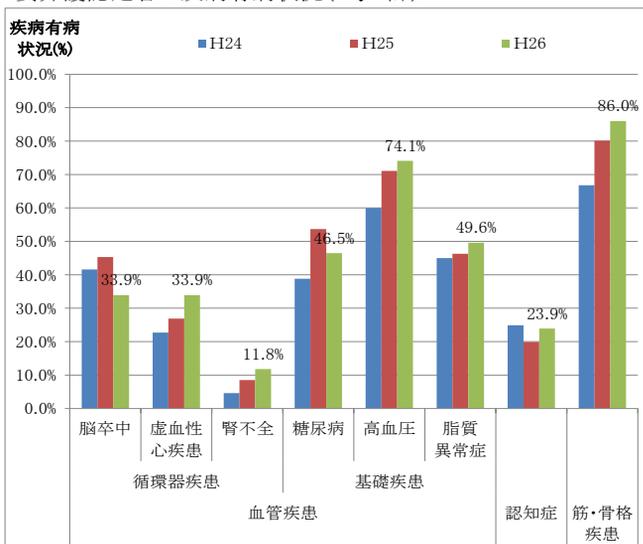
有病状況 (レセプトの診断名より重複して計上)			2号			1号						合計					
			40～64歳			65～74歳			75歳以上			計					
			H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
血管疾患	循環器疾患	脳卒中	36.6%	54.2%	25.9%	41.6%	45.1%	46.8%	0.0%	0.0%	0.0%	41.6%	45.3%	33.9%	40.4%	47.3%	43.9%
		虚血性心疾患	29.4%	22.0%	31.1%	22.7%	26.9%	33.8%	0.0%	0.0%	100.0%	22.7%	26.9%	33.9%	24.3%	25.8%	33.5%
		腎不全	24.4%	13.6%	14.8%	4.6%	8.5%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	8.5%	11.8%	9.3%	9.6%	12.2%
	基礎疾患	糖尿病	32.8%	27.1%	23.0%	38.8%	53.7%	46.4%	0.0%	0.0%	100.0%	38.8%	53.7%	46.5%	37.4%	47.7%	43.3%
		高血圧	65.1%	71.2%	52.6%	60.0%	71.1%	74.1%	0.0%	0.0%	100.0%	60.0%	71.1%	74.1%	61.2%	71.2%	71.2%
		脂質異常症	40.3%	32.2%	48.9%	45.0%	46.3%	49.7%	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	46.3%	49.6%	43.9%	43.1%	49.5%
	認知症		5.0%	15.3%	18.5%	24.9%	19.9%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.9%	19.9%	23.9%	20.2%	18.8%	23.2%
	筋・骨格疾患		61.8%	67.8%	71.1%	66.8%	80.1%	86.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.8%	80.1%	86.0%	65.6%	77.3%	84.0%

※国保データベース(KDB)システム より

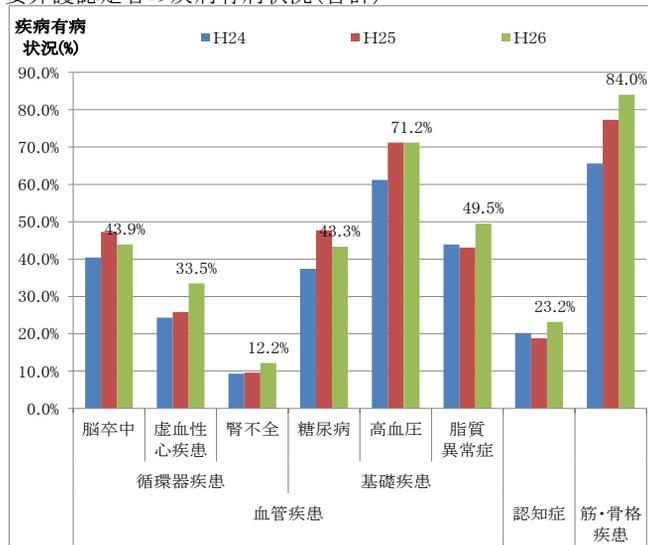
要介護認定者の疾病有病状況(2号 40～64歳)



要介護認定者の疾病有病状況(1号 計)



要介護認定者の疾病有病状況(合計)



(5)死因の状況

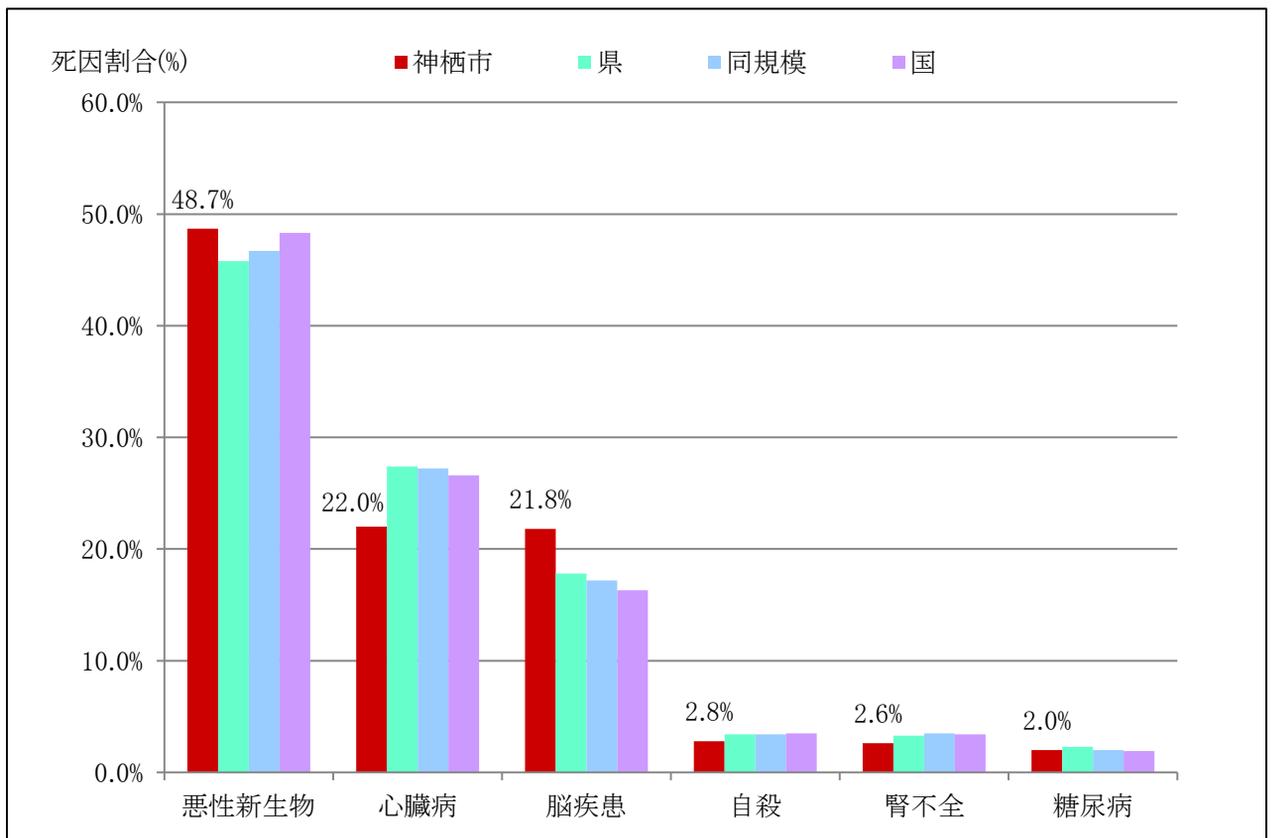
本市の主たる死因とその割合を以下に示す。

主たる死因とその割合(H26年度)

疾病項目	人数(人)	神栖市	県	同規模	国
悪性新生物	243	48.7%	45.8%	46.7%	48.3%
心臓病	110	22.0%	27.4%	27.2%	26.6%
脳疾患	109	21.8%	17.8%	17.2%	16.3%
自殺	14	2.8%	3.4%	3.4%	3.5%
腎不全	13	2.6%	3.3%	3.5%	3.4%
糖尿病	10	2.0%	2.3%	2.0%	1.9%
合計	499				

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

主たる死因とその割合(H26年度) グラフ



※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

4. 過去の取組みの考察

(1) 特定健康診査・特定保健指導の導入

平成18年の医療制度改革において、「高齢者の医療の確保に関する法律」の改定に伴い、医療保険者にその実施を義務付ける特定健康診査・特定保健指導の仕組みが導入された。

法第18条に規定する基本指針に基づき、「特定健康診査及び特定保健指導実施計画」を策定し、被保険者に対し、生活習慣病の発症に大きく関与するとされるメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施している。

また、特定健康診査の結果に基づき、生活習慣病のリスクを持った人への特定保健指導に取り組んでいる。

(2) 保健事業実施状況

① 特定健康診査

(i) 目的

メタボリックシンドロームに着目し、内臓脂肪の蓄積を把握することにより、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の予防を図ることを目的とする。

(ii) 対象

被保険者のうち、特定健康診査当該年度において、40歳～74歳までの被保険者を対象とする。

(iii) 実施方法

市内公共施設などの会場において個別健康診査を実施する。また、委託契約した医療機関において個別健康診査を実施する。

(iv) 実施内容

問診・身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)・血圧測定・理学的検査・尿検査・血液検査等

(v) 事業の成果

平成25年度における特定健康診査の受診率は34.1%であった。なお、目標は35%であり、達成されていない。

(vi) 関係部署が実施する保健事業との関連

上記の保健事業以外にも、健康づくりのためのさまざまな取り組みを実施しており、これらの取り組みと連携し、効果的に保健事業を実施していくことが重要となる。特定健康診査・特定保健指導と健康づくり関連施策の連携を図る。

②特定保健指導

(i)目的

生活習慣病のリスクが高い対象者が、本支援により生活習慣を改善し、生活習慣病の予防を図ることを目的とする。

(ii)対象

国が示す基準を参考に、特定健康診査の結果より対象者を特定する。

(iii)実施方法

腹囲及び追加リスク・喫煙歴により「動機付け支援」と「積極的支援」に分けて実施する。

(iv)実施内容

・動機付け支援

対象者への個別支援またはグループ支援により、対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を立てることができるとともに、保健指導終了後、その生活が継続できるよう支援する。

・積極的支援

動機付け支援に加えて、定期的・継続的な支援により、自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践に取り組みながら、支援プログラム終了後にはその生活が継続できるよう支援する。

(v)事業の成果

平成25年度における特定保健指導の初回面談実施率は積極的支援が48.1%、動機付け支援が45.4%であった。

特定保健指導(初回面談)の実施状況

	保健指導対象者数(人)
積極的支援	420人
動機付け支援	681人

(vi)関係部署が実施する保健事業との関連

上記の保健事業以外にも、健康づくりのためのさまざまな取り組みを実施しており、これらの取り組みと連携し、効果的に保健事業を実施していくことが重要となる。特定健康診査・特定保健指導と健康づくり関連施策の連携を図る。

(3)保健事業の課題

①特定健康診査

特定健康診査の課題は、下表のとおりである。各課題については、取り組み中ではあるが、受診率は減少傾向にある。対処方法及び実施状況について充実させていく必要がある。

特定健康診査の課題及び実施状況

No	課題	対処方法	実施状況
1	40歳代の受診率が低い	・特定健康診査の実施状況の周知	・40歳への封書による個別通知 ・市内小学校保護者へのチラシ配付
2	未受診者の方への対応	・特定健康診査の周知、受診勧奨 ・受診しやすい日時の設定	・未受診者訪問の実施 ・休日健診の実施 ・がん検診を同時に受診できる総合健診の設置 ・未受診者の再勧奨通知
3	治療中者の方への対応	・特定健康診査受診の必要性についての周知、受診勧奨 ・医療機関の協力のもと、治療中の方へ受診勧奨を行う	・医療機関でのポスター掲示

②特定保健指導

特定保健指導の課題は、下表のとおりである。No.1の課題については、取り組み中であるが利用率の向上には至っていない。

特定保健指導の課題及び実施状況

No	課題	対処方法	実施状況
1	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導についての周知	・特定保健指導対象者への個別訪問の実施 ・健診会場での特定保健指導個別PR ・医師による結果説明会
2	特定保健指導中断の防止	指導内容の充実と指導機会の増加	・運動教室や栄養教室の開催 ・2次検査の実施 ・市内コミュニティセンター内ジムの利用券発行

Ⅱ. 現状分析と課題

1. 医療費状況の把握

(1)基礎統計

当医療費統計は、神栖市国民健康保険における、平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分の医科・調剤レセプトを対象とし分析する。

被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は、以下の通りである。被保険者数は月間平均31,210人、レセプト件数は月間平均26,750件、患者数は月間平均13,059人となった。また、患者一人当たりの月間平均医療費は44,416円となった。

基礎統計

			平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	
A		被保険者数(人)	31,548	31,759	31,501	31,415	31,407	31,299	31,206	
B	市内	レセプト件数(件)	入院外	11,819	11,179	11,108	11,325	11,400	10,876	11,181
			入院	164	152	130	127	141	129	134
			調剤	8,129	7,851	7,587	7,652	7,742	7,336	7,305
			合計	20,112	19,182	18,825	19,104	19,283	18,341	18,620
	市外	レセプト件数(件)	入院外	1,786	1,760	1,797	1,802	1,906	1,768	1,809
			入院	127	133	124	143	150	139	133
			調剤	916	880	874	876	899	829	870
			合計	2,829	2,773	2,795	2,821	2,955	2,736	2,812
	県外	レセプト件数(件)	入院外	3,589	3,509	3,454	3,470	3,626	3,387	3,459
			入院	175	170	163	173	189	189	181
			調剤	1,391	1,364	1,277	1,282	1,339	1,242	1,288
			合計	5,155	5,043	4,894	4,925	5,154	4,818	4,928
合計	レセプト件数(件)	入院外	17,194	16,448	16,359	16,597	16,932	16,031	16,449	
		入院	466	455	417	443	480	457	448	
		調剤	10,436	10,095	9,738	9,810	9,980	9,407	9,463	
		合計	28,096	26,998	26,514	26,850	27,392	25,895	26,360	
C	医療費(円)※	市内	278,326,190	270,888,040	261,966,810	262,122,140	276,209,990	262,223,460	261,473,470	
		市外	112,344,670	104,529,250	101,161,770	104,050,880	123,583,720	109,997,130	111,847,170	
		県外	219,441,460	203,264,350	198,856,230	198,940,000	212,351,450	192,043,830	200,447,700	
		合計	610,112,320	578,681,640	561,984,810	565,113,020	612,145,160	564,264,420	573,768,340	
D	患者数(人)※	市内	10,517	9,952	9,909	10,000	10,065	9,698	9,869	
		市外	1,766	1,748	1,764	1,782	1,892	1,766	1,807	
		県外	3,311	3,248	3,182	3,220	3,323	3,123	3,164	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	市内	26,464	27,219	26,437	26,212	27,443	27,039	26,494	
		市外	63,615	59,799	57,348	58,390	65,319	62,286	61,897	
		県外	66,276	62,581	62,494	61,783	63,904	61,493	63,353	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	市内	8,822	8,529	8,316	8,344	8,795	8,378	8,379	
		市外	3,561	3,291	3,211	3,312	3,935	3,514	3,584	
		県外	6,956	6,400	6,313	6,333	6,761	6,136	6,423	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	市内	13,839	14,122	13,916	13,721	14,324	14,297	14,043	
		市外	39,712	37,695	36,194	36,884	41,822	40,204	39,775	
		県外	42,569	40,306	40,633	40,394	41,201	39,860	40,675	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

			平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	12カ月平均	12カ月合計	
A		被保険者数(人)	31,104	30,936	30,851	30,813	30,676	31,210		
B	市内	レセプト件数(件)	入院外	11,386	10,855	11,668	11,679	10,749	11,269	135,225
			入院	151	141	141	134	134	140	1,678
			調剤	7,772	7,263	7,879	7,819	7,160	7,625	91,495
			合計	19,309	18,259	19,688	19,632	18,043	19,033	228,398
	市外	レセプト件数(件)	入院外	1,849	1,713	1,802	1,804	1,686	1,790	21,482
			入院	118	120	124	131	129	131	1,571
			調剤	915	807	903	893	819	873	10,481
			合計	2,882	2,640	2,829	2,828	2,634	2,795	33,534
	県外	レセプト件数(件)	入院外	3,564	3,177	3,463	3,356	3,294	3,446	41,348
			入院	188	179	167	156	148	173	2,078
			調剤	1,374	1,217	1,327	1,269	1,272	1,304	15,642
			合計	5,126	4,573	4,957	4,781	4,714	4,922	59,068
	合計	レセプト件数(件)	入院外	16,799	15,745	16,933	16,839	15,729	16,505	198,055
			入院	457	440	432	421	411	444	5,327
			調剤	10,061	9,287	10,109	9,981	9,251	9,802	117,618
			合計	27,317	25,472	27,474	27,241	25,391	26,750	321,000
C	医療費(円)※	市内	285,305,370	257,892,080	287,816,010	269,568,810	260,366,530	269,513,242	3,234,158,900	
		市外	109,102,060	102,089,440	113,661,360	107,155,040	104,532,040	108,671,211	1,304,054,530	
		県外	221,195,690	218,897,900	192,840,310	192,649,770	171,140,210	201,839,075	2,422,068,900	
		合計	615,603,120	578,879,420	594,317,680	569,373,620	536,038,780	580,023,528	6,960,282,330	
D	患者数(人)※	市内	10,206	9,763	10,473	10,448	9,674	10,048	120,574	
		市外	1,805	1,697	1,792	1,788	1,684	1,774	21,291	
		県外	3,245	2,941	3,176	3,079	3,000	3,168	38,012	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	市内	27,955	26,415	27,482	25,801	26,914	26,823		
		市外	60,444	60,159	63,427	59,930	62,074	61,249		
		県外	68,165	74,430	60,718	62,569	57,047	63,719		
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	市内	9,173	8,336	9,329	8,749	8,488	8,636		
		市外	3,508	3,300	3,684	3,478	3,408	3,482		
		県外	7,111	7,076	6,251	6,252	5,579	6,467		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	市内	14,776	14,124	14,619	13,731	14,430	14,160		
		市外	37,856	38,670	40,177	37,891	39,686	38,888		
		県外	43,152	47,867	38,903	40,295	36,305	41,005		

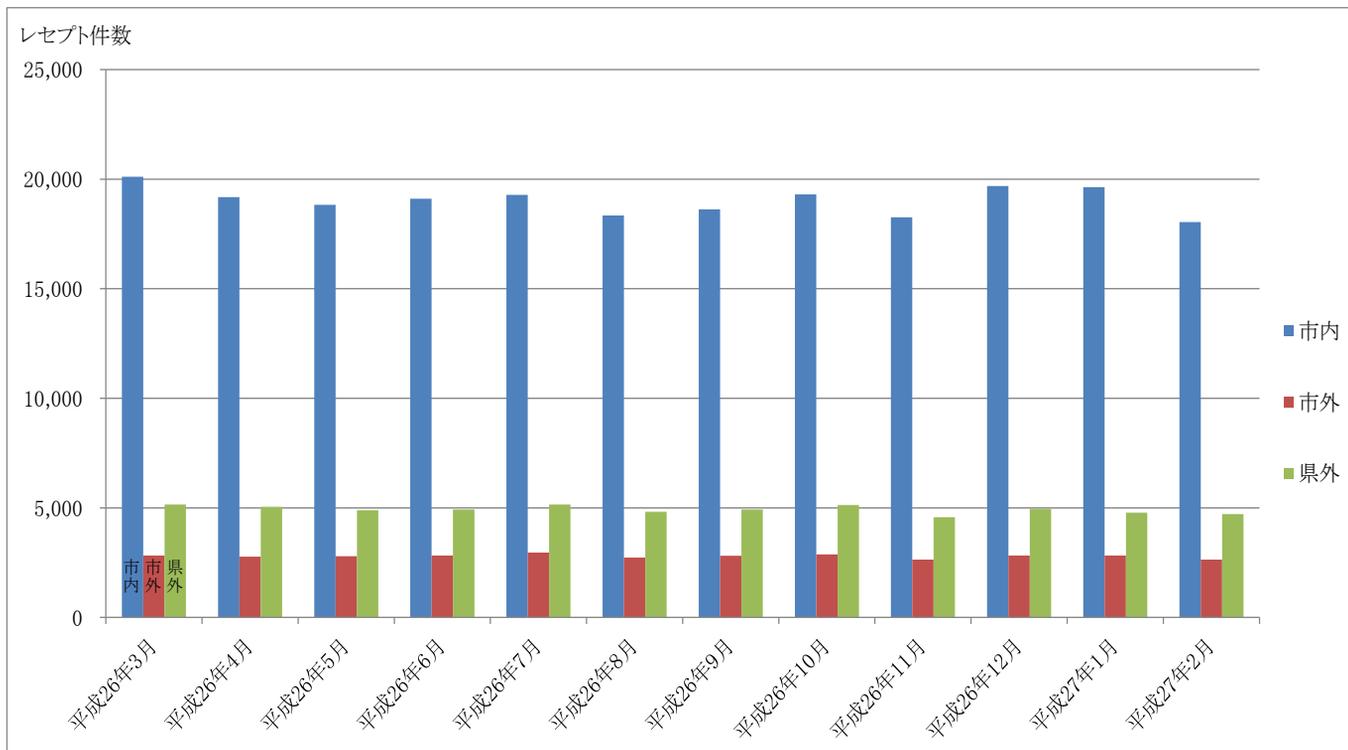
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

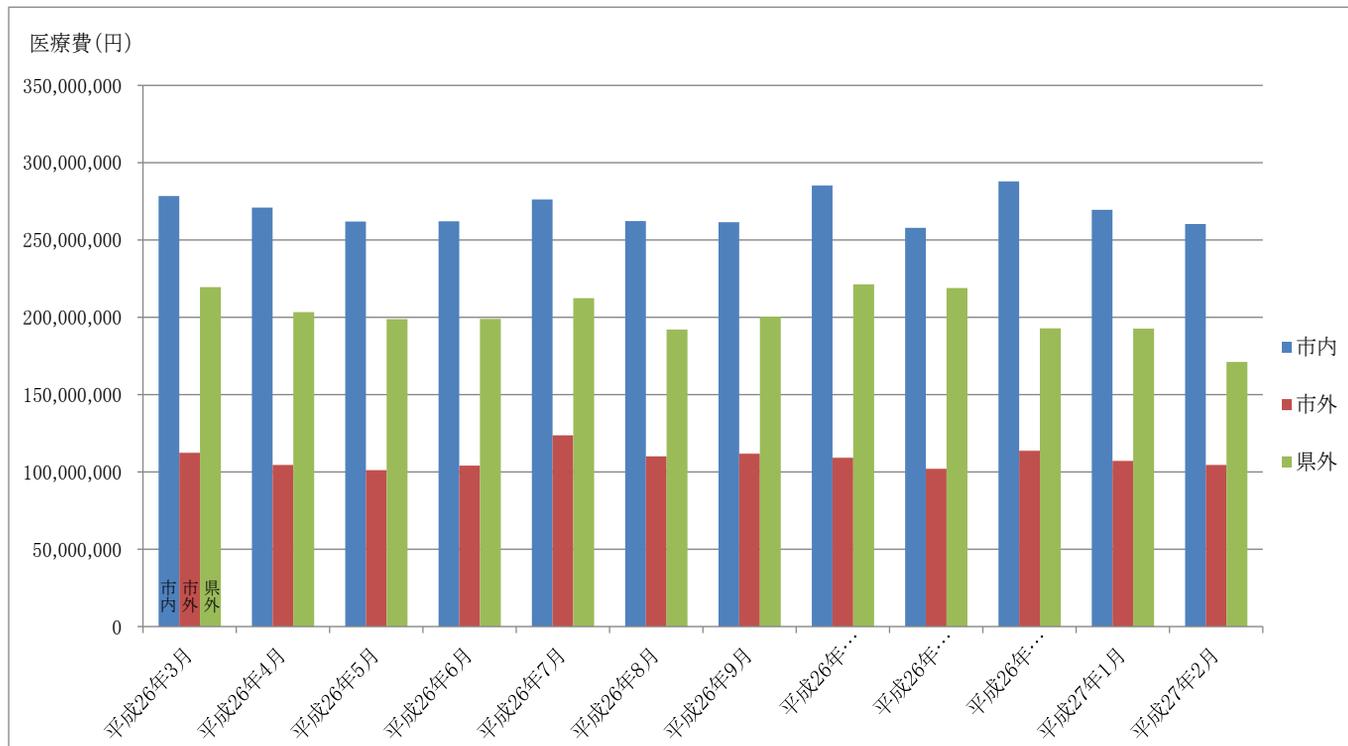
以下、市内・市外・県外の比較をグラフで示す。

レセプト件数



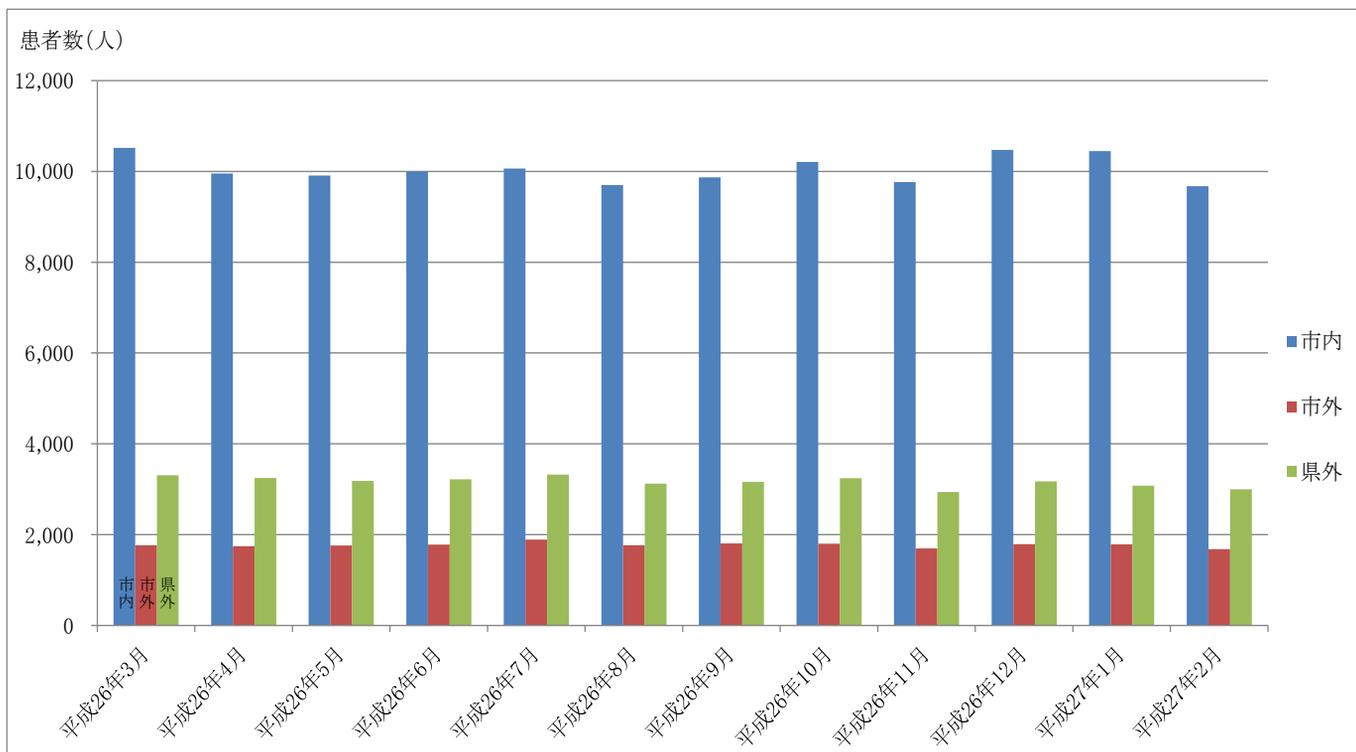
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

医療費



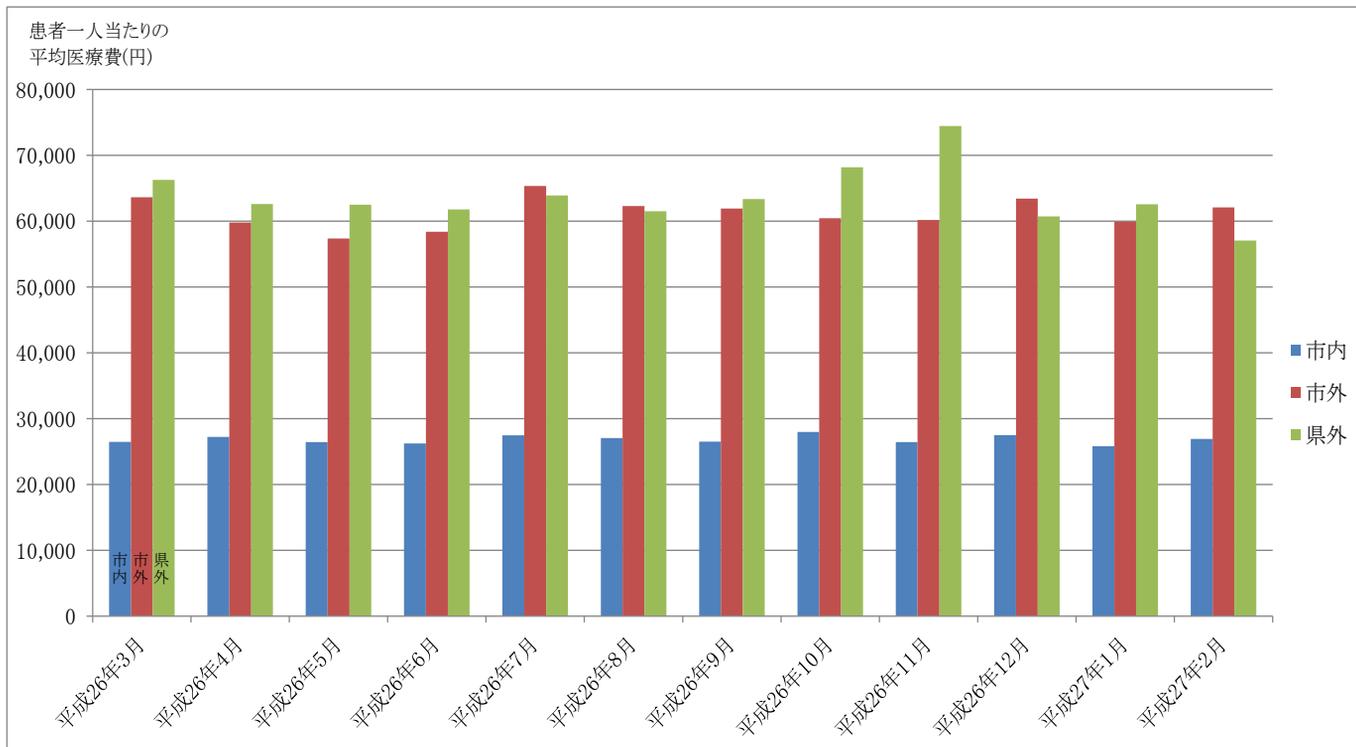
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

患者数数



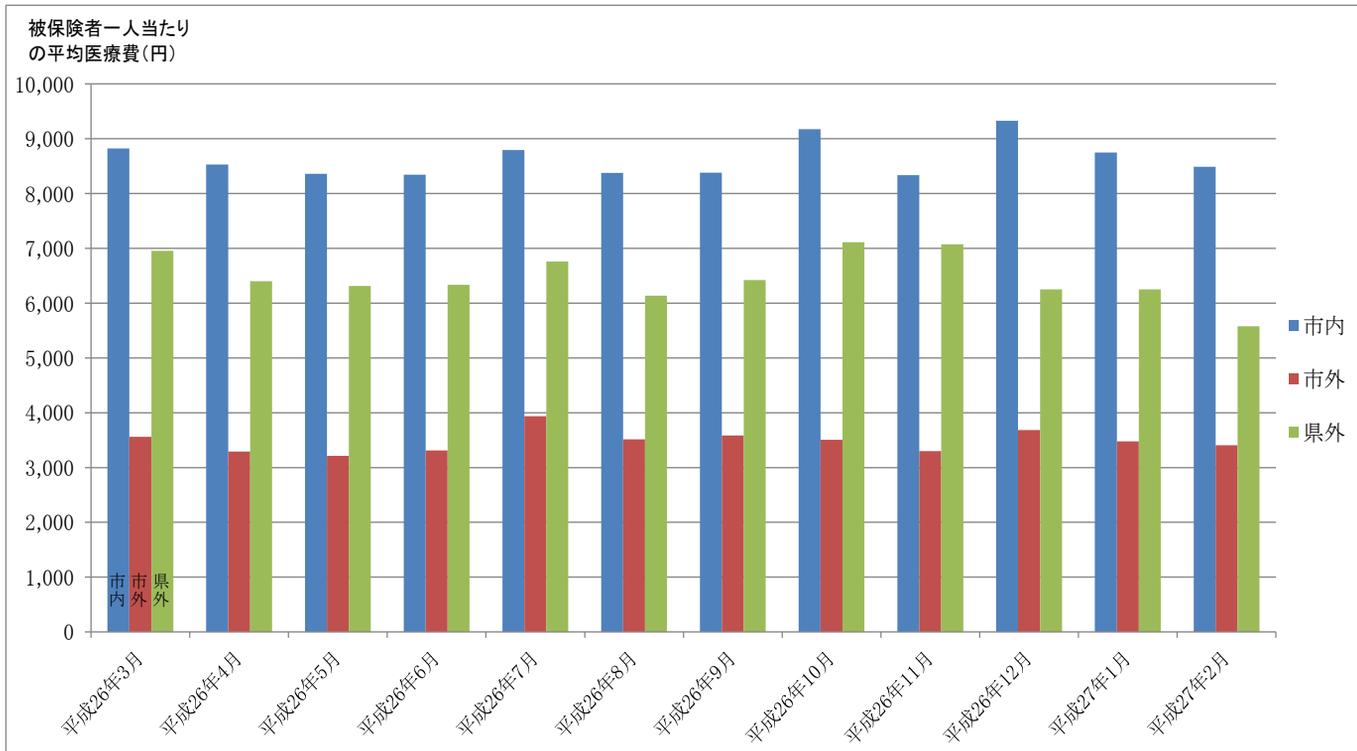
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

患者一人当たりの平均医療費



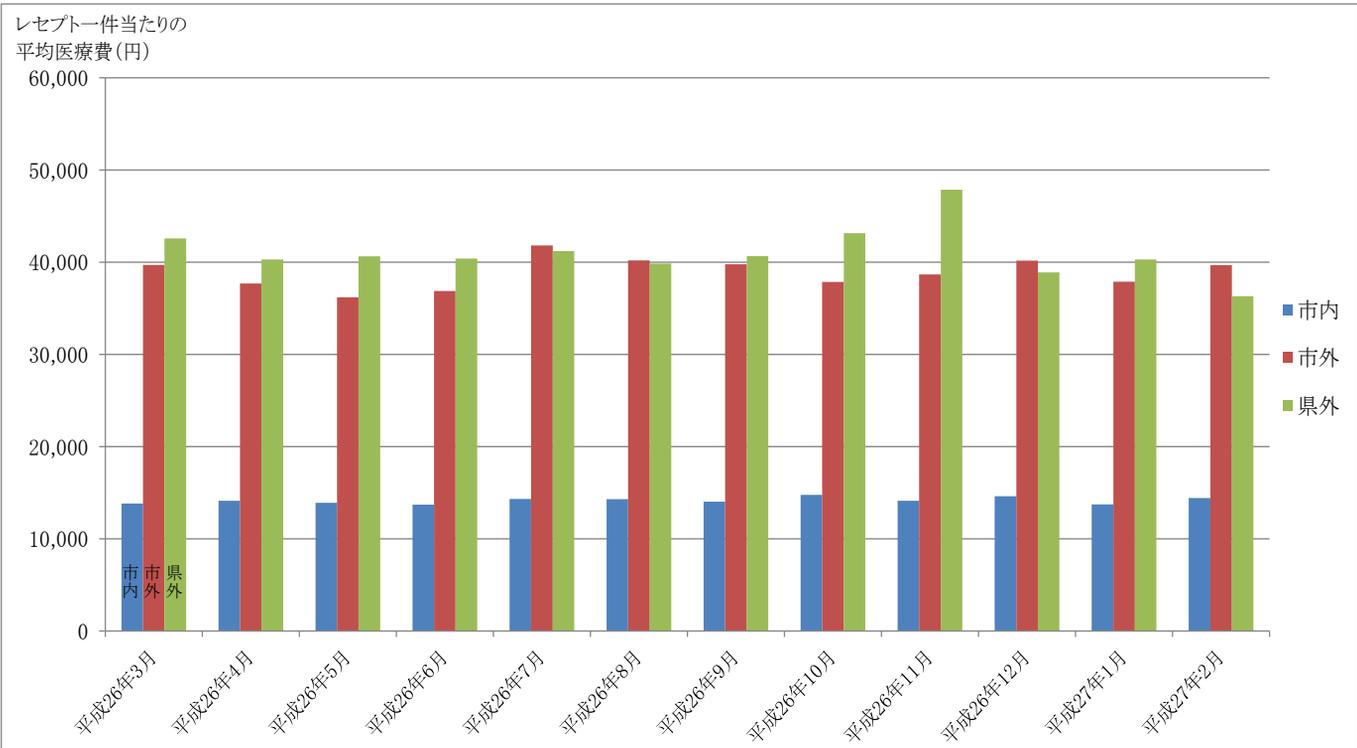
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

被保険者一人当たりの平均医療費



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

レセプト一件当たりの平均医療費



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

(2)高額レセプトの件数及び要因

①高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。

高額レセプトは、月間平均169件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均1億6,465万円程度となり、医療費全体の28.4%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月
A	レセプト件数全体(件)	28,096	26,998	26,514	26,850	27,392	25,895	26,360
B	高額(5万点以上)レセプト件数(件)	159	170	162	165	195	160	170
B/A	件数構成比(%)	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
C	医療費全体(円) ※	610,112,320	578,681,640	561,984,810	565,113,020	612,145,160	564,264,420	573,768,340
D	高額(5万点以上)レセプトの医療費(円)	176,389,050	164,537,570	153,848,110	152,271,310	185,662,480	146,649,360	166,183,020
D/C	金額構成比(%)	28.9%	28.4%	27.4%	26.9%	30.3%	26.0%	29.0%

		平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数全体(件)	27,317	25,472	27,474	27,241	25,391	26,750	321,000
B	高額(5万点以上)レセプト件数(件)	181	174	171	165	150	169	2,022
B/A	件数構成比(%)	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	
C	医療費全体(円) ※	615,603,120	578,879,420	594,317,680	569,373,620	536,038,780	580,023,528	6,960,282,330
D	高額(5万点以上)レセプトの医療費(円)	185,476,980	188,336,430	163,376,460	158,340,940	134,785,340	164,654,754	1,975,857,050
D/C	金額構成比(%)	30.1%	32.5%	27.5%	27.8%	25.1%	28.4%	

データ化範囲(分析対象)…**医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。**

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプトの年齢階層別統計

高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	516,030	33,734,140	34,250,170	1.7%
5歳～9歳	0	4,198,000	4,198,000	0.2%
10歳～14歳	7,620,320	14,377,250	21,997,570	1.1%
15歳～19歳	2,945,900	22,140,680	25,086,580	1.3%
20歳～24歳	0	39,722,270	39,722,270	2.0%
25歳～29歳	0	23,423,060	23,423,060	1.2%
30歳～34歳	9,840,360	24,753,320	34,593,680	1.8%
35歳～39歳	4,415,020	57,107,460	61,522,480	3.1%
40歳～44歳	7,289,680	54,399,270	61,688,950	3.1%
45歳～49歳	6,264,020	88,231,560	94,495,580	4.8%
50歳～54歳	18,307,130	87,935,140	106,242,270	5.4%
55歳～59歳	13,758,220	158,925,420	172,683,640	8.7%
60歳～64歳	23,819,630	321,789,440	345,609,070	17.5%
65歳～69歳	16,707,000	365,096,270	381,803,270	19.3%
70歳～	19,681,440	548,859,020	568,540,460	28.8%
合計	131,164,750	1,844,692,300	1,975,857,050	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	1	19	20	1.8%
5歳～9歳	0	7	7	0.6%
10歳～14歳	3	8	10	0.9%
15歳～19歳	2	12	14	1.3%
20歳～24歳	0	13	13	1.2%
25歳～29歳	0	20	20	1.8%
30歳～34歳	3	24	27	2.4%
35歳～39歳	2	27	27	2.4%
40歳～44歳	4	41	43	3.9%
45歳～49歳	5	53	56	5.1%
50歳～54歳	5	54	57	5.2%
55歳～59歳	8	83	88	8.0%
60歳～64歳	21	170	185	16.8%
65歳～69歳	10	232	237	21.5%
70歳～	13	294	300	27.2%
合計	77	1,057	1,104	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳～4歳	1	29	30	1.5%
5歳～9歳	0	7	7	0.3%
10歳～14歳	12	17	29	1.4%
15歳～19歳	3	27	30	1.5%
20歳～24歳	0	24	24	1.2%
25歳～29歳	0	34	34	1.7%
30歳～34歳	12	30	42	2.1%
35歳～39歳	4	64	68	3.4%
40歳～44歳	13	66	79	3.9%
45歳～49歳	10	86	96	4.7%
50歳～54歳	21	95	116	5.7%
55歳～59歳	19	151	170	8.4%
60歳～64歳	37	337	374	18.5%
65歳～69歳	22	354	376	18.6%
70歳～	28	519	547	27.1%
合計	182	1,840	2,022	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

③高額レセプトの要因となる疾病傾向

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし集計した。医療費分解後、患者毎に最も医療費がかかっている疾病を特定し、患者一人当たりの医療費が高い順に上位の疾病項目を以下に示す。要因となる疾病は、「白血病」「腎不全」「その他の心疾患」「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」「その他の悪性新生物」等である。

高額(5万点以上)レセプトの要因となる疾病

中分類名	主要傷病名	患者数 (人)	医療費(円)			患者一人当たりの 医療費(円)
			入院	入院外	合計	
白血病	急性骨髄性白血病,慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	12	58,291,570	26,856,480	85,148,050	7,095,671
腎不全	慢性腎不全,末期腎不全,急性腎不全	39	104,380,490	99,309,210	203,689,700	5,222,813
その他の心疾患	うっ血性心不全,発作性心房細動,心房細動	44	155,278,810	20,157,440	175,436,250	3,987,188
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	直腸癌,直腸S状部結腸癌	22	73,554,830	11,819,920	85,374,750	3,880,670
その他の悪性新生物	前立腺癌,多発性骨髄腫,胸部食道癌	69	170,470,140	57,823,400	228,293,540	3,308,602
その他の神経系の疾患	多発性硬化症,肘部管症候群,髄膜炎	18	52,076,780	6,590,760	58,667,540	3,259,308
気管,気管支及び肺の悪性新生物	肺癌,下葉肺癌,上葉肺癌	22	44,405,630	24,273,430	68,679,060	3,121,775
乳房の悪性新生物	乳癌,乳房上外側部乳癌,乳房上内側部乳癌	31	31,483,880	52,702,180	84,186,060	2,715,679
胃の悪性新生物	胃癌,胃体部癌,噴門癌	31	65,890,630	12,287,130	78,177,760	2,521,863
脳梗塞	脳梗塞,アテローム血栓性脳梗塞,心原性脳塞栓症	54	118,538,880	11,629,970	130,168,850	2,410,534

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

(3)疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

(i)神栖市国民健康保険全体

以下の通り、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の19.0%を占めている。「新生物」は医療費合計の12.9%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の10.7%と高い割合を占めている。次いで「消化器系の疾患」も医療費合計の7.8%を占め、高い水準となっている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	216,560,047	3.1%	12	28,895	11	8,067	7	26,845	17
II. 新生物	894,408,152	12.9%	2	24,349	13	6,694	11	133,613	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	97,560,088	1.4%	15	8,551	15	2,553	15	38,214	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	739,974,601	10.7%	3	105,914	2	11,340	3	65,253	7
V. 精神及び行動の障害	401,580,917	5.8%	8	29,651	9	3,106	14	129,292	3
VI. 神経系の疾患	276,861,616	4.0%	9	48,828	6	5,183	12	53,417	10
VII. 眼及び付属器の疾患	260,718,014	3.8%	10	27,312	12	7,847	9	33,225	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	27,591,345	0.4%	17	7,079	16	2,069	16	13,336	21
IX. 循環器系の疾患	1,313,829,096	19.0%	1	117,585	1	10,724	4	122,513	4
X. 呼吸器系の疾患	475,845,892	6.9%	7	74,218	4	14,883	1	31,972	15
X I. 消化器系の疾患 ※	541,491,276	7.8%	4	90,967	3	12,721	2	42,567	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	164,284,151	2.4%	13	36,335	7	8,693	6	18,898	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	528,369,647	7.6%	5	70,463	5	9,719	5	54,365	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	500,178,552	7.2%	6	28,975	10	6,749	10	74,112	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	39,408,999	0.6%	16	1,289	19	376	19	104,811	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	17,086,572	0.2%	19	168	21	94	21	181,772	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	24,035,184	0.3%	18	3,649	18	829	18	28,993	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	146,035,132	2.1%	14	30,023	8	7,891	8	18,507	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	240,295,336	3.5%	11	13,755	14	4,965	13	48,398	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,400,941	0.2%	20	4,883	17	936	17	14,317	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	13,353,002	0.2%	21	665	20	209	20	63,890	8
合計	6,932,868,560	100.0%		318,097		26,241		264,200	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

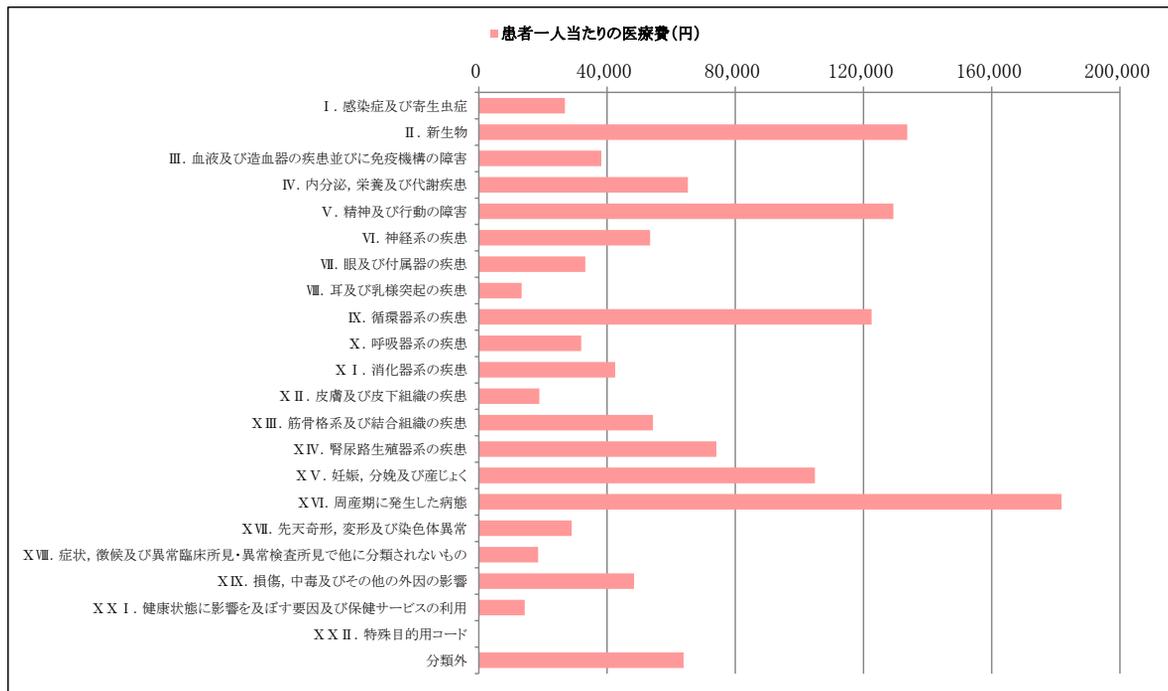
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費は、「周産期に発生した病態」「新生物」「精神及び行動の障害」が高い。次いで、「循環器系の疾患」「妊娠、分娩及び産じょく」「腎尿路生殖器系の疾患」の順となる。

患者一人当たりの医療費



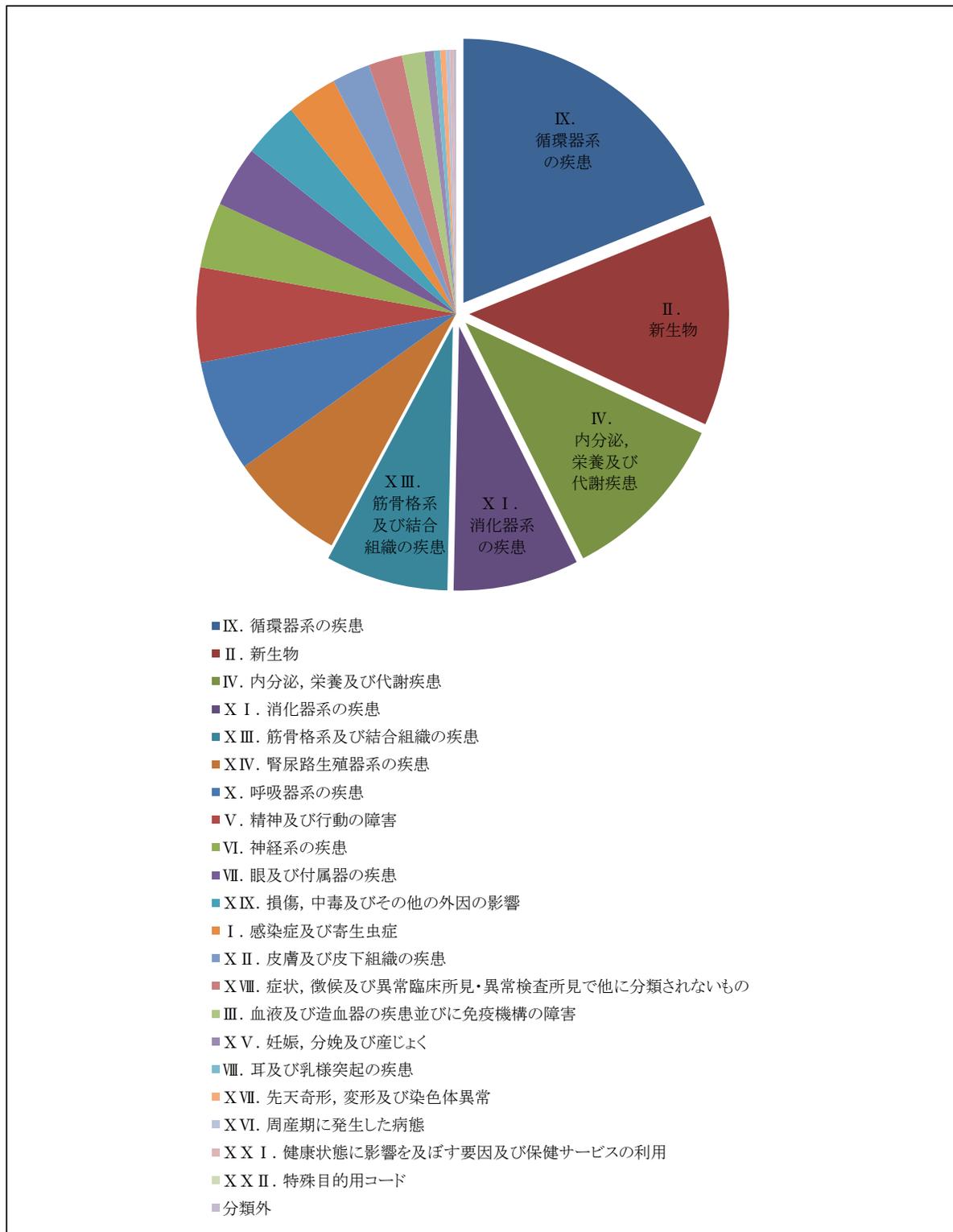
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライズン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

疾病項目別の医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で過半数を占める。

疾病項目別医療費割合



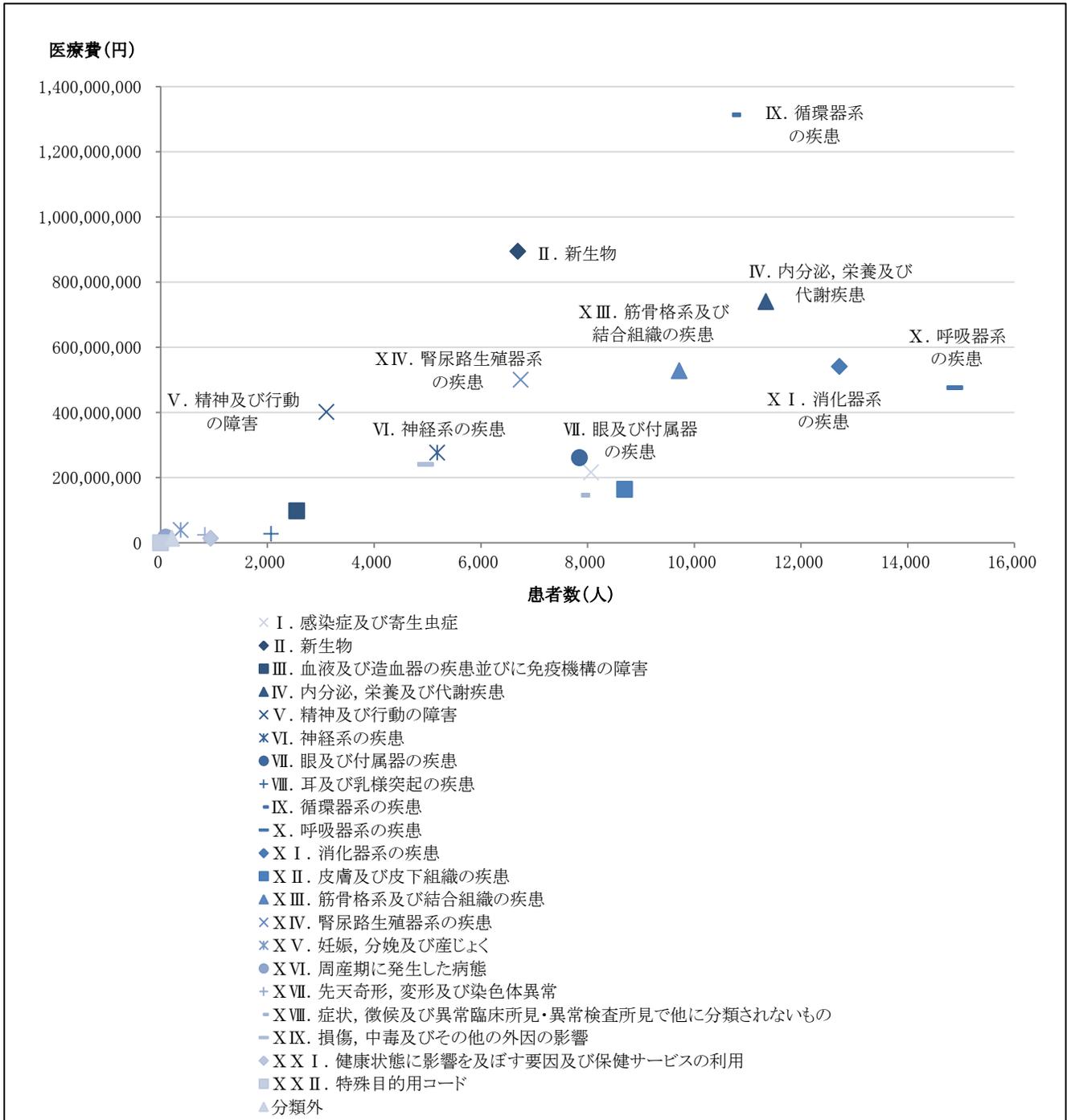
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

疾病項目毎の医療費、及び患者数をグラフにて示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライズン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

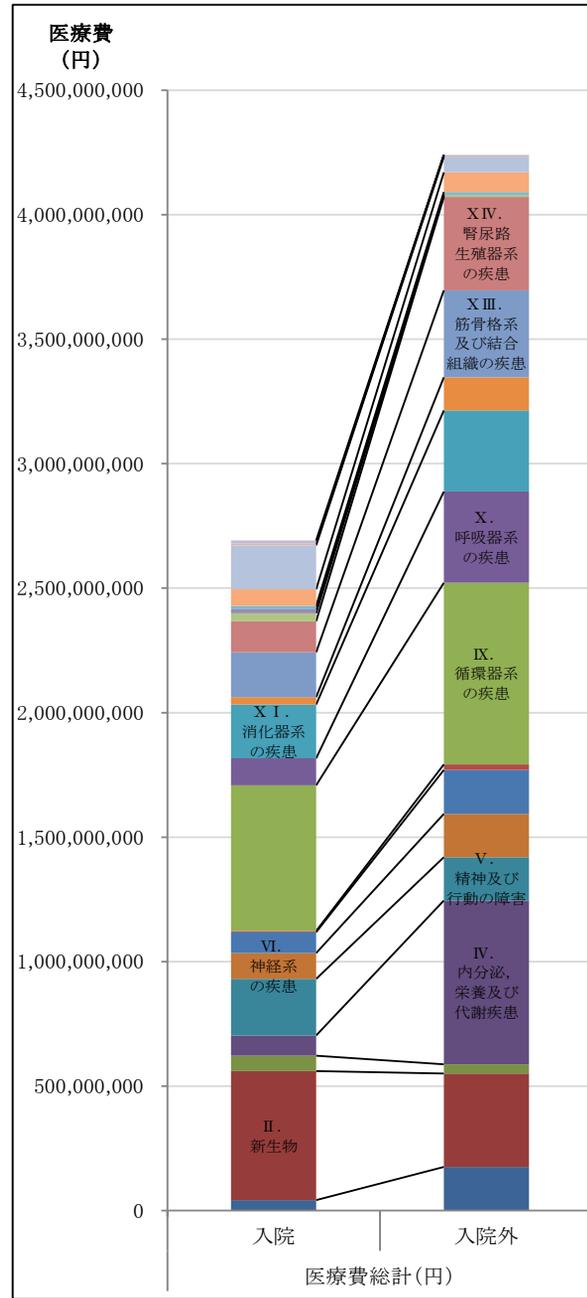
(ii)入院・入院外比較

神栖市国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	41,415,624	175,144,423
II. 新生物	518,677,195	375,730,957
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	61,496,451	36,063,637
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	82,047,851	657,926,750
V. 精神及び行動の障害	226,581,697	174,999,220
VI. 神経系の疾患	103,883,071	172,978,545
VII. 眼及び付属器の疾患	83,601,062	177,116,952
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,173,908	22,417,437
IX. 循環器系の疾患	585,113,439	728,715,657
X. 呼吸器系の疾患	109,278,376	366,567,516
X I. 消化器系の疾患 ※	215,178,772	326,312,504
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	30,533,457	133,750,694
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	179,290,103	349,079,544
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	125,362,839	374,815,713
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	32,107,695	7,301,304
X VI. 周産期に発生した病態 ※	15,968,190	1,118,382
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	12,855,608	11,179,576
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	67,179,154	78,855,978
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	176,751,426	63,543,910
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,521,269	5,879,672
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	11,537,293	1,815,709
合計	2,691,554,480	4,241,314,080



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, ”男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

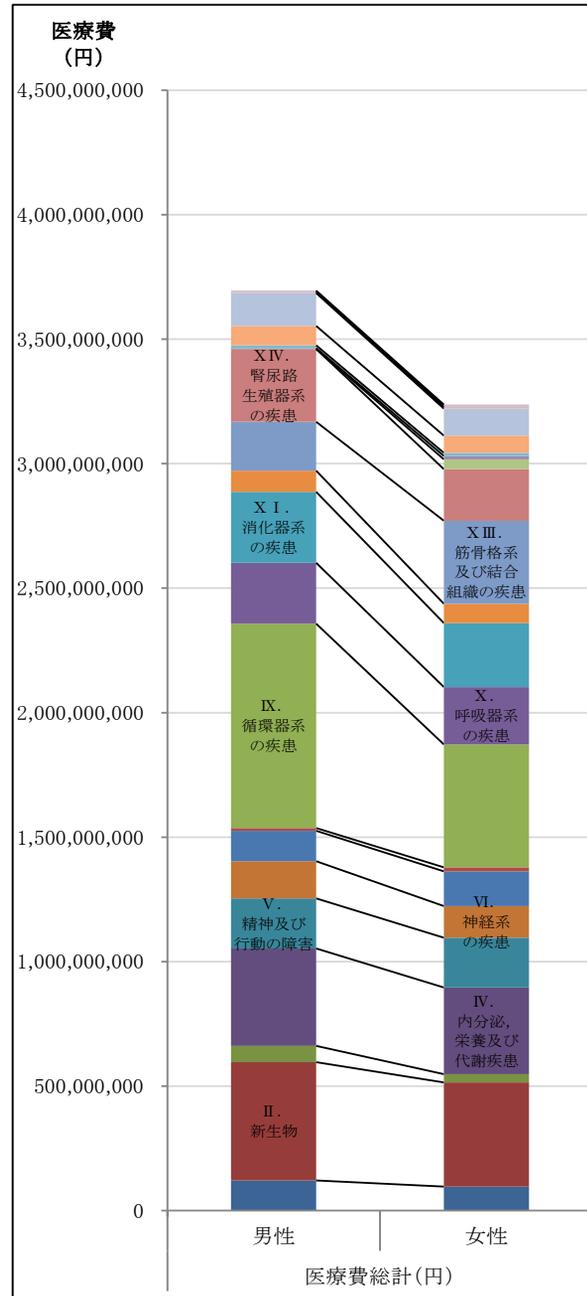
(iii)男性・女性比較

神栖市国民健康保険における、疾病別医療費を男女別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	医療費総計(円) ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	120,347,884	96,212,163
II. 新生物	476,256,125	418,152,027
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	64,360,599	33,199,489
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	391,579,610	348,394,991
V. 精神及び行動の障害	201,097,686	200,483,231
VI. 神経系の疾患	149,743,052	127,118,564
VII. 眼及び付属器の疾患	122,063,288	138,654,726
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	11,245,716	16,345,629
IX. 循環器系の疾患	820,198,594	493,630,502
X. 呼吸器系の疾患	244,575,036	231,270,856
X I. 消化器系の疾患 ※	285,107,330	256,383,946
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	85,911,998	78,372,153
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	195,678,790	332,690,857
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	292,876,803	207,301,749
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,875	39,406,124
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,412,002	13,674,570
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	11,607,596	12,427,588
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	77,164,776	68,870,356
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	131,970,164	108,325,172
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,962,380	7,438,561
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	4,647,706	8,705,296
合計	3,695,810,010	3,237,058,550



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

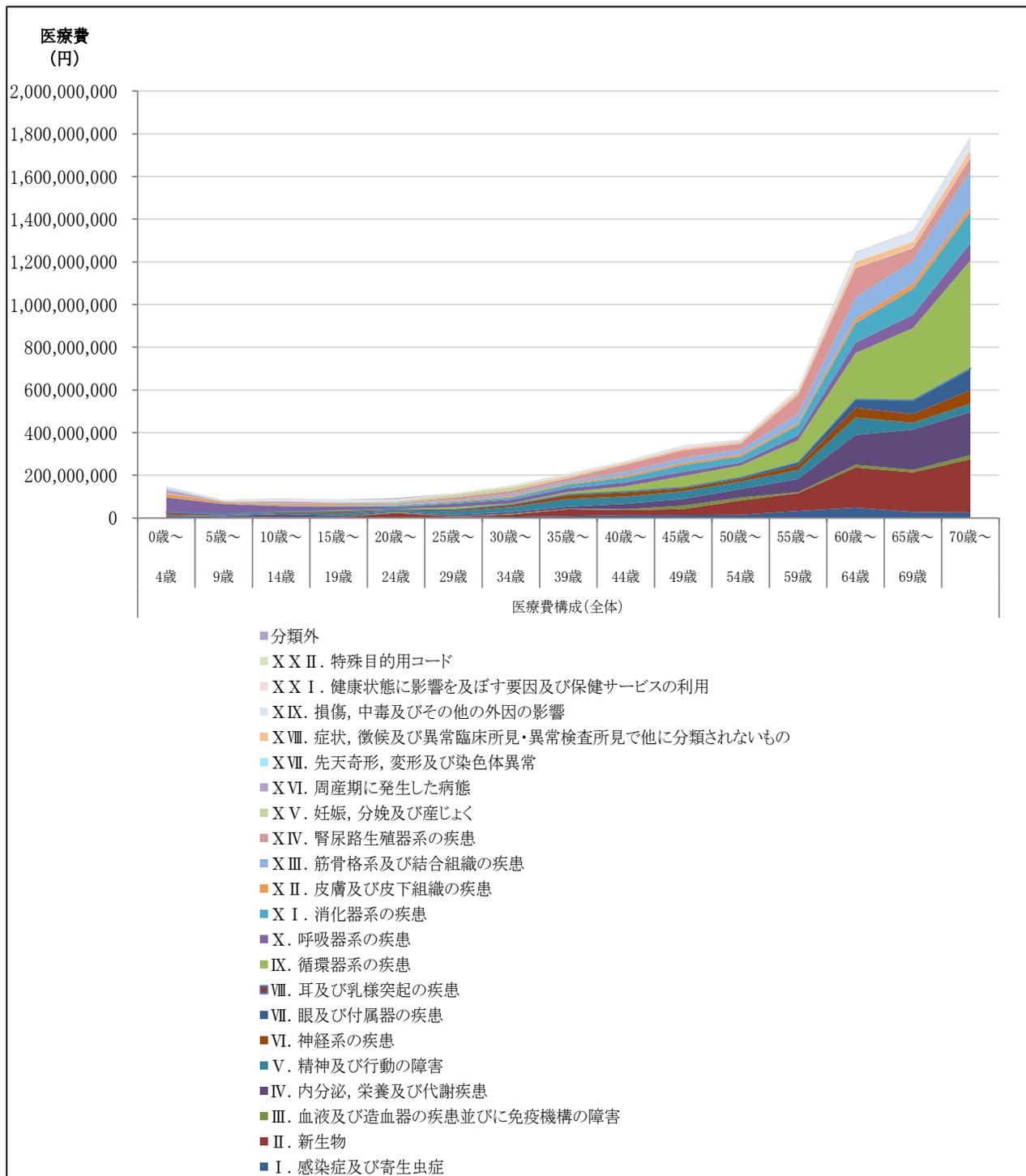
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

(iv)年齢階層別比較

神栖市国民健康保険における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)

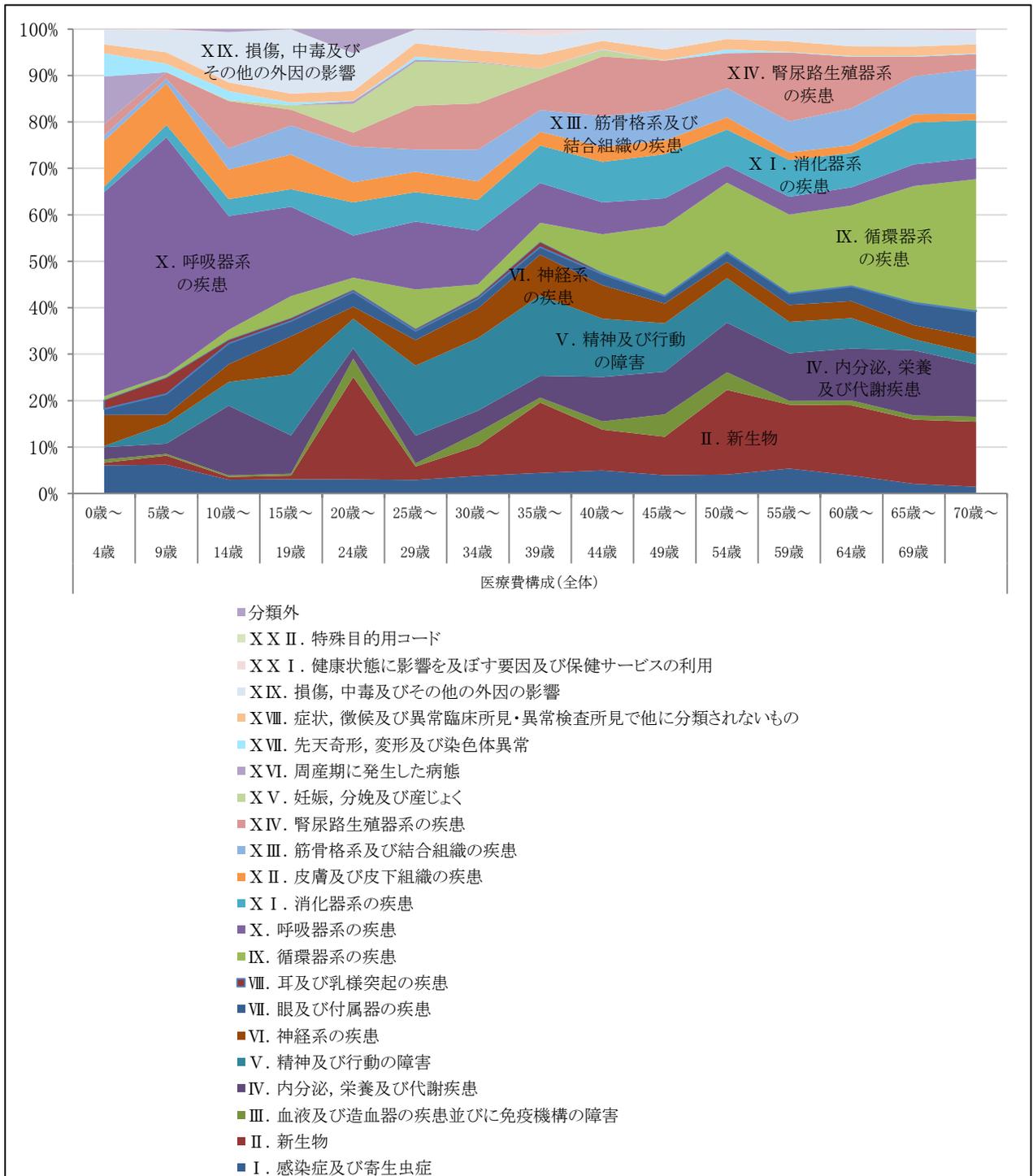


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライズン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	XVI. 周産期に発生した病態	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	VI. 神経系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	VII. 眼及び付属器の疾患
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患
20歳～24歳	II. 新生物	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XI. 消化器系の疾患
25歳～29歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
40歳～44歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	II. 新生物	XI. 消化器系の疾患
45歳～49歳	IX. 循環器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
50歳～54歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患
55歳～59歳	IX. 循環器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
60歳～64歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	II. 新生物	XI. 消化器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
70歳～	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XI. 消化器系の疾患

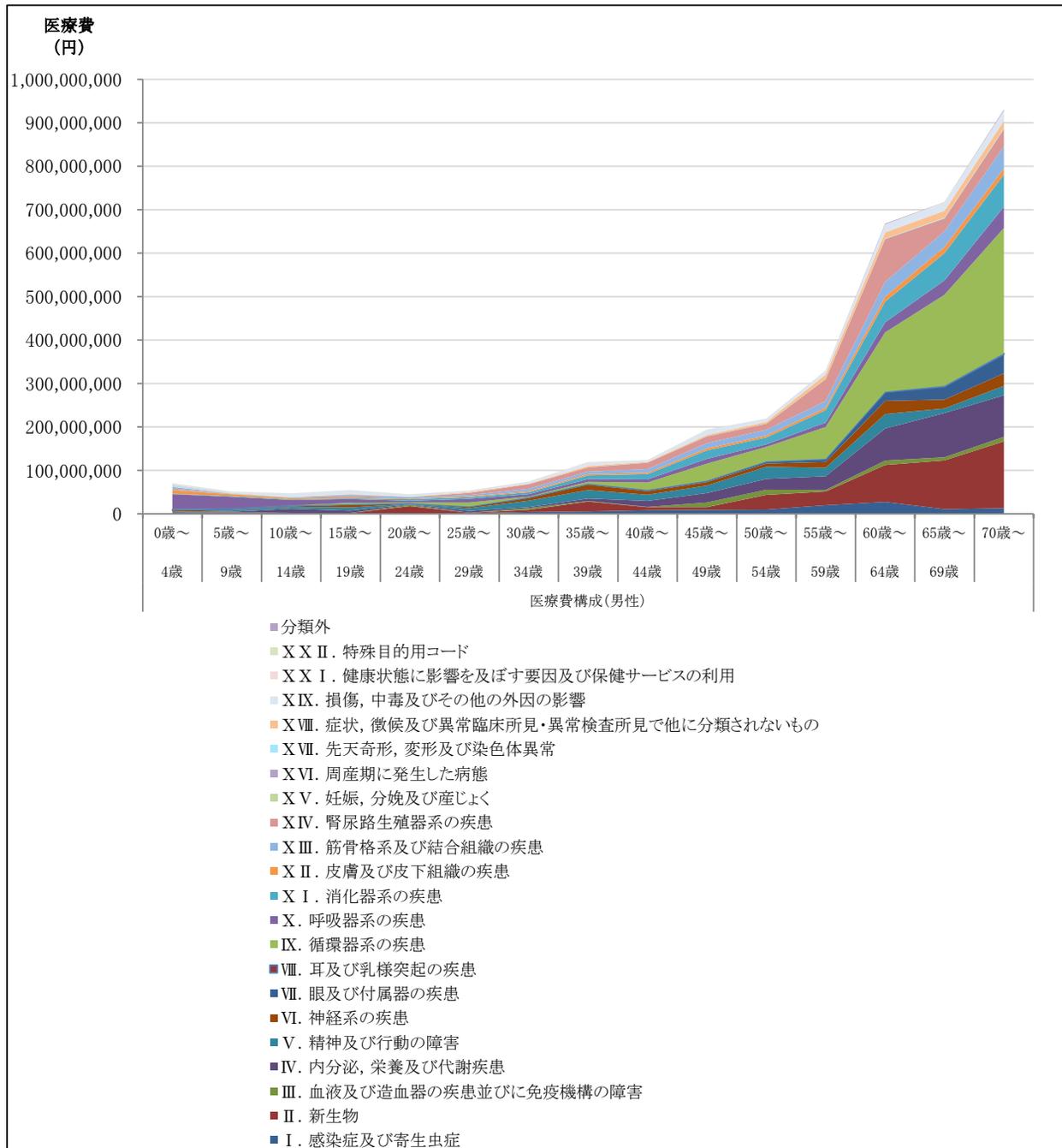
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

神栖市国民健康保険の男性における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(男性)

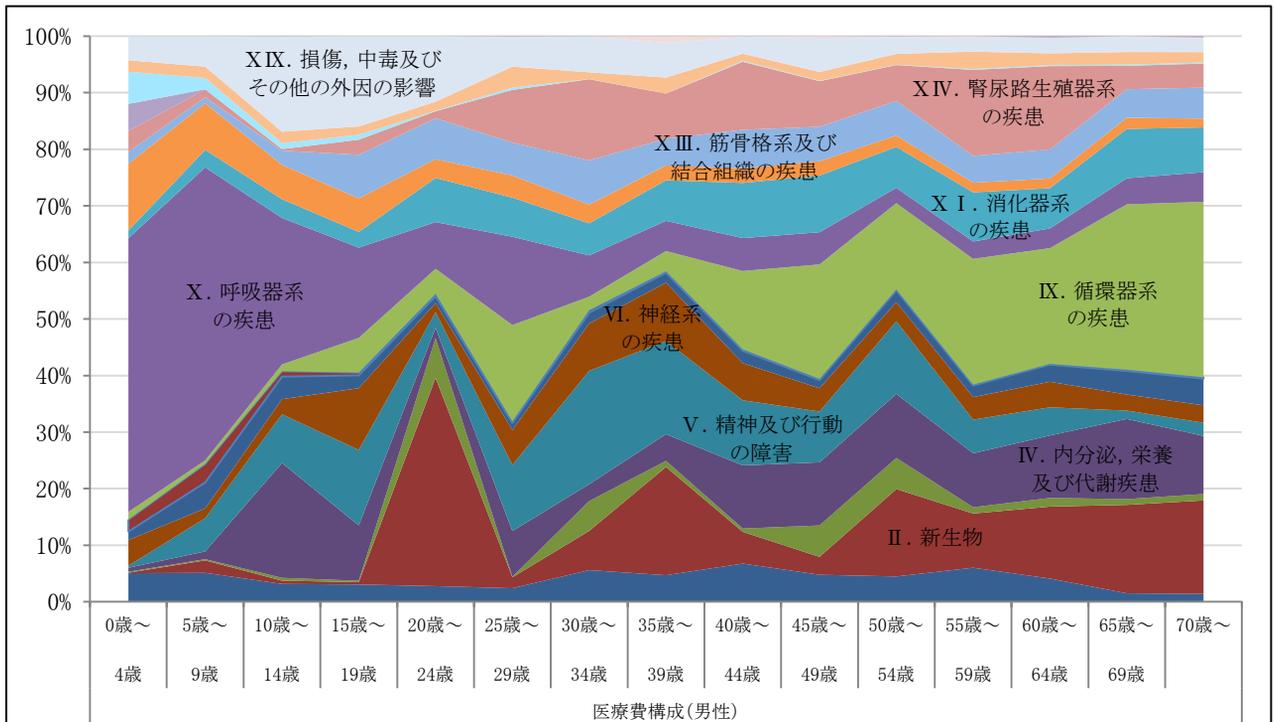


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(男性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データホライズン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(男性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	I. 感染症及び寄生虫症	X VI. 周産期に発生した病態
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	I. 感染症及び寄生虫症
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
20歳～24歳	II. 新生物	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
25歳～29歳	IX. 循環器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患
35歳～39歳	II. 新生物	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
40歳～44歳	IX. 循環器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
45歳～49歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
50歳～54歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
55歳～59歳	IX. 循環器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
60歳～64歳	IX. 循環器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
70歳～	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患

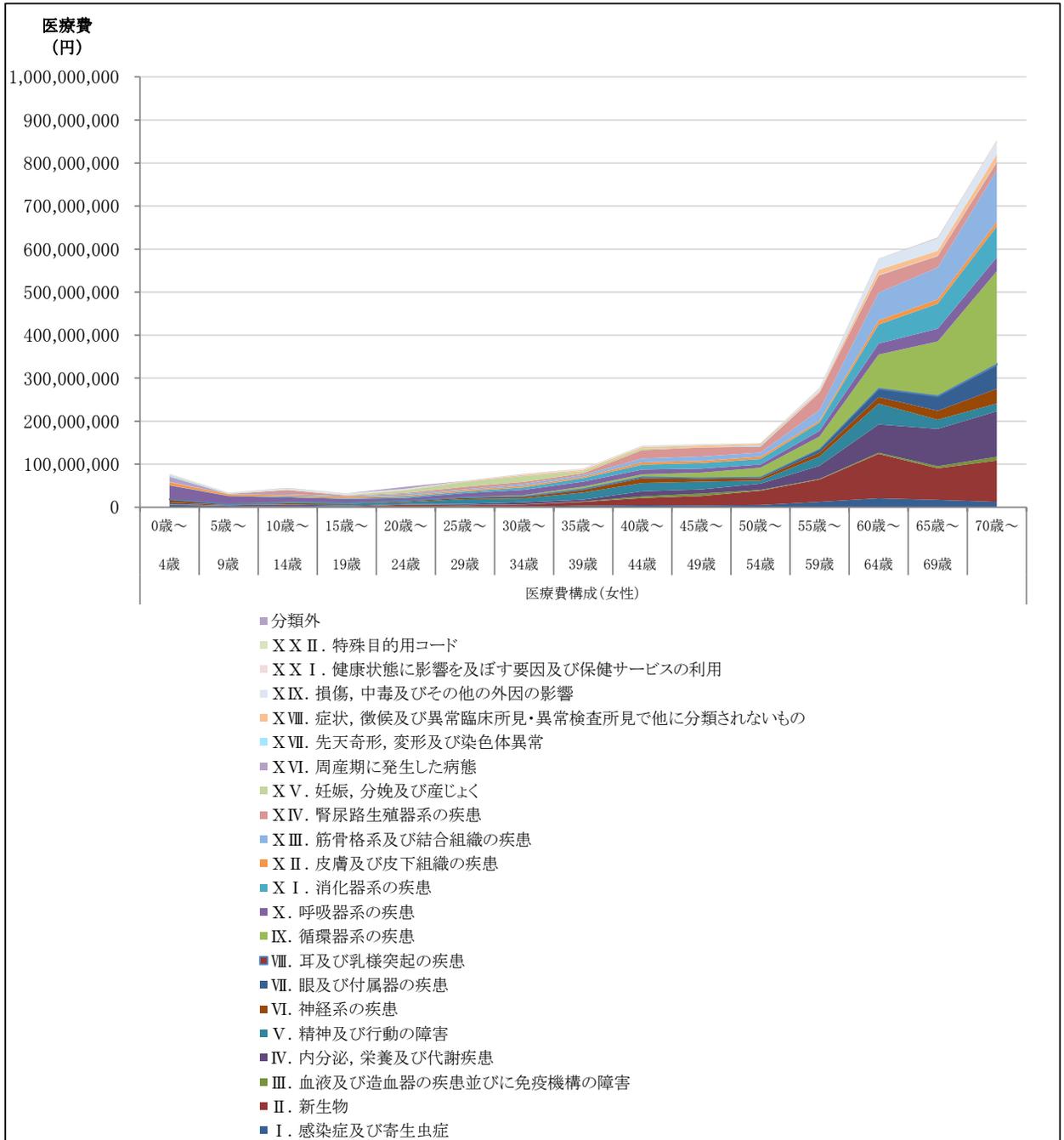
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

神栖市国民健康保険の女性における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(女性)

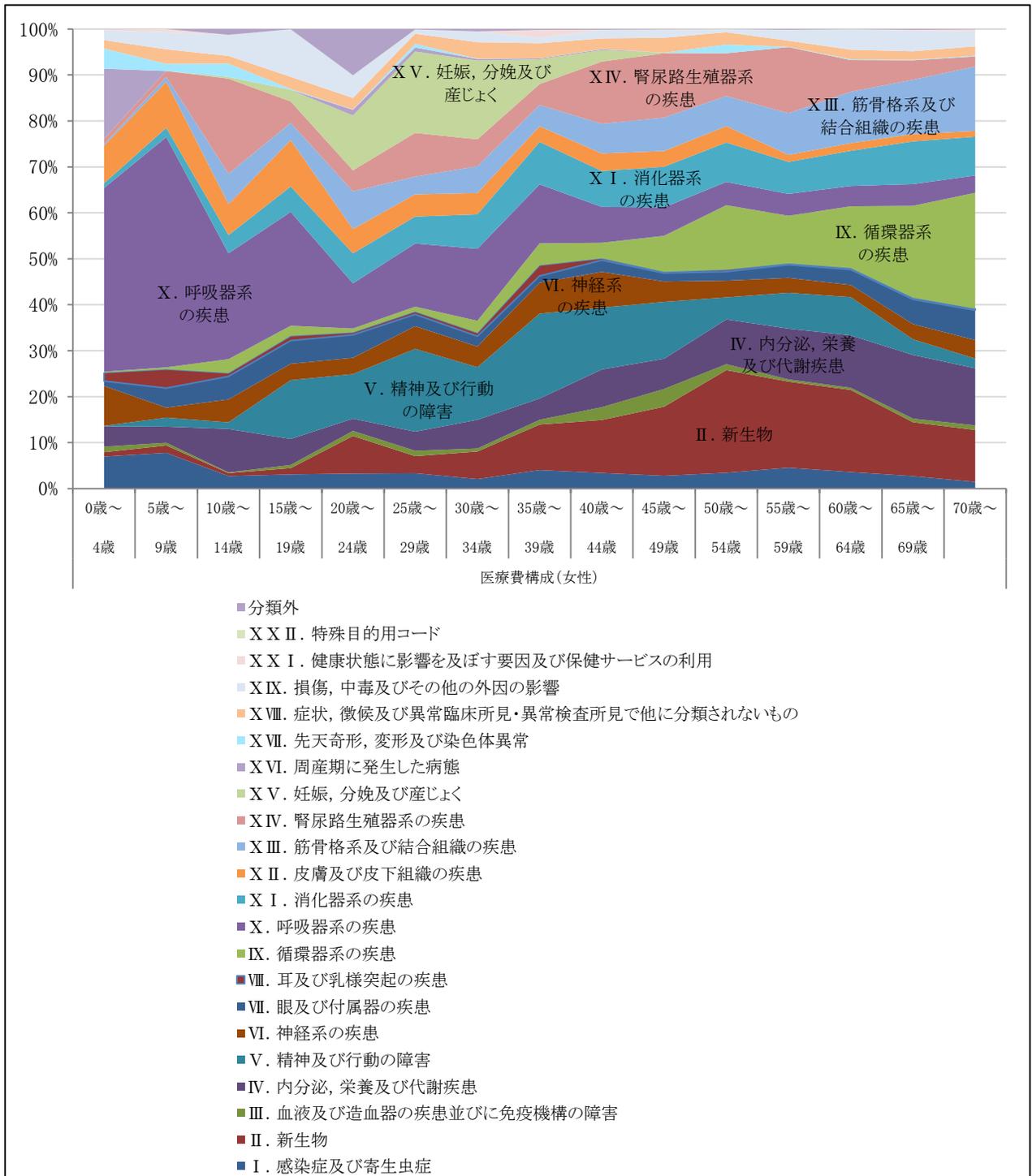


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(女性)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	XVI. 周産期に発生した病態	VI. 神経系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	VII. 眼及び付属器の疾患	VIII. 耳及び乳様突起の疾患
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
20歳～24歳	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	分類外	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
25歳～29歳	V. 精神及び行動の障害	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	X. 呼吸器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
30歳～34歳	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	II. 新生物	XI. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患
40歳～44歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
45歳～49歳	II. 新生物	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
50歳～54歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
55歳～59歳	II. 新生物	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
60歳～64歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	V. 精神及び行動の障害
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物	XI. 消化器系の疾患
70歳～	IX. 循環器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	II. 新生物	XI. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(v)地区比較

地区毎に集計した。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【神栖】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	71,641,414	3.3%	10	10,286	9	2,815	7	25,450	17
II. 新生物	261,182,240	11.9%	2	7,893	12	2,192	10	119,152	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	33,545,699	1.5%	15	2,640	15	768	15	43,679	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	236,625,369	10.8%	3	36,357	2	3,528	3	67,071	8
V. 精神及び行動の障害	137,452,036	6.3%	8	10,828	8	1,035	14	132,804	2
VI. 神経系の疾患	89,515,527	4.1%	9	17,116	6	1,657	13	54,023	9
VII. 眼及び付属器の疾患	67,756,278	3.1%	11	7,693	13	2,556	9	26,509	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,161,320	0.4%	17	2,182	16	657	16	13,944	20
IX. 循環器系の疾患	392,557,431	17.9%	1	39,864	1	3,372	4	116,417	4
X. 呼吸器系の疾患	171,195,617	7.8%	6	28,573	4	5,272	1	32,473	14
X I. 消化器系の疾患 ※	182,579,427	8.3%	5	31,787	3	4,132	2	44,187	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	53,340,007	2.4%	13	12,968	7	2,964	6	17,996	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	160,448,105	7.3%	7	22,384	5	3,041	5	52,762	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	186,657,462	8.5%	4	9,082	11	2,044	11	91,320	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	18,422,034	0.8%	16	617	19	179	19	102,916	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,887,737	0.1%	21	68	21	38	21	75,993	7
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,395,343	0.3%	19	1,016	18	241	18	26,537	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	43,008,857	2.0%	14	10,112	10	2,638	8	16,304	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	60,186,067	2.7%	12	4,406	14	1,663	12	36,191	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,016,122	0.2%	20	1,640	17	316	17	12,709	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	6,634,878	0.3%	18	181	20	48	20	138,227	1
合計	2,195,208,970	100.0%		110,497		8,880		247,208	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【知手】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	56,314,859	3.2%	12	8,018	8	2,099	7	26,829	16
II. 新生物	232,434,256	13.1%	2	6,569	12	1,745	10	133,200	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,636,898	1.1%	15	2,471	15	684	15	27,247	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	188,774,107	10.7%	3	29,062	2	2,969	3	63,582	7
V. 精神及び行動の障害	77,272,751	4.4%	8	8,002	9	860	14	89,852	5
VI. 神経系の疾患	66,536,499	3.8%	9	12,863	6	1,338	12	49,728	10
VII. 眼及び付属器の疾患	66,365,635	3.7%	10	6,462	13	1,994	8	33,283	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,850,908	0.4%	18	1,739	16	509	16	15,424	21
IX. 循環器系の疾患	348,344,247	19.7%	1	32,375	1	2,774	4	125,575	4
X. 呼吸器系の疾患	119,883,301	6.8%	7	19,317	4	3,814	1	31,432	13
X I. 消化器系の疾患 ※	139,621,190	7.9%	4	25,337	3	3,392	2	41,162	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	46,085,882	2.6%	13	10,251	7	2,426	6	18,997	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	135,775,417	7.7%	5	19,277	5	2,478	5	54,792	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	125,729,348	7.1%	6	7,137	11	1,598	11	78,679	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	12,235,088	0.7%	16	306	19	77	19	158,897	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,463,702	0.6%	17	40	21	21	21	545,891	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,513,314	0.4%	19	1,278	17	237	17	27,482	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,782,161	2.4%	14	7,813	10	1,980	9	21,607	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	63,437,500	3.6%	11	3,234	14	1,232	13	51,491	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,695,027	0.3%	20	1,058	18	219	18	21,438	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	972,580	0.1%	21	171	20	54	20	18,011	20
合計	1,771,724,670	100.0%		83,863		6,697		264,555	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、”男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【波崎】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	29,646,669	3.0%	12	3,416	12	1,007	10	29,441	15
II. 新生物	126,572,927	12.7%	2	3,104	13	880	11	143,833	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,814,373	1.8%	15	1,179	15	358	15	49,761	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	105,293,367	10.6%	3	14,421	2	1,631	3	64,558	6
V. 精神及び行動の障害	74,265,713	7.5%	6	3,647	11	380	14	195,436	1
VI. 神経系の疾患	39,916,383	4.0%	10	7,068	6	774	12	51,572	9
VII. 眼及び付属器の疾患	36,960,933	3.7%	11	4,793	7	1,033	7	35,780	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,697,790	0.4%	16	1,085	16	300	16	12,326	21
IX. 循環器系の疾患	180,871,142	18.2%	1	16,449	1	1,581	4	114,403	3
X. 呼吸器系の疾患	56,587,110	5.7%	8	7,999	5	1,833	1	30,871	14
X I. 消化器系の疾患 ※	74,748,962	7.5%	5	12,018	3	1,791	2	41,736	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	19,613,908	2.0%	13	3,953	9	1,017	8	19,286	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	87,002,912	8.7%	4	10,567	4	1,378	5	63,137	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	65,995,486	6.6%	7	4,313	8	1,099	6	60,050	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,546,836	0.3%	18	87	19	33	19	77,177	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	550,219	0.1%	21	20	21	13	21	42,325	11
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,696,549	0.4%	17	484	18	128	18	28,879	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,878,452	1.9%	14	3,866	10	1,013	9	18,636	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	47,284,810	4.8%	9	2,076	14	663	13	71,319	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,095,408	0.2%	19	794	17	138	17	15,184	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	769,761	0.1%	20	72	20	28	20	27,491	17
合計	994,809,710	100.0%		41,807		3,371		295,108	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため,“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため,周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため,データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト,月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため,合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため,合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【矢田部】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,798,159	3.7%	11	1,563	11	450	9	37,329	10
II. 新生物	73,442,929	16.1%	2	1,547	12	421	11	174,449	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	4,129,258	0.9%	15	449	15	162	14	25,489	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	56,652,498	12.4%	3	6,038	2	702	3	80,702	4
V. 精神及び行動の障害	22,258,125	4.9%	8	1,357	13	160	15	139,113	2
VI. 神経系の疾患	12,409,030	2.7%	12	2,339	6	276	13	44,960	9
VII. 眼及び付属器の疾患	17,755,447	3.9%	9	1,951	8	487	8	36,459	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,013,224	0.2%	17	317	17	125	16	8,106	19
IX. 循環器系の疾患	78,158,033	17.1%	1	6,640	1	664	4	117,708	3
X. 呼吸器系の疾患	29,480,357	6.5%	7	3,517	5	809	1	36,440	12
X I. 消化器系の疾患 ※	39,592,077	8.7%	4	4,606	3	706	2	56,079	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,781,539	2.4%	13	2,028	7	521	6	20,694	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	35,303,667	7.7%	5	4,250	4	625	5	56,486	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	31,802,742	7.0%	6	1,836	9	446	10	71,307	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	283,890	0.1%	19	16	20	8	20	35,486	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	525,579	0.1%	18	212	18	52	18	10,107	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,827,612	1.7%	14	1,753	10	493	7	15,878	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	17,156,656	3.8%	10	970	14	321	12	53,448	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,120,129	0.2%	16	352	16	66	17	16,972	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	117,449	0.0%	20	32	19	18	19	6,525	20
合計	456,608,400	100.0%		17,639		1,495		305,424	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、”男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【土合】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,763,540	2.6%	12	1,547	13	496	10	25,733	17
II. 新生物	83,684,649	17.2%	2	1,692	12	470	11	178,052	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,807,503	1.6%	14	500	16	174	16	44,871	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	53,040,173	10.9%	3	6,279	2	796	3	66,633	5
V. 精神及び行動の障害	17,937,266	3.7%	10	1,702	11	196	14	91,517	4
VI. 神経系の疾患	19,784,325	4.1%	9	2,820	6	366	12	54,056	7
VII. 眼及び付属器の疾患	26,321,247	5.4%	8	2,398	7	594	6	44,312	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,151,227	0.4%	16	613	15	177	15	12,154	20
IX. 循環器系の疾患	99,564,666	20.5%	1	7,069	1	758	4	131,352	3
X. 呼吸器系の疾患	30,006,644	6.2%	7	4,675	4	1,031	1	29,104	16
X I. 消化器系の疾患 ※	31,946,983	6.6%	5	5,252	3	843	2	37,897	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,589,389	2.0%	13	2,126	10	536	8	17,891	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	32,659,033	6.7%	4	4,549	5	709	5	46,064	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	31,691,120	6.5%	6	2,250	8	525	9	60,364	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	754,430	0.2%	20	51	20	20	20	37,722	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,653,560	0.3%	18	12	21	7	21	236,223	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,719,323	0.4%	17	161	18	48	18	35,819	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,804,096	1.6%	15	2,149	9	576	7	13,549	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,389,764	3.0%	11	982	14	337	13	42,700	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	584,277	0.1%	21	402	17	68	17	8,592	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	800,565	0.2%	19	73	19	26	19	30,791	15
合計	486,653,780	100.0%		20,735		1,843		264,055	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【太田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	27,084,334	2.8%	12	3,647	12	1,080	9	25,078	17
II. 新生物	112,438,071	11.7%	2	3,376	13	933	11	120,512	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,592,297	1.2%	15	1,204	15	373	15	31,079	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	94,808,961	9.8%	3	13,088	2	1,601	3	59,219	7
V. 精神及び行動の障害	70,075,639	7.3%	5	3,691	11	414	14	169,265	1
VI. 神経系の疾患	44,377,520	4.6%	10	6,022	6	699	12	63,487	6
VII. 眼及び付属器の疾患	44,416,130	4.6%	9	3,815	10	1,094	7	40,600	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,461,047	0.4%	19	1,059	16	277	16	12,495	20
IX. 循環器系の疾患	200,302,030	20.8%	1	14,470	1	1,473	4	135,982	2
X. 呼吸器系の疾患	61,981,187	6.4%	7	9,188	4	1,922	1	32,248	15
X I. 消化器系の疾患 ※	69,021,960	7.2%	6	11,193	3	1,704	2	40,506	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	22,405,523	2.3%	14	4,622	7	1,121	6	19,987	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	72,586,499	7.5%	4	8,878	5	1,384	5	52,447	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	56,014,219	5.8%	8	4,112	8	956	10	58,592	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,078,155	0.4%	17	144	19	37	19	110,220	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	531,354	0.1%	21	28	21	15	21	35,424	14
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,728,442	0.5%	16	461	18	115	18	41,117	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,590,699	2.4%	13	3,953	9	1,082	8	21,803	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	35,979,227	3.7%	11	1,921	14	680	13	52,911	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	889,166	0.1%	20	633	17	126	17	7,057	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,017,390	0.4%	18	118	20	31	20	129,593	3
合計	964,379,850	100.0%		40,453		3,508		274,909	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,311,072	3.6%	11	418	8	120	3	19,259	16
II. 新生物	4,653,080	7.3%	4	168	13	53	14	87,794	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,034,060	6.4%	7	108	15	34	15	118,649	2
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,780,126	7.5%	3	669	4	113	4	42,302	8
V. 精神及び行動の障害	2,319,387	3.7%	10	424	7	61	13	38,023	9
VI. 神経系の疾患	4,322,332	6.8%	6	600	5	73	11	59,210	4
VII. 眼及び付属器の疾患	1,142,344	1.8%	15	200	12	89	9	12,835	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	255,829	0.4%	18	84	16	24	16	10,660	18
IX. 循環器系の疾患	14,031,547	22.1%	1	718	3	102	8	137,564	1
X. 呼吸器系の疾患	6,711,676	10.6%	2	949	1	202	1	33,226	10
X I. 消化器系の疾患 ※	3,980,677	6.3%	8	774	2	153	2	26,017	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,467,903	3.9%	9	387	9	108	6	22,851	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,594,014	7.2%	5	558	6	104	7	44,173	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,288,175	3.6%	12	245	11	81	10	28,249	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,088,566	1.7%	16	68	17	22	17	49,480	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	456,634	0.7%	17	37	18	8	18	57,079	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,143,255	3.4%	13	377	10	109	5	19,663	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,861,312	2.9%	14	166	14	69	12	26,976	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	812	0.0%	20	4	20	3	20	271	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	40,379	0.1%	19	18	19	4	19	10,095	19
合計	63,483,180	100.0%		3,103		447		142,021	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠,分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、”男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

②中分類による疾病別医療費統計

(i)神栖市国民健康保険全体

疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	435,314,456	6.3%	7,860
2	0402	糖尿病	403,583,752	5.8%	7,852
3	1402	腎不全	337,169,634	4.9%	433
4	0903	その他の心疾患	301,356,850	4.3%	4,086
5	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	297,774,400	4.3%	8,205
6	1112	その他の消化器系の疾患	265,780,386	3.8%	6,767
7	0210	その他の悪性新生物	261,199,405	3.8%	2,806
8	0902	虚血性心疾患	229,249,141	3.3%	3,051
9	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	211,782,934	3.1%	651
10	0606	その他の神経系の疾患	160,619,514	2.3%	4,638

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占 める割合)	患者数 (人) ※
1	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	297,774,400	31.3%	8,205
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	146,035,132	30.1%	7,891
3	0901	高血圧性疾患	435,314,456	30.0%	7,860
4	0402	糖尿病	403,583,752	29.9%	7,852
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	71,614,948	25.9%	6,807
6	1112	その他の消化器系の疾患	265,780,386	25.8%	6,767
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	54,652,740	25.0%	6,565
8	1202	皮膚炎及び湿疹	78,607,620	25.0%	6,553
9	1006	アレルギー性鼻炎	71,276,636	24.6%	6,467
10	1003	その他の急性上気道感染症	40,179,518	24.5%	6,429

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライズン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円) ※
1	0209	白血病	71,427,505	44	1,623,352
2	1402	腎不全	337,169,634	433	778,683
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	78,295,486	162	483,305
4	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	211,782,934	651	325,319
5	0206	乳房の悪性新生物	102,004,886	324	314,830
6	0904	くも膜下出血	17,086,275	58	294,591
7	0208	悪性リンパ腫	29,713,265	108	275,123
8	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	14,528,973	58	250,500
9	0601	パーキンソン病	39,710,829	213	186,436
10	0507	その他の精神及び行動の障害	50,067,503	309	162,031

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※患者一人当たりの医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,932,868,560	318,097	26,241

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	216,560,047	3.1%		28,895	9.1%		8,067	30.7%		26,845	
0101 腸管感染症	17,192,117	0.2%		7,784	2.4%		3,299	12.6%		5,211	
0102 結核	4,230,978	0.1%		704	0.2%		256	1.0%		16,527	
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	3,134,207	0.0%		1,289	0.4%		644	2.5%		4,867	
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	19,036,875	0.3%		3,899	1.2%		1,368	5.2%		13,916	
0105 ウイルス肝炎	83,559,751	1.2%		5,110	1.6%		1,095	4.2%		76,310	
0106 その他のウイルス疾患	32,016,325	0.5%		783	0.2%		395	1.5%		81,054	
0107 真菌症	28,205,394	0.4%		6,502	2.0%		1,692	6.4%		16,670	
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	2,152,374	0.0%		152	0.0%		35	0.1%		61,496	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	27,032,026	0.4%		5,563	1.7%		2,044	7.8%		13,225	
II. 新生物	894,408,152	12.9%		24,349	7.7%		6,694	25.5%		133,613	
0201 胃の悪性新生物	88,540,047	1.3%		3,691	1.2%		1,349	5.1%		65,634	
0202 結腸の悪性新生物	58,303,367	0.8%		3,177	1.0%		1,258	4.8%		46,346	
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	78,295,486	1.1%		904	0.3%		162	0.6%		483,305	3
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	27,365,582	0.4%		2,125	0.7%		735	2.8%		37,232	
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	67,963,107	1.0%		2,349	0.7%		879	3.3%		77,319	
0206 乳房の悪性新生物	102,004,886	1.5%		1,893	0.6%		324	1.2%		314,830	5
0207 子宮の悪性新生物	22,676,954	0.3%		843	0.3%		409	1.6%		55,445	
0208 悪性リンパ腫	29,713,265	0.4%		375	0.1%		108	0.4%		275,123	7
0209 白血病	71,427,505	1.0%		222	0.1%		44	0.2%		1,623,352	1
0210 その他の悪性新生物	261,199,405	3.8%	7	9,302	2.9%		2,806	10.7%		93,086	
0211 良性新生物及びその他の新生物	86,918,548	1.3%		6,770	2.1%		3,041	11.6%		28,582	
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	97,560,088	1.4%		8,551	2.7%		2,553	9.7%		38,214	
0301 貧血	43,992,060	0.6%		5,838	1.8%		1,629	6.2%		27,006	
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	53,568,028	0.8%		3,157	1.0%		1,228	4.7%		43,622	
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	739,974,601	10.7%		105,914	33.3%		11,340	43.2%		65,253	
0401 甲状腺障害	38,616,449	0.6%		7,537	2.4%		1,924	7.3%		20,071	
0402 糖尿病	403,583,752	5.8%	2	55,067	17.3%	3	7,852	29.9%	4	51,399	
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	297,774,400	4.3%	5	77,428	24.3%	2	8,205	31.3%	1	36,292	
V. 精神及び行動の障害	401,580,917	5.8%		29,651	9.3%		3,106	11.8%		129,292	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	3,657,292	0.1%		62	0.0%		27	0.1%		135,455	
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	11,269,897	0.2%		725	0.2%		160	0.6%		70,437	
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	211,782,934	3.1%	9	8,060	2.5%		651	2.5%		325,319	4
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	83,783,583	1.2%		12,365	3.9%		1,070	4.1%		78,302	
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	39,587,059	0.6%		16,440	5.2%		1,942	7.4%		20,385	
0506 知的障害<精神遅滞>	1,432,649	0.0%		107	0.0%		54	0.2%		26,531	
0507 その他の精神及び行動の障害	50,067,503	0.7%		1,753	0.6%		309	1.2%		162,031	10
VI. 神経系の疾患	276,861,616	4.0%		48,828	15.4%		5,183	19.8%		53,417	
0601 パーキンソン病	39,710,829	0.6%		2,603	0.8%		213	0.8%		186,436	9
0602 アルツハイマー病	19,388,320	0.3%		1,382	0.4%		143	0.5%		135,583	
0603 てんかん	49,053,977	0.7%		5,506	1.7%		580	2.2%		84,576	
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,481,527	0.1%		422	0.1%		77	0.3%		71,189	

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,932,868,560	318,097	26,241

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0605	自律神経系の障害	2,607,449	0.0%		2,463	0.8%		247	0.9%		10,556	
0606	その他の神経系の疾患	160,619,514	2.3%	10	41,954	13.2%	5	4,638	17.7%		34,631	
VII. 眼及び付属器の疾患		260,718,014	3.8%		27,312	8.6%		7,847	29.9%		33,225	
0701	結膜炎	20,457,671	0.3%		11,355	3.6%		3,649	13.9%		5,606	
0702	白内障	74,217,412	1.1%		9,342	2.9%		2,026	7.7%		36,632	
0703	屈折及び調節の障害	24,198,705	0.3%		19,073	6.0%		6,092	23.2%		3,972	
0704	その他の眼及び付属器の疾患	141,844,226	2.0%		18,657	5.9%		5,003	19.1%		28,352	
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		27,591,345	0.4%		7,079	2.2%		2,069	7.9%		13,336	
0801	外耳炎	2,303,763	0.0%		1,369	0.4%		516	2.0%		4,465	
0802	その他の外耳疾患	2,007,713	0.0%		1,020	0.3%		506	1.9%		3,968	
0803	中耳炎	10,840,182	0.2%		3,168	1.0%		940	3.6%		11,532	
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,108,474	0.0%		407	0.1%		140	0.5%		7,918	
0805	メニエール病	3,215,523	0.0%		1,053	0.3%		258	1.0%		12,463	
0806	その他の内耳疾患	2,939,183	0.0%		335	0.1%		117	0.4%		25,121	
0807	その他の耳疾患	5,176,507	0.1%		1,867	0.6%		644	2.5%		8,038	
IX. 循環器系の疾患		1,313,829,096	19.0%		117,585	37.0%		10,724	40.9%		122,513	
0901	高血圧性疾患	435,314,456	6.3%	1	99,023	31.1%	1	7,860	30.0%	3	55,384	
0902	虚血性心疾患	229,249,141	3.3%	8	24,979	7.9%		3,051	11.6%		75,139	
0903	その他の心疾患	301,356,850	4.3%	4	26,726	8.4%	8	4,086	15.6%		73,754	
0904	くも膜下出血	17,086,275	0.2%		230	0.1%		58	0.2%		294,591	6
0905	脳内出血	47,647,739	0.7%		959	0.3%		365	1.4%		130,542	
0906	脳梗塞	125,921,674	1.8%		8,904	2.8%		1,259	4.8%		100,017	
0907	脳動脈硬化	393,581	0.0%		152	0.0%		64	0.2%		6,150	
0908	その他の脳血管疾患	45,670,232	0.7%		6,088	1.9%		1,575	6.0%		28,997	
0909	動脈硬化	35,143,473	0.5%		8,097	2.5%		1,575	6.0%		22,313	
0910	痔核	10,211,691	0.1%		2,442	0.8%		533	2.0%		19,159	
0911	低血圧	2,029,230	0.0%		368	0.1%		53	0.2%		38,287	
0912	その他の循環器系の疾患	63,804,754	0.9%		4,524	1.4%		888	3.4%		71,852	
X. 呼吸器系の疾患		475,845,892	6.9%		74,218	23.3%		14,883	56.7%		31,972	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	7,076,673	0.1%		5,216	1.6%		2,565	9.8%		2,759	
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	25,619,818	0.4%		13,950	4.4%		5,342	20.4%		4,796	
1003	その他の急性上気道感染症	40,179,518	0.6%		19,635	6.2%		6,429	24.5%	10	6,250	
1004	肺炎	38,268,990	0.6%		2,361	0.7%		1,124	4.3%		34,047	
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	54,652,740	0.8%		20,825	6.5%		6,565	25.0%	7	8,325	
1006	アレルギー性鼻炎	71,276,636	1.0%		24,795	7.8%		6,467	24.6%	9	11,022	
1007	慢性副鼻腔炎	20,341,854	0.3%		7,080	2.2%		1,728	6.6%		11,772	
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	14,547,741	0.2%		5,465	1.7%		2,120	8.1%		6,862	
1009	慢性閉塞性肺疾患	23,615,100	0.3%		4,860	1.5%		885	3.4%		26,684	
1010	喘息	98,491,266	1.4%		17,549	5.5%		2,914	11.1%		33,799	
1011	その他の呼吸器系の疾患	81,775,556	1.2%		11,464	3.6%		4,887	18.6%		16,733	
XI. 消化器系の疾患		541,491,276	7.8%		90,967	28.6%		12,721	48.5%		42,567	
1101	う蝕 ※	6,570	0.0%		4	0.0%		3	0.0%		2,190	

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,932,868,560	318,097	26,241

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1102	歯肉炎及び歯周疾患	78,325	0.0%		40	0.0%		23	0.1%		3,405	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	143,043	0.0%		59	0.0%		31	0.1%		4,614	
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	85,580,560	1.2%		26,032	8.2%		3,462	13.2%		24,720	
1105	胃炎及び十二指腸炎	71,614,948	1.0%		35,318	11.1%	6	6,807	25.9%	5	10,521	
1106	アルコール性肝疾患	5,746,058	0.1%		604	0.2%		91	0.3%		63,143	
1107	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	6,782,416	0.1%		2,207	0.7%		316	1.2%		21,463	
1108	肝硬変(アルコール性のものを除く)	10,369,280	0.1%		1,510	0.5%		249	0.9%		41,644	
1109	その他の肝疾患	33,843,507	0.5%		12,313	3.9%		3,426	13.1%		9,878	
1110	胆石症及び胆のう炎	51,995,783	0.7%		4,146	1.3%		982	3.7%		52,949	
1111	膵疾患	9,550,400	0.1%		1,244	0.4%		423	1.6%		22,578	
1112	その他の消化器系の疾患	265,780,386	3.8%	6	49,267	15.5%	4	6,767	25.8%	6	39,276	
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		164,284,151	2.4%		36,335	11.4%		8,693	33.1%		18,898	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	19,454,591	0.3%		5,403	1.7%		2,080	7.9%		9,353	
1202	皮膚炎及び湿疹	78,607,620	1.1%		26,109	8.2%	10	6,553	25.0%	8	11,996	
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	66,221,940	1.0%		15,476	4.9%		4,147	15.8%		15,969	
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患		528,369,647	7.6%		70,463	22.2%		9,719	37.0%		54,365	
1301	炎症性多発性関節障害	98,098,172	1.4%		11,275	3.5%		1,687	6.4%		58,149	
1302	関節症	93,914,022	1.4%		14,296	4.5%		2,028	7.7%		46,309	
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	76,343,592	1.1%		14,165	4.5%		2,265	8.6%		33,706	
1304	椎間板障害	37,029,925	0.5%		4,696	1.5%		1,084	4.1%		34,160	
1305	頸腕症候群	9,404,889	0.1%		5,722	1.8%		963	3.7%		9,766	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	60,558,942	0.9%		26,486	8.3%	9	4,436	16.9%		13,652	
1307	その他の脊柱障害	14,145,465	0.2%		2,270	0.7%		586	2.2%		24,139	
1308	肩の傷害<損傷>	15,150,787	0.2%		6,606	2.1%		1,012	3.9%		14,971	
1309	骨の密度及び構造の障害	55,678,558	0.8%		10,355	3.3%		1,202	4.6%		46,322	
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	68,045,295	1.0%		13,111	4.1%		3,130	11.9%		21,740	
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患		500,178,552	7.2%		28,975	9.1%		6,749	25.7%		74,112	
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	21,957,015	0.3%		2,442	0.8%		714	2.7%		30,752	
1402	腎不全	337,169,634	4.9%	3	4,263	1.3%		433	1.7%		778,683	2
1403	尿路結石症	19,323,958	0.3%		2,171	0.7%		594	2.3%		32,532	
1404	その他の腎尿路系の疾患	59,414,454	0.9%		15,165	4.8%		4,477	17.1%		13,271	
1405	前立腺肥大	30,091,764	0.4%		5,396	1.7%		701	2.7%		42,927	
1406	その他の男性生殖器の疾患	1,509,452	0.0%		372	0.1%		155	0.6%		9,738	
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	6,191,787	0.1%		1,742	0.5%		476	1.8%		13,008	
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	24,520,488	0.4%		2,805	0.9%		1,290	4.9%		19,008	
X V. 妊娠、分娩及び産じょく		39,408,999	0.6%		1,289	0.4%		376	1.4%		104,811	
1501	流産	3,311,115	0.0%		148	0.0%		87	0.3%		38,059	
1502	妊娠高血圧症候群	2,452,973	0.0%		32	0.0%		18	0.1%		136,276	
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	33,644,911	0.5%		1,209	0.4%		349	1.3%		96,404	
X VI. 周産期に発生した病態		17,086,572	0.2%		168	0.1%		94	0.4%		181,772	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	14,528,973	0.2%		115	0.0%		58	0.2%		250,500	8

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,932,868,560	318,097	26,241

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1602	その他の周産期に発生した病態	2,557,599	0.0%		56	0.0%		41	0.2%		62,380	
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常		24,035,184	0.3%		3,649	1.1%		829	3.2%		28,993	
1701	心臓の先天奇形	1,927,017	0.0%		206	0.1%		65	0.2%		29,646	
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	22,108,167	0.3%		3,498	1.1%		782	3.0%		28,271	
XIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		146,035,132	2.1%		30,023	9.4%		7,891	30.1%		18,507	
1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	146,035,132	2.1%		30,023	9.4%	7	7,891	30.1%	2	18,507	
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		240,295,336	3.5%		13,755	4.3%		4,965	18.9%		48,398	
1901	骨折	97,173,857	1.4%		2,925	0.9%		788	3.0%		123,317	
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	23,398,330	0.3%		501	0.2%		228	0.9%		102,624	
1903	熱傷及び腐食	3,647,279	0.1%		436	0.1%		181	0.7%		20,151	
1904	中毒	2,537,144	0.0%		736	0.2%		375	1.4%		6,766	
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	113,538,726	1.6%		10,249	3.2%		4,139	15.8%		27,431	
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		13,400,941	0.2%		4,883	1.5%		936	3.6%		14,317	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	299,128	0.0%		37	0.0%		13	0.0%		23,010	
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じよくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び検査のための保健サービスの利用者	6,030	0.0%		1	0.0%		1	0.0%		6,030	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	13,095,783	0.2%		4,845	1.5%		924	3.5%		14,173	
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		13,353,002	0.2%		665	0.2%		209	0.8%		63,890	
9999	分類外	13,353,002	0.2%		665	0.2%		209	0.8%		63,890	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(ii)地区比較

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【神栖】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	139,223,354	6.3%	2,400
2	1402	腎不全	133,311,733	6.1%	146
3	0402	糖尿病	132,205,047	6.0%	2,199
4	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	94,273,873	4.3%	2,641
5	1112	その他の消化器系の疾患	87,742,396	4.0%	2,237
6	0903	その他の心疾患	81,489,284	3.7%	1,285
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	77,062,440	3.5%	222
8	0902	虚血性心疾患	74,079,000	3.4%	888
9	0210	その他の悪性新生物	59,192,915	2.7%	956
10	0606	その他の神経系の疾患	54,973,577	2.5%	1,473

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【知手】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	113,376,401	6.4%	2,060
2	0402	糖尿病	103,080,167	5.8%	2,046
3	1402	腎不全	91,344,638	5.2%	126
4	0903	その他の心疾患	75,071,295	4.2%	1,012
5	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	74,373,706	4.2%	2,172
6	0902	虚血性心疾患	74,044,365	4.2%	814
7	0210	その他の悪性新生物	68,307,173	3.9%	730
8	1112	その他の消化器系の疾患	65,938,732	3.7%	1,760
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,782,161	2.4%	1,980
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	38,985,167	2.2%	1,306

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【波崎】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	70,688,041	7.1%	1,219
2	0402	糖尿病	59,208,678	6.0%	1,243
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	45,549,082	4.6%	102
4	1402	腎不全	44,643,534	4.5%	53
5	0210	その他の悪性新生物	42,381,934	4.3%	327
6	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	40,514,428	4.1%	1,165
7	0903	その他の心疾患	36,782,206	3.7%	605
8	1112	その他の消化器系の疾患	34,469,736	3.5%	934
9	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	27,613,913	2.8%	561
10	0606	その他の神経系の疾患	25,559,416	2.6%	700

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【矢田部】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0402	糖尿病	29,299,089	6.4%	536
2	0210	その他の悪性新生物	29,221,091	6.4%	178
3	0901	高血圧性疾患	26,637,383	5.8%	523
4	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,138,692	5.5%	496
5	0903	その他の心疾患	22,785,594	5.0%	292
6	1112	その他の消化器系の疾患	22,372,454	4.9%	391
7	1402	腎不全	19,571,384	4.3%	27
8	0902	虚血性心疾患	17,515,327	3.8%	262
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	12,350,551	2.7%	35
10	0206	乳房の悪性新生物	11,923,285	2.6%	18

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【土合】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0903	その他の心疾患	39,394,885	8.1%	273
2	0901	高血圧性疾患	27,109,442	5.6%	538
3	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	26,154,941	5.4%	542
4	0402	糖尿病	24,646,377	5.1%	592
5	0210	その他の悪性新生物	24,586,611	5.1%	197
6	1402	腎不全	20,844,435	4.3%	24
7	1112	その他の消化器系の疾患	15,528,958	3.2%	462
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	15,077,274	3.1%	404
9	0209	白血病	14,055,721	2.9%	4
10	0902	虚血性心疾患	12,105,765	2.5%	221

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【太田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0901	高血圧性疾患	55,572,583	5.8%	1,054
2	0402	糖尿病	51,853,741	5.4%	1,171
3	0903	その他の心疾患	44,763,511	4.6%	592
4	1112	その他の消化器系の疾患	37,500,273	3.9%	905
5	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	36,052,514	3.7%	1,116
6	0210	その他の悪性新生物	35,260,722	3.7%	403
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	33,487,415	3.5%	87
8	0906	脳梗塞	32,117,570	3.3%	187
9	0606	その他の神経系の疾患	27,682,143	2.9%	643
10	1402	腎不全	27,388,144	2.8%	52

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,895,968	6.1%	9
2	0906	脳梗塞	3,617,345	5.7%	15
3	0402	糖尿病	3,290,653	5.2%	65
4	0905	脳内出血	3,002,237	4.7%	10
5	0901	高血圧性疾患	2,707,252	4.3%	66
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	2,320,623	3.7%	23
7	0210	その他の悪性新生物	2,248,959	3.5%	15
8	1112	その他の消化器系の疾患	2,227,837	3.5%	78
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,143,255	3.4%	109
10	0902	虚血性心疾患	2,112,494	3.3%	19

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【神栖】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	94,273,873	29.7%	2,641
2	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	43,008,857	29.7%	2,638
3	0901	高血圧性疾患	139,223,354	27.0%	2,400
4	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	20,214,652	26.5%	2,350
5	1006	アレルギー性鼻炎	27,468,826	25.9%	2,297
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	24,329,014	25.9%	2,296
7	1202	皮膚炎及び湿疹	26,865,039	25.2%	2,241
8	1112	その他の消化器系の疾患	87,742,396	25.2%	2,237
9	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	12,117,947	25.1%	2,231
10	0402	糖尿病	132,205,047	24.8%	2,199

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【知手】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0403	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	74,373,706	32.4%	2,172
2	0901	高血圧性疾患	113,376,401	30.8%	2,060
3	0402	糖尿病	103,080,167	30.6%	2,046
4	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	42,782,161	29.6%	1,980
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	19,115,890	29.5%	1,974
6	1202	皮膚炎及び湿疹	22,348,529	27.9%	1,869
7	1112	その他の消化器系の疾患	65,938,732	26.3%	1,760
8	1006	アレルギー性鼻炎	17,435,625	24.8%	1,658
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	14,797,569	24.7%	1,656
10	1003	その他の急性上気道感染症	10,366,592	24.5%	1,638

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【波崎】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0402	糖尿病	59,208,678	36.9%	1,243
2	0901	高血圧性疾患	70,688,041	36.2%	1,219
3	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	40,514,428	34.6%	1,165
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,878,452	30.1%	1,013
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,653,987	28.9%	975
6	1112	その他の消化器系の疾患	34,469,736	27.7%	934
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	10,584,149	25.1%	845
8	0703	屈折及び調節の障害	3,060,035	23.7%	798
9	1404	その他の腎尿路系の疾患	6,837,493	23.5%	793
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,088,388	22.3%	751

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【矢田部】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0402	糖尿病	29,299,089	35.9%	536
2	0901	高血圧性疾患	26,637,383	35.0%	523
3	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	25,138,692	33.2%	496
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,827,612	33.0%	493
5	1003	その他の急性上気道感染症	2,089,548	26.4%	395
6	1202	皮膚炎及び湿疹	4,374,792	26.2%	392
7	1112	その他の消化器系の疾患	22,372,454	26.2%	391
8	0703	屈折及び調節の障害	1,380,596	25.2%	376
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,867,426	24.5%	366
10	1006	アレルギー性鼻炎	3,715,036	23.9%	357

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【土合】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0402	糖尿病	24,646,377	32.1%	592
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,804,096	31.3%	576
3	1003	その他の急性上気道感染症	3,318,094	30.7%	565
4	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	26,154,941	29.4%	542
5	0901	高血圧性疾患	27,109,442	29.2%	538
6	1006	アレルギー性鼻炎	4,594,639	28.7%	529
7	0703	屈折及び調節の障害	1,803,534	25.8%	476
8	1112	その他の消化器系の疾患	15,528,958	25.1%	462
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	15,077,274	21.9%	404
10	1202	皮膚炎及び湿疹	4,227,842	21.9%	403

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【太田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	0402	糖尿病	51,853,741	33.4%	1,171
2	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	36,052,514	31.8%	1,116
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,590,699	30.8%	1,082
4	0901	高血圧性疾患	55,572,583	30.0%	1,054
5	1003	その他の急性上気道感染症	5,773,895	27.1%	951
6	1112	その他の消化器系の疾患	37,500,273	25.8%	905
7	0703	屈折及び調節の障害	3,695,137	25.7%	901
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	9,220,122	24.9%	875
9	1202	皮膚炎及び湿疹	10,540,965	24.6%	863
10	1006	アレルギー性鼻炎	9,293,908	24.5%	861

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖	知手	波崎	矢田部	土合	太田	その他
----	----	----	-----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)	患者数 (人) ※
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,143,255	24.4%	109
2	1202	皮膚炎及び湿疹	1,378,092	18.3%	82
3	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	936,664	17.9%	80
4	1112	その他の消化器系の疾患	2,227,837	17.4%	78
5	1003	その他の急性上気道感染症	592,651	17.4%	78
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	649,775	17.0%	76
7	1006	アレルギー性鼻炎	784,535	16.6%	74
8	0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,266,246	16.3%	73
9	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	417,758	16.3%	73
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,956,085	16.1%	72

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

(4)医療機関受診状況の把握

医療機関への過度な受診の可能性がある、重複、頻回受診者数を以下に示す。また、同一薬効の医薬品を重複して処方されている重複服薬者数、併用禁忌とされる医薬品を処方されている薬剤併用禁忌対象者数を以下に示す。

重複受診者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複受診者数(人) ※	20	17	25	21	14	21	19	22	23	24	23	16
12カ月間の延べ人数											245	
12カ月間の実人数											159	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
頻回受診者数(人) ※	42	50	50	72	67	48	53	58	42	50	44	47
12カ月間の延べ人数											623	
12カ月間の実人数											230	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複服薬者数(人) ※	32	111	120	107	108	107	114	183	106	123	111	96
12カ月間の延べ人数											1,318	
12カ月間の実人数											689	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	81	67	70	53	60	61	71	69	75	105	148	94
12カ月間の延べ人数											954	
12カ月間の実人数											632	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

(5)人工透析患者の実態

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、87.9%が生活習慣病を起因とするものであり、その80.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	77
腹膜透析のみ	2
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	81

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

次に人工透析に至った起因を、平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトに記載されている傷病名から判定した。但し、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因は不明となる。

人工透析患者81人のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至ったと考えられる患者は58人である。

透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 II型糖尿病	53	80.3%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	8	12.1%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	5	7.6%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	不明 ※	15		-	-
透析患者合計		81			

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

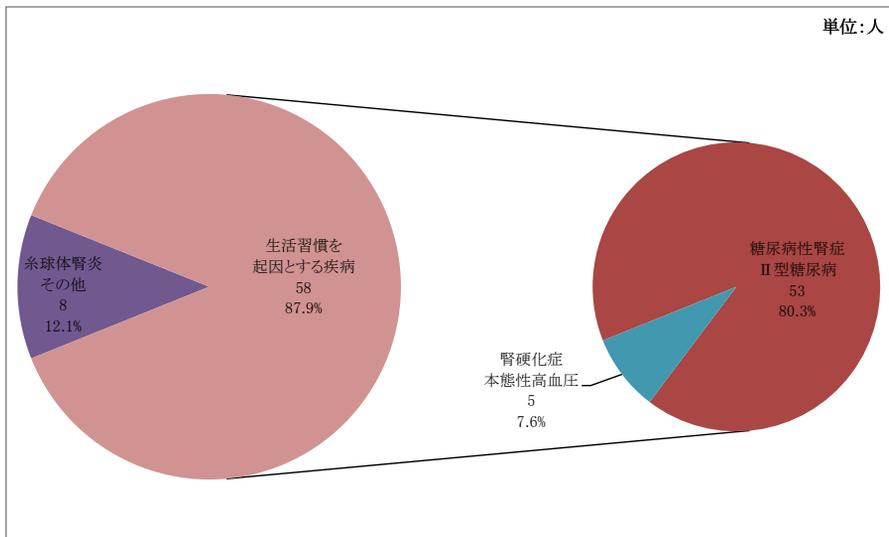
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧不明…①～⑦の傷病名組み合わせに該当せず、起因が特定できない患者。

⑧不明15人のうち高血圧症が確認できる患者は15人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。

高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は0人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者81人を対象に、以下の通り医療費を分析した。平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分での患者一人当たりの医療費平均は509万円程度、このうち透析関連の医療費が475万円程度、透析関連以外の医療費が34万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数(人)	割合(%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	0	0	0	-	-	-	-	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	53	65.4%	247,854,670	22,158,450	270,013,120	4,676,503	418,084	5,094,587	389,709	34,840	424,549
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	0	0	0	-	-	-	-	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	8	9.9%	40,818,450	2,805,900	43,624,350	5,102,306	350,738	5,453,044	425,192	29,228	454,420
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	5	6.2%	19,367,110	803,790	20,170,900	3,873,422	160,758	4,034,180	322,785	13,397	336,182
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0	0	-	-	-	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0	0	-	-	-	-	-	-
⑧ 不明 ※	15	18.5%	76,753,840	1,924,190	78,678,030	5,116,923	128,279	5,245,202	426,410	10,690	437,100
透析患者全体	81		384,794,070	27,692,330	412,486,400						

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※⑧不明…①～⑦の傷病名組み合わせに該当せず、起因が特定できない患者。

(6)糖尿病性腎症重症化予防対象者分析

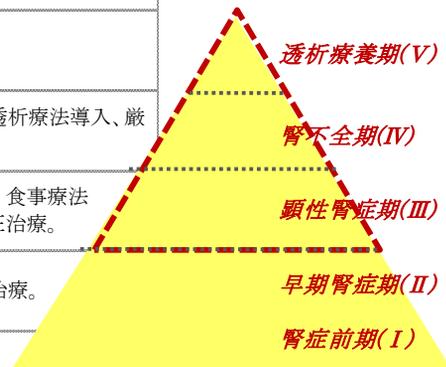
「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。

その結果、腎症患者1,099人中261人の適切な指導対象者を特定した。腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像

腎症患者の全体像

病期	臨床的特徴	治療内容
V 透析療養期	透析療法中。	透析療養、腎移植。
IV 腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。
III 顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。
II 早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I 腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。



III期以降腎症患者

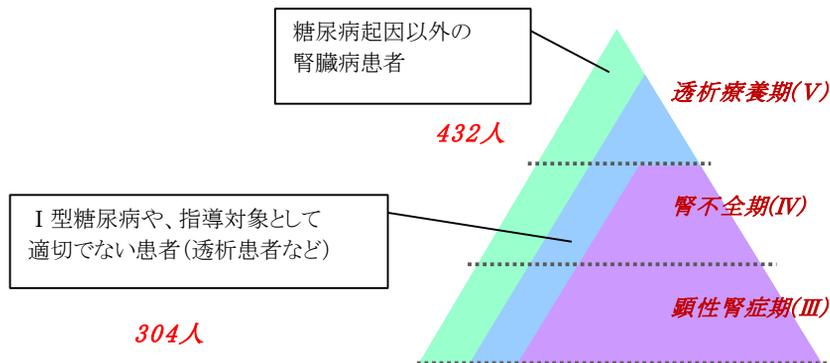
合計 1,099人

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

次に「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、432人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、304人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析と指導対象者適合分析

I.腎症の起因分析

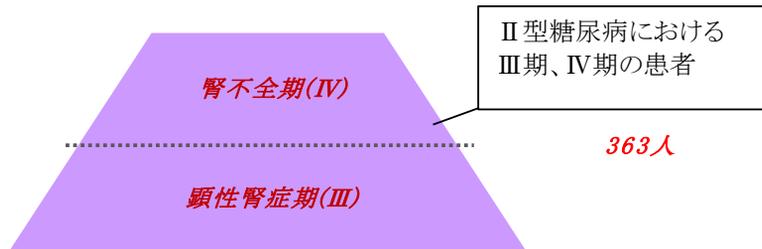


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

次に「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて363人となった。重症化予防を実施するにあたり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ. Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



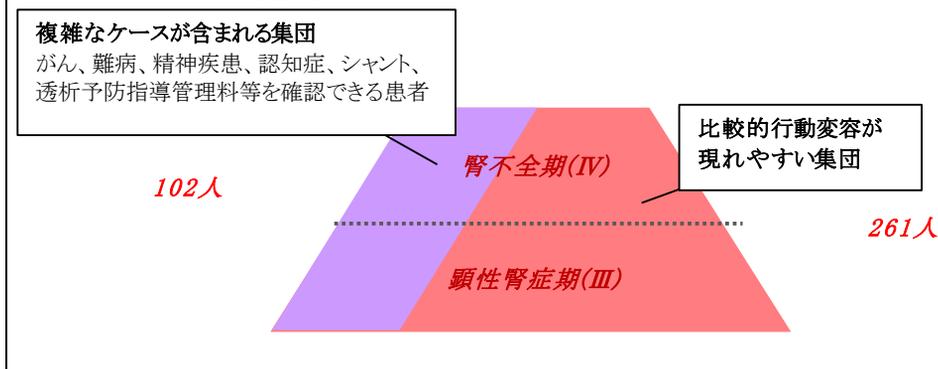
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

次に個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。363人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、癌、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、102人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、261人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

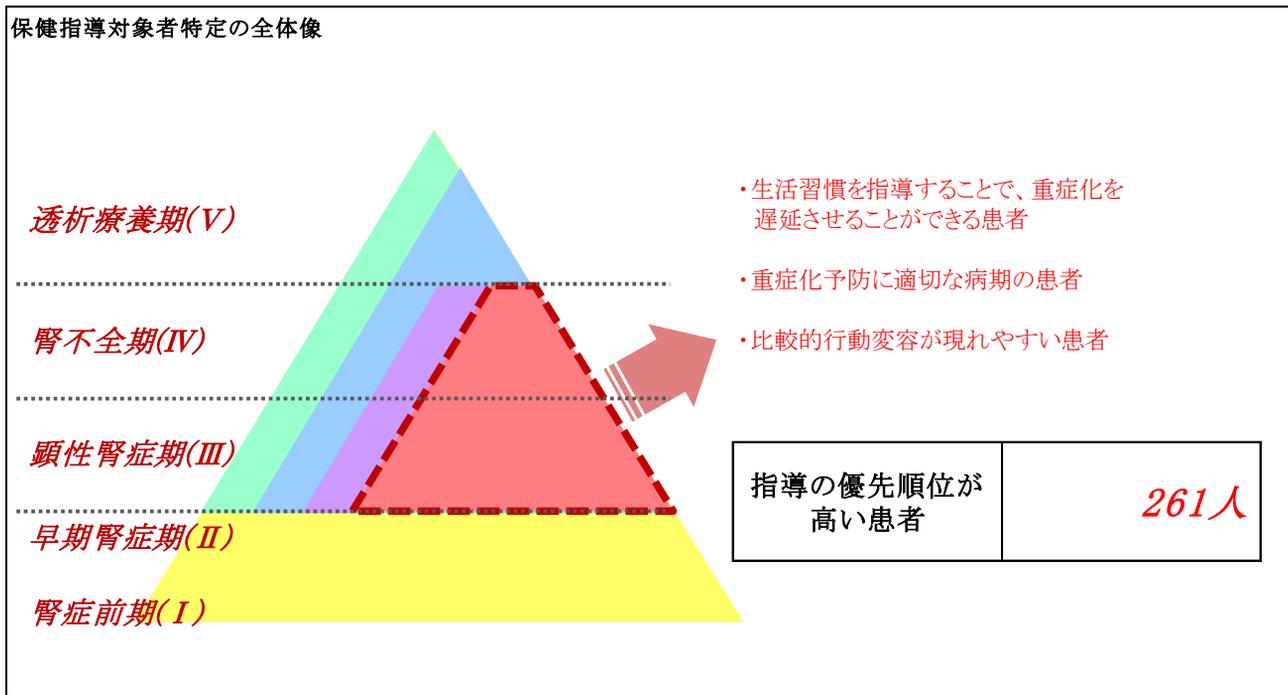
Ⅲ. 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3ステップを踏まえ、適切な指導対象者は、261人となった。この分析の全体像を以下に示す。

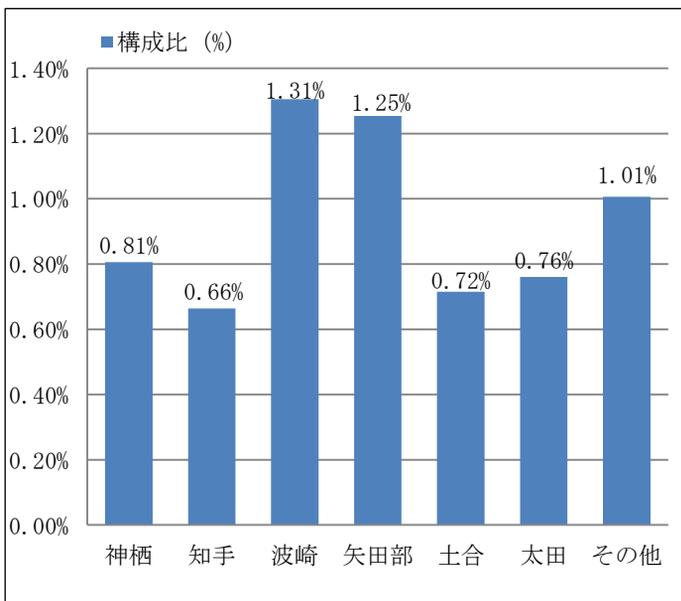
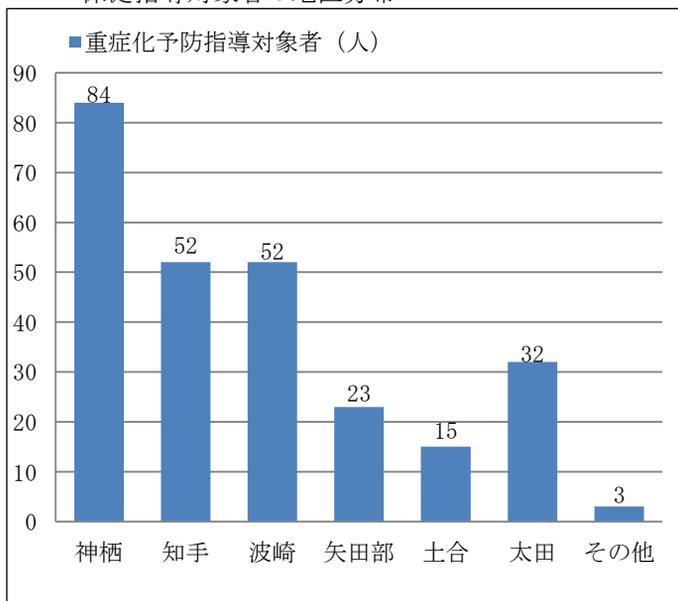
保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

指導の優先順位が高い患者261人を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

構成比は、平成27年2月時点での各地区の被保険者数から算出。

(神栖10,426人、知手7,830人、波崎3,982人、矢田部1,834人、土合2,097人、太田4,209人、その他298人)

(7)脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

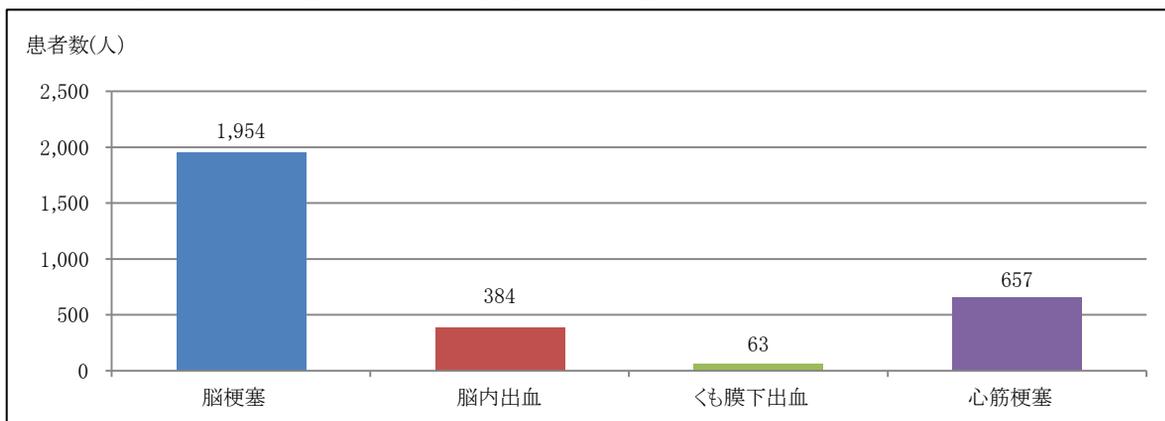
厚生労働省「平成25年人口動態統計月報年計」において死亡率の高い疾病第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中においては後遺症が残る恐れがあり、厚生労働省「平成25年 国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第1位となっている。

脳卒中・心筋梗塞における疾病毎の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。また、脳卒中・心筋梗塞においては再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数 ※ (人)	一人当たり 医療費(円)
脳梗塞	155,778,953	1,954	79,723
脳内出血	48,409,479	384	126,066
くも膜下出血	17,206,625	63	273,121
心筋梗塞	48,127,797	657	73,254

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

(8)メンタル疾患の発症予防事業

健康寿命の延伸を実現するために、身体健康と共に重要とされるのが、メンタル疾患を予防しこころの健康を維持することである。厚生労働省は健康日本21(第2次)において、「社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標」を定め、自殺者の減少や、メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の増加を目指している。

メンタル疾患として代表的な、うつ病を含む気分障害の患者は、厚生労働省の患者調査において近年急速に増加していることが指摘されている。また、うつ病やうつ状態となると、喫煙率が高くなる・肥満になる・服薬をしなくなるなど健康的な生活習慣が妨げられる傾向があり、その結果、脳卒中・心筋梗塞などの予後が悪化することが明らかとなっている。(※)

ここでは、疾病分類の中分類における「0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」及び「0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」(以下、「神経症、ストレス関連等」と言う)、うつ病と関係性が高い「睡眠障害」、「アルコール使用障害」を“メンタル疾患”とし、分析する。

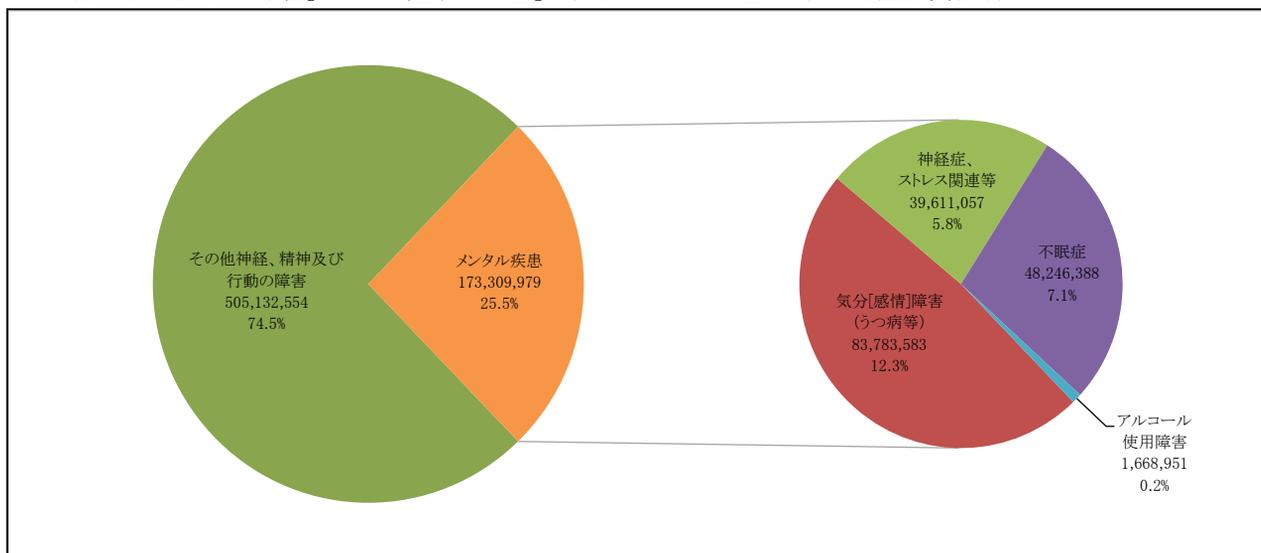
※… 参考資料「健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料」

①医療費全体におけるメンタル疾患の割合

大分類による疾病別医療費をみると、医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は9.8%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると25.5%であった。(※) 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

※… 「V. 精神及び行動の障害」分類には認知症、統合失調症、知的障害等が含まれ、「VI. 神経系の疾患」分類にはパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん等含まれる疾病が多岐にわたる。

「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」のうち“メンタル疾患”の占める医療費割合

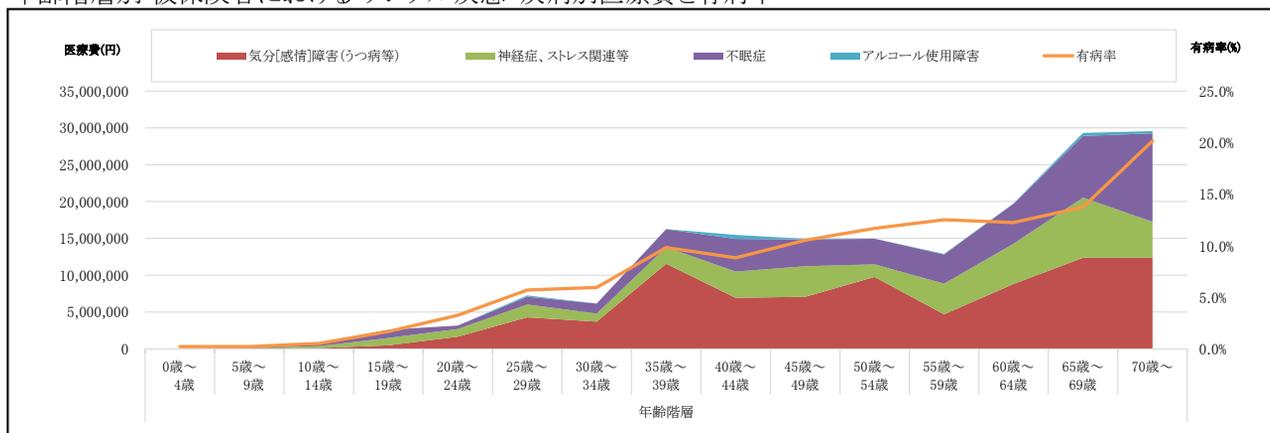


データ化範囲(分析対象)… 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」、「不眠症」、「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に集計。
データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②年齢階層別の有病率と医療費

次に、年齢階層別のメンタル疾患有病率ならびに医療費を以下に示す。

年齢階層別 被保険者における“メンタル疾患”疾病別医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内の「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」、「不眠症」、「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に医療費を集計。

データホライゾン社 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」、「不眠症」、「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

患者の地区別内訳

順位	地区名	被保険者(人)		合計(人)
		男性	女性	
1	神栖	420	706	1,126
2	知手	370	542	912
3	波崎	167	266	433
4	太田	157	253	410
5	土合	81	132	213
6	矢田部	57	113	170
7				
8				
9				
10				
その他		17	12	29
総計		1,269	2,024	3,293

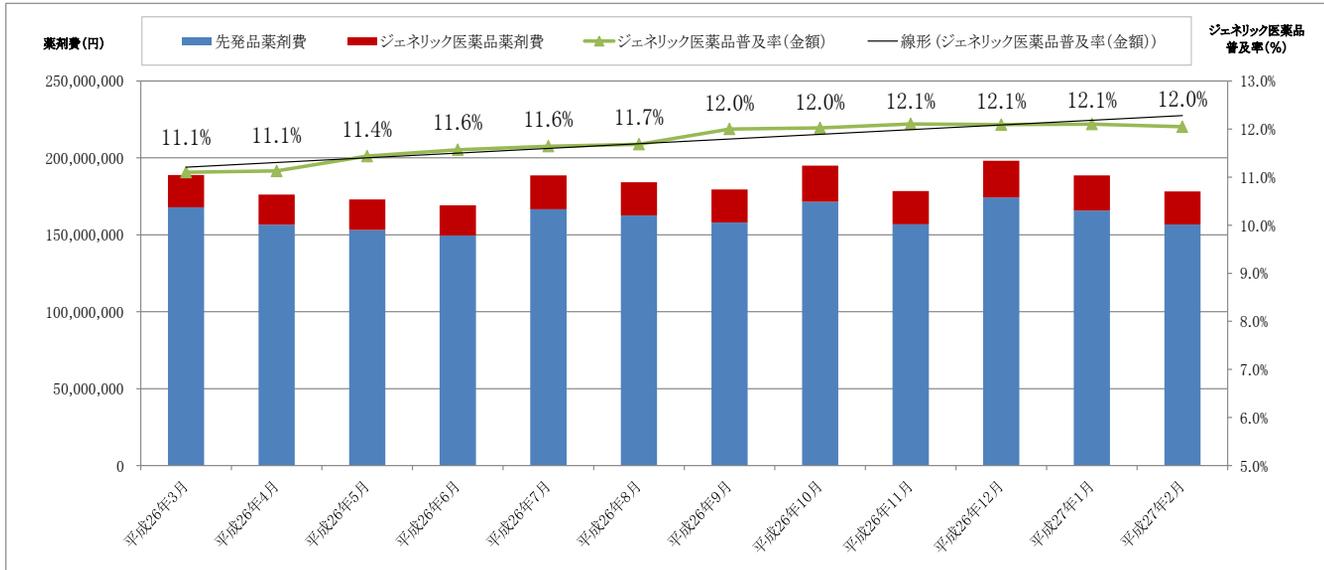
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

(9) ジェネリック医薬品普及率

① ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤費、ジェネリック医薬品薬剤費、全体の薬剤費総額に対するジェネリック医薬品薬剤費の割合を示す。平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分での平均ジェネリック医薬品普及率は11.7%である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)推移

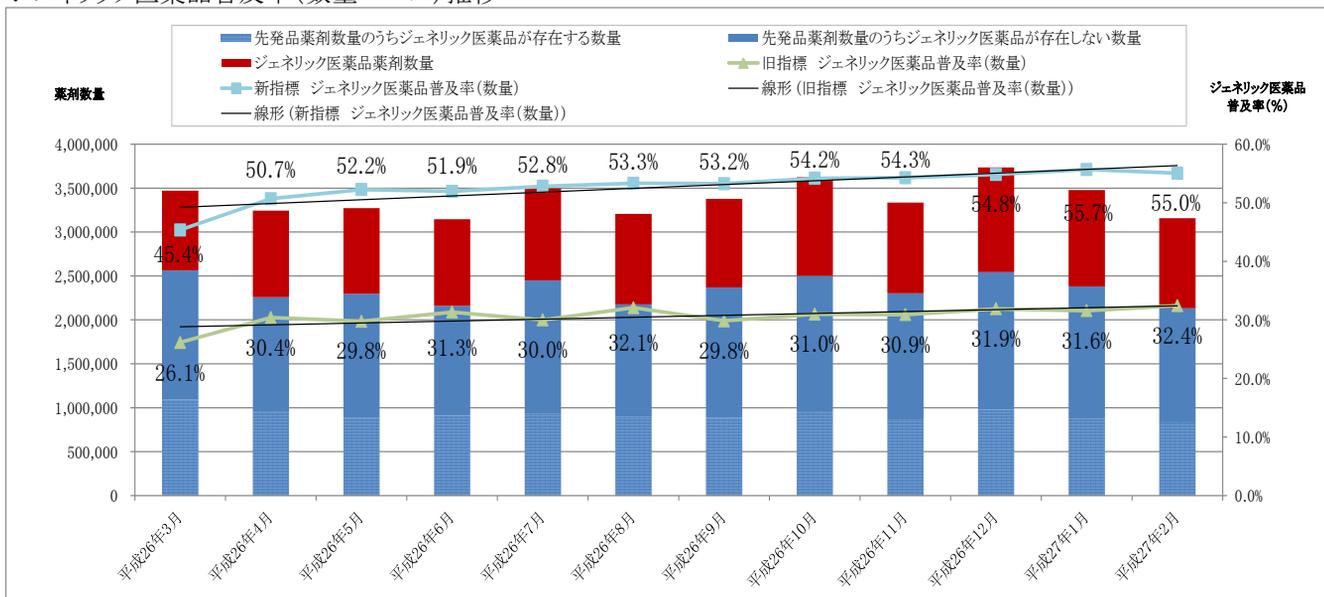


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

② ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分での平均ジェネリック医薬品普及率は、旧指標では30.6%、新指標では52.8%である。

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

③ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。保健事業と比較するとジェネリック医薬品への切替で削減できる一人当たりの医療費は軽微である。しかし、ジェネリック医薬品への切替は複数の疾病に対して行うことができる。つまり多くの患者に対してアプローチできる利点がある。ここでは、平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切替ポテンシャルを分析した。

薬剤費の内訳を以下に示す。薬剤費総額21億9,775万円(A)のうち、先発品薬剤費は19億3,952万円(B)で88.3%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は5億5,009万円(C)となり、25.0%を占める。さらにデータホライズン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2億4,232万円(C1)がジェネリック医薬品切替可能範囲となり、このうち削減可能額は1億3,459万円(E)となる。

ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル(金額ベース)

A 薬剤費総額		2,197,752		単位: 千円					
F ジェネリック医薬品薬剤費		11.7%		258,233					
B 先発品薬剤費	1,939,519	88.3%	C ジェネリック医薬品が存在する金額範囲	550,091	25.0%	C1 通知対象の ※1 ジェネリック医薬品範囲	242,319	11.0%	ジェネリック医薬品薬剤費
						C2 通知非対象の ジェネリック医薬品範囲	307,772	14.0%	E 削減可能額 ※2
D ジェネリック医薬品が存在しない金額範囲		1,389,428		63.2%					

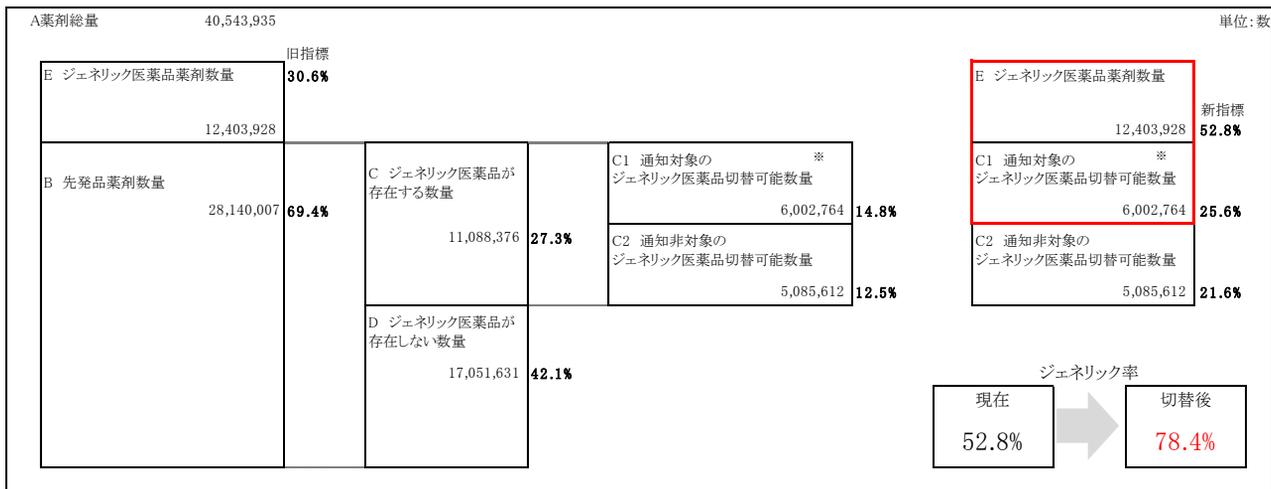
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※1 通知対象…データホライズン社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、癌・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※2 削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示す。薬剤総量4,054万(A)のうち、先発品薬剤数量は2,814万(B)で69.4%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は1,109万(C)となり、27.3%を占める。さらにデータホライズン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、600万(C1)がジェネリック医薬品切替可能数量となる。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、厚生労働省の新指標で52.8%、旧指標で30.6%である。ジェネリック医薬品切替可能数量(C1)を全てジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の52.8%から78.4%となる。

ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル(数量ベース)

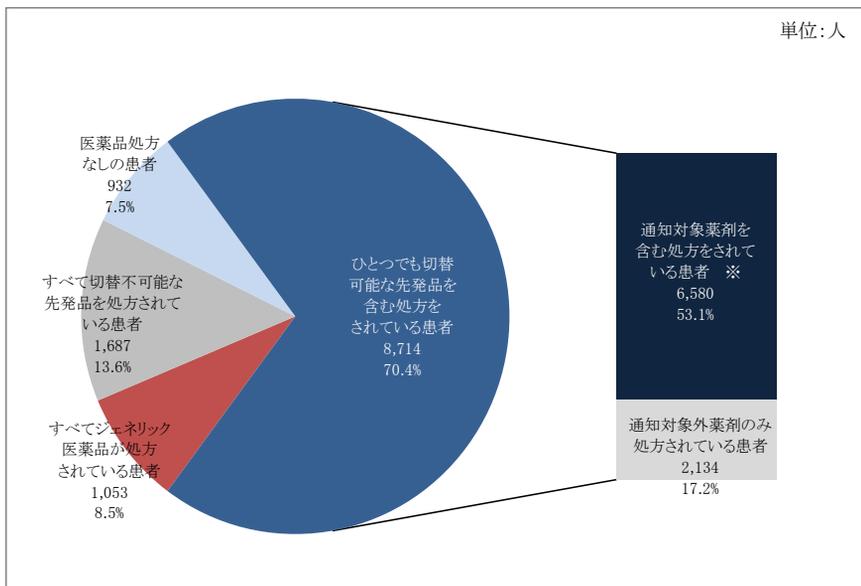


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※通知対象…データホライゾン社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、癌・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

平成27年2月診療分のレセプトで患者毎の薬剤処方状況を以下に示す。患者数は12,386人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切替可能な先発品を含む処方されている患者は8,714人で患者数全体の70.4%を占める。さらにこのうちデータホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、6,580人がジェネリック医薬品切替可能な薬剤を含む処方されている患者となり、全体の53.1%となる。

ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル(患者数ベース)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成27年2月診療分(1カ月分)。

※通知対象薬剤を含む処方されている患者…データホライゾン社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても癌・精神疾患・短期処方のものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

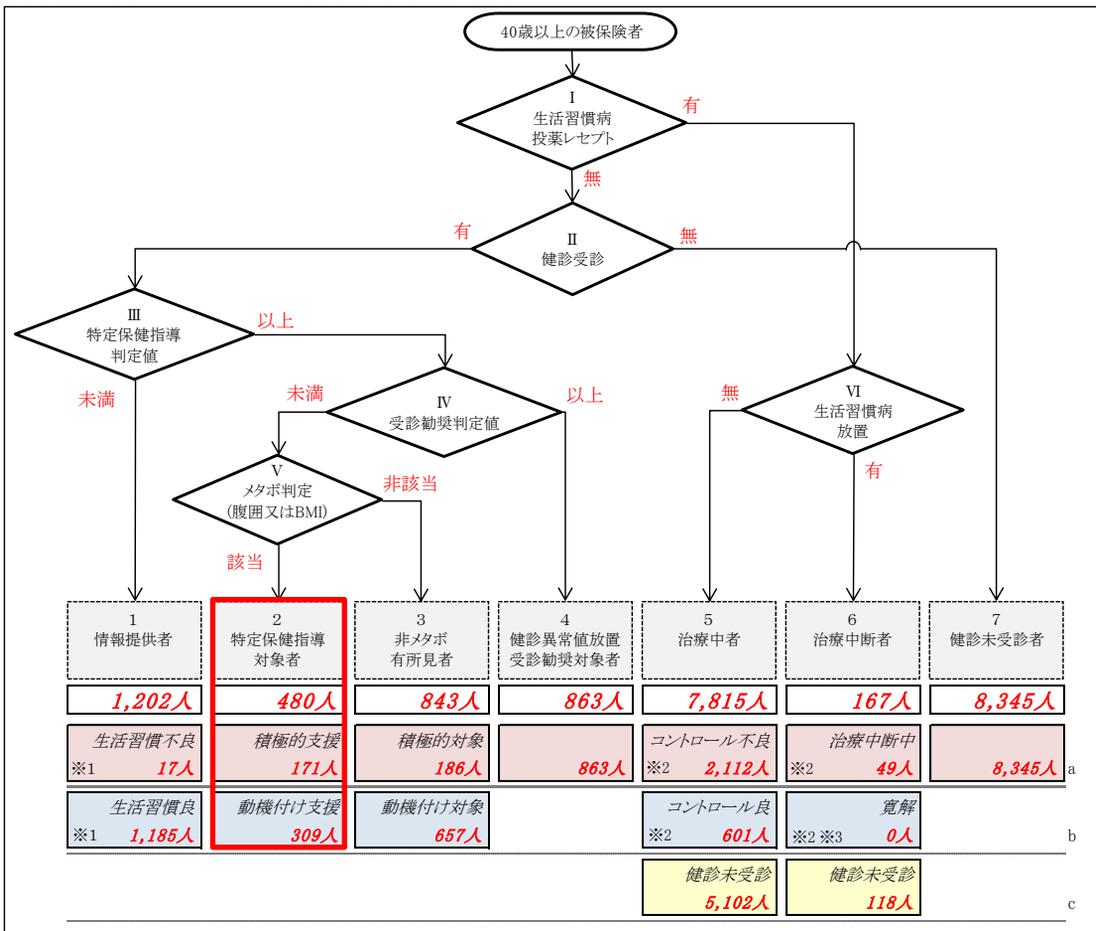
(10) 特定健診結果とレセプトによる分析

① 指導対象者

健診履歴と生活習慣病投薬レセプトを使い、40歳以上の被保険者をグループ分けした。

特定保健指導の対象者は2のグループである。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※なお、平成27年2月時点で資格があるものを対象とする。

※1生活習慣インデックス(データホライゾン社基準)にて分類。健康診査時の生活習慣に関する質問票において回答を点数化し生活習慣の“良”“不良”を判定。

※2健康リスクインデックス(データホライゾン社基準)にて分類。レセプトから特定の疾患がある患者ない患者を判定し、患者毎に健康診査時の検査値についてリスク判定を行いコントロールの“良”“不良”を判定。

※3寛解(かんかい)…治療中断者の判定になっているが、健康診査時の検査値(血糖、血圧、脂質のすべて)において判定基準未満であり、症状が落ち着いて安定した状態。

②特定保健指導対象者集団の特定

前項の分析により、「2.特定保健指導対象者」に該当するのは480人である。この内、積極的支援の対象者は171人、動機付け支援の対象者は309人である。

2 特定保健指導対象者	リスク判定 ※該当に●				対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙	480人	
積極的支援レベル	●●●●	11人	171人	36%		
	●●●	11人				
	●●	12人				
	●●	15人				
	●●●	19人				
	●●●	26人				
	●●●	21人				
	●●●	21人				
	●●●	8人				
	●●●	10人				
動機付け支援レベル	●●●●	13人	309人	64%		
	●●●	7人				
	●●●	1人				
	●●●	7人				
	●●●	3人				
	●●●	1人				
	●●●	62人				
	●●●	67人				
	●●●	34人				
	65歳～(積極的支援レベル)	-			-	-

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

65歳以上の者については、日常生活動作能力、運動機能等を踏まえ、QOL(Quality of Life)の低下予防に配慮した生活習慣の改善が重要である等から、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機付け支援」とする。

※該当に●の詳細は以下の通りとする。

①血糖…健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)

②血圧…健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

③脂質…健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満

④喫煙…健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

③健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下の通り「CKD診療ガイド2012」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

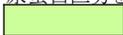
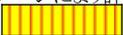
健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

			尿蛋白ステージ				未測定	計
			A1	A2	A3			
			(-)(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
腎機能ステージ (^e GFR)	G1	90 ~	829	14	4	0	1	848
	G2	60 ~	4,378	74	20	4	5	4,481
	G3a	45 ~	707	26	7	2	0	742
	G3b	30 ~	53	6	4	2	0	65
	G4	15 ~	3	2	3	2	0	10
	G5	0 ~	1	0	1	0	1	3
	未測定		1	0	0	0	0	1
計			5,972	122	39	10	7	6,150

IV		=33人	0.5%
III		=107人	1.7%
II		=795人	12.9%
I		=5,207人	84.7%
不明		=8人	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※「CKD診療ガイド2012」に基づき、GFR区分・尿蛋白区分を合わせたステージにより評価する。

死亡・末期腎不全・心血管死亡発症のリスクを  を基準に    の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

④健康診査データによる糖尿病重症度分類

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下の通り日本人間ドック学会の判定区分に基づき健診受診者を集計し、日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数(HbA1c×空腹時血糖)

健診受診者数:人

			HbA1c(NGSP) (ヘモグロビンA1c)					計
			A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察・ 生活改善	D 要治療	未測定	
			0.0% ~	5.6% ~	6.0% ~	6.5% ~		
空腹時血糖	A 異常なし	0 ~	858	628	128	18	1	1,633
	B 軽度異常	100 ~	112	222	103	35	0	472
	C 要経過観察・ 生活改善	110 ~	30	57	81	63	0	231
	D 要治療	126 ~	14	17	25	152	0	208
	未測定		1,525	1,329	477	275	0	3,606
計			2,539	2,253	814	543	1	6,150

糖尿病		=152人	2.5%
糖尿病型		=172人	2.8%
境界型		=168人	2.7%
正常型		=2,051人	33.3%
不明		=3,607人	58.7%

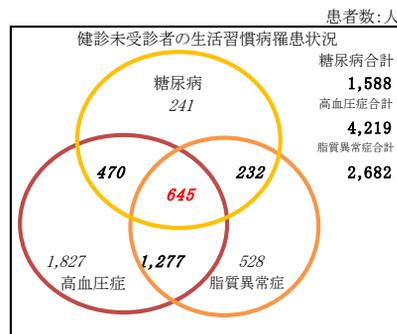
データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※日本人間ドック学会の判定区分(2014年4月1日改定)に従い人数を集計し、日本糖尿病学会の判定区分に従い色分けした。

⑤生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

健診受診者と未受診者の生活習慣病の医療費を比較分析した。
健診未受診者の医療費が高い傾向であった。

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
3疾病併存患者					
合計	645	167,539,440	300,223,840	467,763,280	725,214
2疾病併存患者					
糖尿病・高血圧症	470	167,546,420	235,904,820	403,451,240	858,407
糖尿病・脂質異常症	232	30,399,760	74,409,830	104,809,590	451,765
高血圧症・脂質異常症	1,277	187,046,690	388,761,500	575,808,190	450,907
合計	1,979	384,992,870	699,076,150	1,084,069,020	547,786
1疾病患者					
糖尿病	241	49,189,480	79,487,470	128,676,950	533,929
高血圧症	1,827	325,154,230	509,606,110	834,760,340	456,902
脂質異常症	528	80,748,040	126,533,490	207,281,530	392,579
合計	2,596	455,091,750	715,627,070	1,170,718,820	450,970

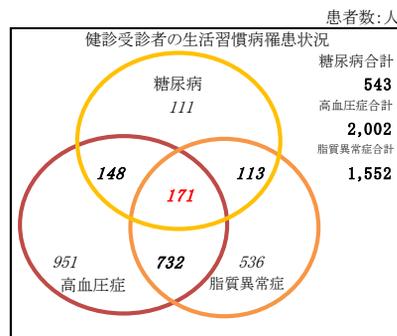
データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
3疾病併存患者					
合計	171	13,050,580	61,370,250	74,420,830	435,210
2疾病併存患者					
糖尿病・高血圧症	148	10,360,370	50,228,320	60,588,690	409,383
糖尿病・脂質異常症	113	5,820,790	33,951,920	39,772,710	351,971
高血圧症・脂質異常症	732	67,406,920	192,457,040	259,863,960	355,005
合計	993	83,588,080	276,637,280	360,225,360	362,765
1疾病患者					
糖尿病	111	13,203,150	28,999,790	42,202,940	380,207
高血圧症	951	65,037,900	205,926,720	270,964,620	284,926
脂質異常症	536	29,295,280	107,057,220	136,352,500	254,389
合計	1,598	107,536,330	341,983,730	449,520,060	281,302

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

(11)特定健診の受診者と未受診者の治療状況

①特定健診受診状況

平成26年度における特定健診受診状況を以下に示す。特定健診対象者18,834人のうち、特定健診受診者は6,280人で、受診率は33.3%(※)である。

特定健診受診状況

項目	人数(人)	構成比(%)
特定健診受診者	6,280	33.3%
特定健診未受診者	12,554	66.7%
特定健診対象者	18,834	100.0%

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※上記受診率は健診データを基に算出しており、法定報告値とは異なる。

※データ化範囲内を通して資格がある者を対象とする。

②特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

特定健診受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健診受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健診受診者全体の55.7%である。特定健診未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健診未受診者全体の47.7%である。

なお、生活習慣病は高血圧症、脂質異常症、糖尿病の3疾患とする。3疾患の傷病名コードは、「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ第二次中間とりまとめ」で使用されたものとする。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況(全体)

項目	生活習慣病 レセプトの有無	該当者数(人)		生活習慣病 医療費(円)	該当者一人当たり 生活習慣病医療費
		人数(人)	構成比(%)		
特定健診受診者	あり	3,495	55.7%	270,142,277	77,294
	なし	2,785	44.3%	0	0
特定健診未受診者	あり	5,993	47.7%	564,442,805	94,184
	なし	6,561	52.3%	0	0
特定健診対象者	あり	9,488	50.4%	834,585,082	87,962
	なし	9,346	49.6%	0	0

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況(入院)

項目	生活習慣病 レセプトの有無	該当者数(人)		生活習慣病 医療費(円)	該当者一人当たり 生活習慣病医療費
		人数(人)	構成比(%)		
特定健診受診者	あり	159	2.5%	3,526,548	22,180
	なし	6,121	97.5%	0	0
特定健診未受診者	あり	587	4.7%	24,338,143	41,462
	なし	11,967	95.3%	0	0
特定健診対象者	あり	746	4.0%	27,864,691	37,352
	なし	18,088	96.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

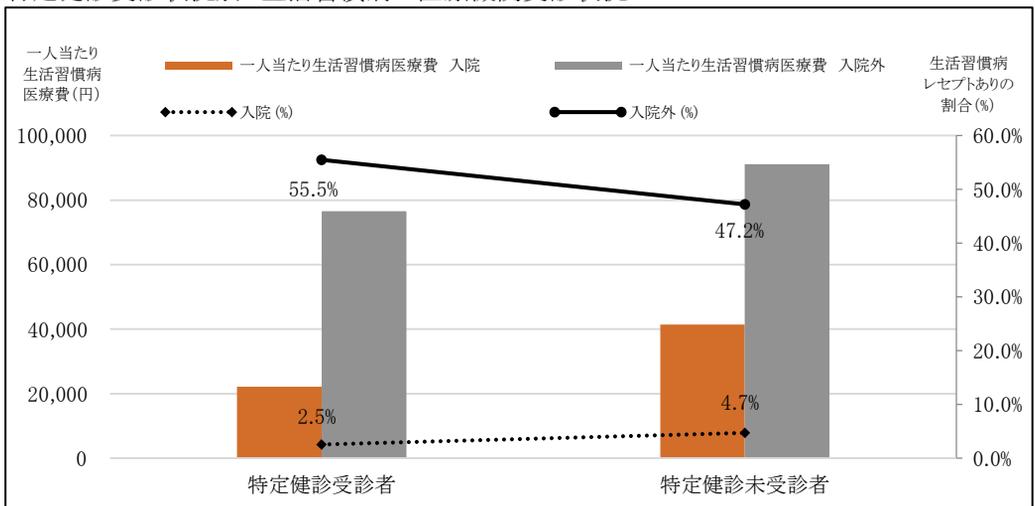
データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況(入院外)

項目	生活習慣病 レセプトの有無	該当者数(人)		生活習慣病 医療費(円)	該当者一人当たり 生活習慣病医療費
		人数(人)	構成比(%)		
特定健診受診者	あり	3,484	55.5%	266,615,729	76,526
	なし	2,796	44.5%	0	0
特定健診未受診者	あり	5,926	47.2%	540,104,662	91,142
	なし	6,628	52.8%	0	0
特定健診対象者	あり	9,410	50.0%	806,720,391	85,730
	なし	9,424	50.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

③特定健診受診状況別 疾病別医療費と患者数

特定健診受診状況別に、医療機関受診状況を疾病別に分析した結果を以下に示す。

特定健診受診状況別 疾病別医療費と患者数

疾病項目		医療費(円)			患者数(人)			
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	
特定健診受診者	生活習慣病※	糖尿病	65,628,124	1,285,852	64,342,272	2,233	77	2,211
	高血圧症	130,768,948	1,914,615	128,854,333	2,260	109	2,252	
	脂質異常症	73,719,102	319,382	73,399,720	1,870	31	1,867	
	その他※	26,103	6,699	19,404	7	3	5	
	新生物	144,746,109	63,351,706	81,394,403	2,162	140	2,141	
	精神疾患	43,230,063	5,451,000	37,779,063	658	37	636	
	難病	20,505,639	12,523,897	7,981,742	155	17	148	
	その他疾病	842,756,542	231,644,349	611,112,193	5,513	432	5,512	
特定健診未受診者	生活習慣病※	糖尿病	193,250,662	11,583,747	181,666,915	4,200	362	4,112
	高血圧症	255,137,021	9,736,355	245,400,666	4,407	403	4,365	
	脂質異常症	115,881,425	3,011,988	112,869,437	3,052	169	3,015	
	その他※	173,697	6,053	167,644	19	1	18	
	新生物	476,378,690	252,491,183	223,887,507	2,793	429	2,676	
	精神疾患	207,432,461	133,058,301	74,374,160	1,247	175	1,142	
	難病	39,641,359	16,369,944	23,271,415	319	45	306	
	その他疾病	2,408,582,895	996,367,059	1,412,215,836	9,181	1,126	9,133	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

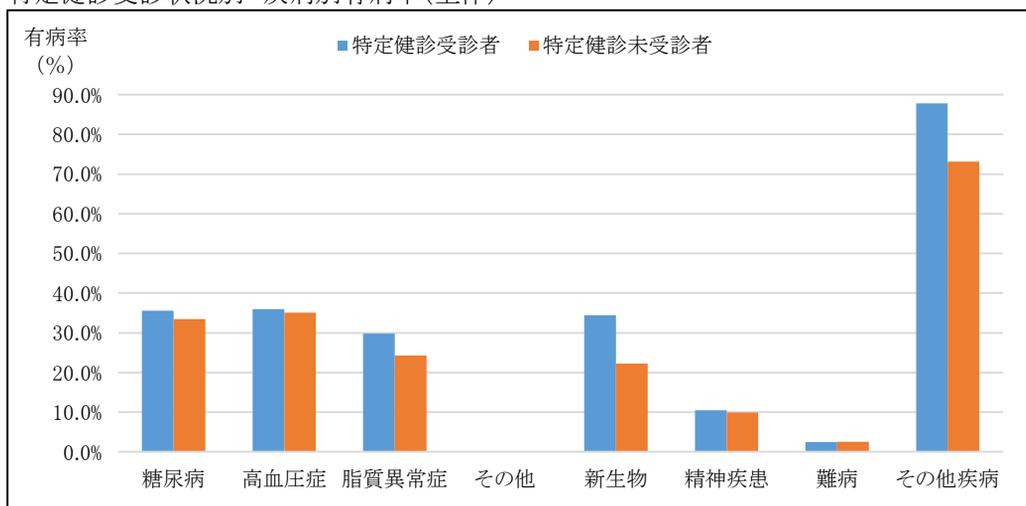
データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※生活習慣病…「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ第二次中間とりまとめ」で使用された3疾患(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)の傷病。

※その他…生活習慣病の糖尿病、高血圧症、脂質異常症のうちいずれかのみで分類することが難しい傷病。

特定健診受診状況別の疾病別有病率を以下に示す。

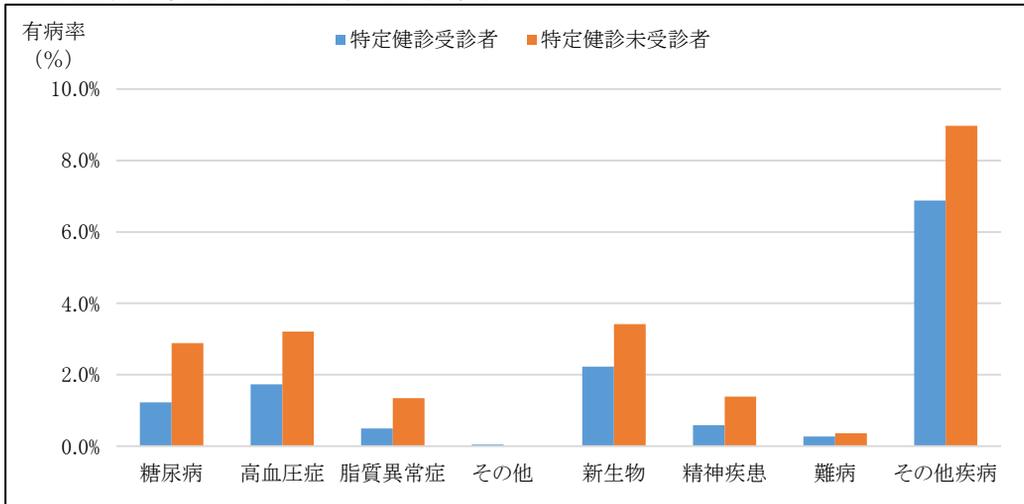
特定健診受診状況別 疾病別有病率(全体)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

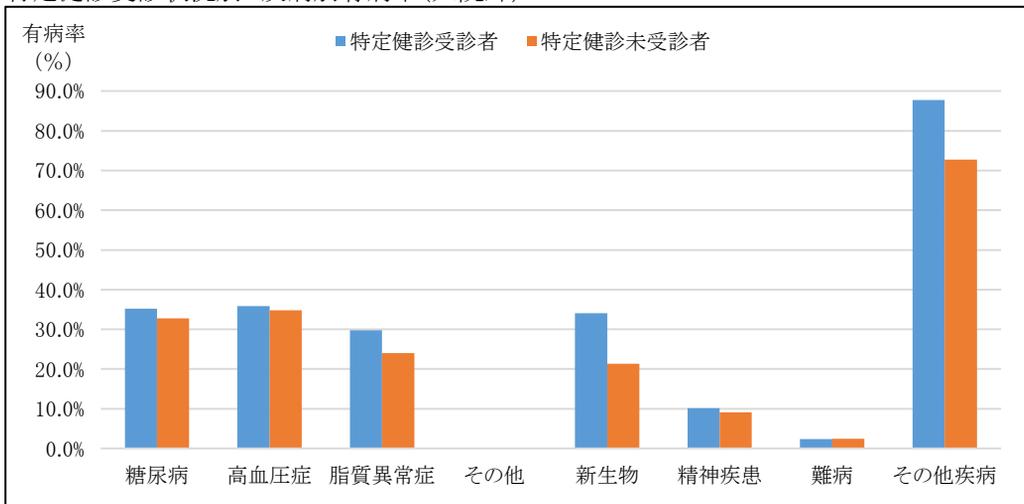
データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定健診受診状況別 疾病別有病率(入院)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定健診受診状況別 疾病別有病率(入院外)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

(12)特定保健指導対象者・非対象者の医療費比較

①特定健診受診者の保健指導レベル別人数

以下の通り、平成26年度における特定健診受診者の保健指導レベル別人数を示す。積極的支援の対象者は402人、動機付け支援の対象者は620人、情報提供の対象者は5,258人、判定不能者は0人である。

特定健診受診者の保健指導レベル別人数

	人数(人)	構成比(%)
特定健診受診者計	6,280	100.0%
積極的支援	402	6.4%
動機付け支援	620	9.9%
情報提供	5,258	83.7%
判定不能	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※データ化範囲内を通して資格がある者を対象とする。

また、データ化範囲内を通して資格があるものを対象としているため、別の「健診及びレセプトによる指導対象者群分析」とは値が異なる。

②特定保健指導対象者・非対象者別医療費

平成26年度の積極的支援および動機付け支援の該当者を特定保健指導対象者、情報提供の該当者を特定保健指導非対象者として、平成26年3月から平成27年2月までの医療費を比較する。特定保健指導非対象者については服薬中の人も含まれるため、服薬の有無で対象者を分ける。

特定保健指導対象者・非対象者別医療費

	該当者数 (人)	医療費(円)			患者数(人)			患者一人当たり医療費(円)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
対象者	1,022	154,335,980	52,821,180	101,514,800	828	55	828	186,396	960,385	122,602
非対象者(服薬無)	2,720	371,215,620	109,803,840	261,411,780	2,270	152	2,269	163,531	722,394	115,210
非対象者(服薬有)	2,538	795,829,030	153,872,480	641,956,550	2,530	240	2,530	314,557	641,135	253,738

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

次に、生活習慣病の医療費を比較する。

なお、生活習慣病は高血圧症、脂質異常症、糖尿病の3疾患とする。3疾患の傷病名コードは、「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ第二次中間とりまとめ」で使用されたものとする。

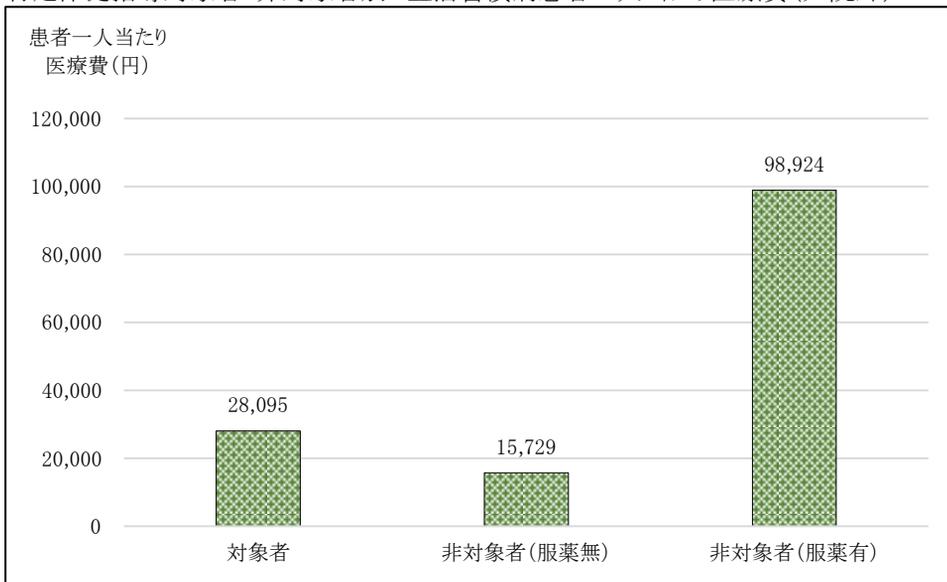
特定保健指導対象者・非対象者別生活習慣病医療費

	該当者数 (人)	生活習慣病医療費(円)			生活習慣病患者数(人)			患者一人当たり医療費(円)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
対象者	1,022	9,486,445	411,613	9,074,832	326	16	323	29,100	25,726	28,095
非対象者(服薬無)	2,720	10,569,103	140,525	10,428,578	671	23	663	15,751	6,110	15,729
非対象者(服薬有)	2,538	250,086,729	2,974,410	247,112,319	2,498	120	2,498	100,115	24,787	98,924

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

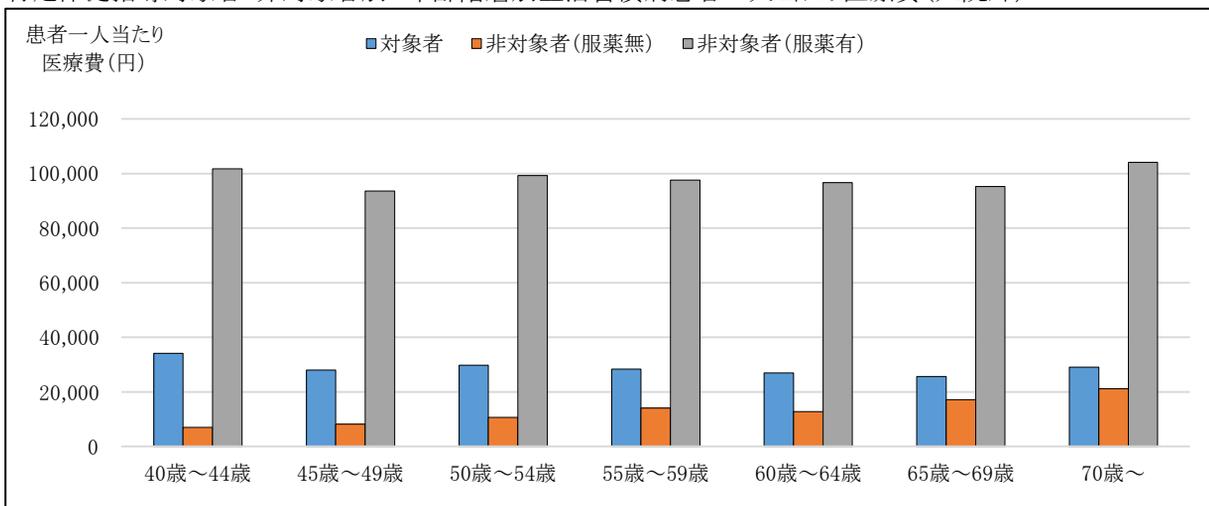
特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

特定保健指導対象者・非対象者別の生活習慣病の患者一人当たり医療費(入院外)を、年齢階層別に示す。

特定保健指導対象者・非対象者別 年齢階層別生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

2. 分析結果と課題及び対策の設定

(1)分析結果

平成26年3月から平成27年2月診療分(12ヶ月分)の医科・調剤レセプトを分析したところ、神栖市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策であることが分かった。

特に生活習慣病は、発症から重症化までの期間が長く、重症化した場合の医療費も大きくなることから、生活習慣病発症予防を目的とした長期的事業と、生活習慣病の重症化予防を目的とした短期的事業を並行して取り組むことが得策であると考えます。

以下、分析結果をまとめた。

①疾病大分類別

循環器系、内分泌疾患が上位となっており、生活習慣病が課題となっていることがわかる。新生物も上位である。患者一人当たりの医療費が高いのは、周産期に発生した病態が1位、精神及び行動の障害が3位である。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費総計が高い疾病	
1位	循環器系の疾患
2位	新生物
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患

患者数の多い疾病	
1位	呼吸器系の疾患
2位	消化器系の疾患
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患

患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	周産期に発生した病態
2位	新生物
3位	精神及び行動の障害

②疾病中分類別

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、医療費・患者数では、大分類同様、生活習慣病関連の疾病が上位占めていた。特に、腎不全が医療費統計が高い疾病3位、医療費患者一人当たりの医療費2位となっており、生活習慣病の重症化予防が課題と言える。

医療費総計が高い疾病	
1位	高血圧性疾患
2位	糖尿病
3位	腎不全
患者数の多い疾病	
1位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
3位	高血圧性疾患
患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	白血病
2位	腎不全
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物

③入院・入院外別

入院・入院外別での医療費が高い疾病傾向も、①の結果と同様で、循環器・新生物・内分泌・精神疾患が上位である。

入院 医療費 割合	38.8%	入院における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	精神及び行動の障害
入院外 医療費 割合	61.2%	入院外における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	循環器系の疾患
		2位	内分泌、栄養及び代謝疾患
		3位	新生物

④年齢階層別医療費

高齢になるにつれ医療費は高額化する。中でも医療費が高い疾病は、いずれの年代においても循環器系の疾患が1位であった。生活習慣病は、重症化し医療費が高額化するまでに長い時間がかかることから、医療費の高い疾患を特定することも重要であると同時に、将来医療費が高額化すると予測される層への発症予防対策も重要である。また新生物も上位であることから、がんの早期発見等対策が必要である。

医療費総計が高い年齢階層		医療費総計が高い疾病(大分類)	
1位	70歳～	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
2位	65歳～69歳	1位	循環器系の疾患
		2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
		3位	新生物
3位	60歳～64歳	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患

⑤高額(5万点以上)レセプトの件数と割合

高額レセプトの発生件数は、全体の0.6%でありながら医療費の28.4%を占めていることから、医療費適正化効果の観点から、上位にあがった疾患の対策は重要であると考えます。

分析結果では、2位の腎不全、3位のその他の心疾患と、生活習慣病に関連する疾患があがっており、これらからも生活習慣病の対策が重要であると考えます。新生物も4位と5位にあがっており、がんの早期発見等対策が必要である。

高額レセプト件数	169件 (月間平均)	高額レセプトの要因となる疾病 一人当たりの医療費が高額な疾病(中分類)	
高額レセプト件数割合	0.6%	1位	白血病
高額レセプト医療費割合	28.4%	2位	腎不全
		3位	その他の心疾患
		4位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
		5位	その他の悪性新生物
		6位	その他の神経系の疾患

⑥医療機関受診状況

医療機関の受診状況に問題のある被保険者が389人、服薬状況に問題のある被保険者が1,221人確認できた。短期的な医療費適正化効果が期待できるため、対策が必要であると考ええる。

重複受診者	159人	}	受診状況に問題ある被保険者389人
頻回受診者	230人		
重複服薬者	689人	}	服薬状況に問題のある被保険者1,221人
薬剤併用禁忌対象者	632人		

※平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分) 期間中の実人数

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。
透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

⑦人工透析患者の実態

人工透析患者81名のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至った患者が58名で、そのうち53名が2型糖尿病が起因であった。糖尿病性腎症重症化予防の取り組みが必要である。

⑧脳卒中・心筋梗塞の患者の実態

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)の患者は、1,954名、心筋梗塞の患者は、384名であった。死亡率の高いこと、再発率が高いことから、発症予防と再発予防の取り組みが必要である。

⑨メンタル疾患の実態

大分類の「V.精神及び行動の障害」「VI.神経系の疾患」のうち、メンタル疾患(気分障害、神経症性障害、神経症・ストレス関連、睡眠障害、アルコール使用障害)が25.5%占めており、年齢が上がるにつれ、患者数が増加、医療費が高額化している。対策が必要である。

⑩ジェネリック医薬品普及率

数量ベースのジェネリック医薬品普及率(新指標)は平成27年度2月診療分で55.0%である。厚生労働省は、平成27年8月26日に、2020年度末までに80%と普及目標を引き上げた。更なるジェネリック医薬品の普及をめざす。

⑪特定健診受診状況別の医療費と患者数

特定健診受診者、特定健診未受診者ともに、生活習慣病3疾病における医療費のうち、高血圧症の医療費が最も高額で、また高血圧症で罹患している人が最も多いという結果であった。高血圧症重症化予防の取り組みが必要である。

(2)課題及び対策の設定

分析結果より導いた課題とその対策を以下に示す。

①特定健診・特定保健指導を基盤とする生活習慣病予防

<課題> 疾病大分類や疾病中分類において医療費が高額な疾病、あるいは患者数が多い疾病や一人当たりの医療費が高額な疾病の中に、生活習慣病がある。

生活習慣病は、正しい生活習慣により予防することが可能である。また、たとえ発症しても軽度のうちに治療を行い、生活習慣を改善すれば進行をくいとめることができるにもかかわらず、多数の患者が存在し、医療費も多額である。

<対策> 特定健診・特定保健指導の制度を最大限に活用し、一次予防・二次予防を実施する。具体的には、特定保健指導実施率の向上、健診を受診しているが異常値を放置している患者への受診勧奨通知等である。

②生活習慣病の重篤化リスクのある患者への重症化予防

<課題> 高額レセプトの要因となっている疾病の中に、生活習慣病が重篤化した疾病がある。これらの疾病は、重篤化する前に患者本人が定期的に通院し、服薬管理や食事管理等をすることで重症化することを防ぎ、病気をコントロールすることが肝要である。

<対策> 生活習慣病の重症化予防が必要な病期にあたる患者を特定し、患者個人に保健指導を行い、定期的な受診を促す。

③ジェネリック医薬品普及率の向上

<課題> 厚生労働省が目標とするジェネリック医薬品普及率は平成29年度末の数量ベース(新基準)で60%以上であるが、現在、「神栖市国民健康保険」における同普及率は「52.8%」である。

<対策> ジェネリック医薬品に切り替え可能な先発医薬品を服薬している患者を特定し、患者個人に切り替えを促す通知を行う。

④受診行動適正化

<課題> 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在する。

<対策> 対象者集団を特定し、適正な受診行動を促す。

⑤薬剤併用禁忌の防止

<課題> 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。薬剤の相互作用から、効果が過剰に増大または減退する可能性があり、さらに副作用により患者に重大な影響を与える可能性がある。

<対策> お薬手帳の利用促進を行う。

Ⅲ. 実施事業

1. 実施事業の目的と概要

データヘルス計画においては、期間を3カ年として事業計画を策定する。

各事業を実施する目的と概要を以下のとおり定める。

(1) 特定健康診査未受診者対策

【目的】被保険者の生活習慣病予防

【概要】特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。

(2) 特定保健指導事業

【目的】被保険者の生活習慣病予防

【概要】特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

【目的】健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【概要】特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。通知書の内容は、検査値をレーダーチャートで分かりやすく表現し、場合によっては将来の生活習慣病の発症リスク等を記載する。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

【目的】被保険者の糖尿病重症化予防

【概要】特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を継続できるように日常に根付いたものとする。

(5) 高血圧症重症化予防事業

【目的】高血圧症患者の減少

【概要】特定健診の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を継続できるように日常に根付いたものとする。

(6)受診行動適正化指導事業（重複受診、頻回受診、重複服薬）

【目的】重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【概要】レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。

(7)ジェネリック医薬品差額通知事業

【目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【概要】レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。

(8)薬剤併用禁忌防止事業

【目的】薬剤併用禁忌の発生件数減少

【概要】レセプトから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。

(9)人間ドック等健康診査費用助成事業

【目的】被保険者の生活習慣病・疾病の予防

【概要】人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のうち特定保健指導対象者を特定し、特定保健指導を実施する。

(10)若年者健康診査事業

【目的】生活習慣病の早期予防

【概要】16歳～39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の周知を行い、希望者へ保健指導を実施する。

(11)ポピュレーションアプローチ（健康づくりに関する普及啓発）事業

【目的】健康に対する意識を向上させ、健康的な生活習慣を定着させる

【概要】生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や教室、健康増進事業を実施する。

2. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

データヘルス計画の実施事業における目的及び目標の達成状況について評価を行うこととし、達成状況により、次年度実施計画の見直しを行う。

(2) 評価時期

各事業のスケジュールに基づき実施する。

(3) 見直し検討時の構成メンバー

見直しのための検討の場を設ける場合には、下記メンバーで実施する。

- 健康福祉部長
- 国保運営協議会委員
- 国保年金課長
- 健康増進課長

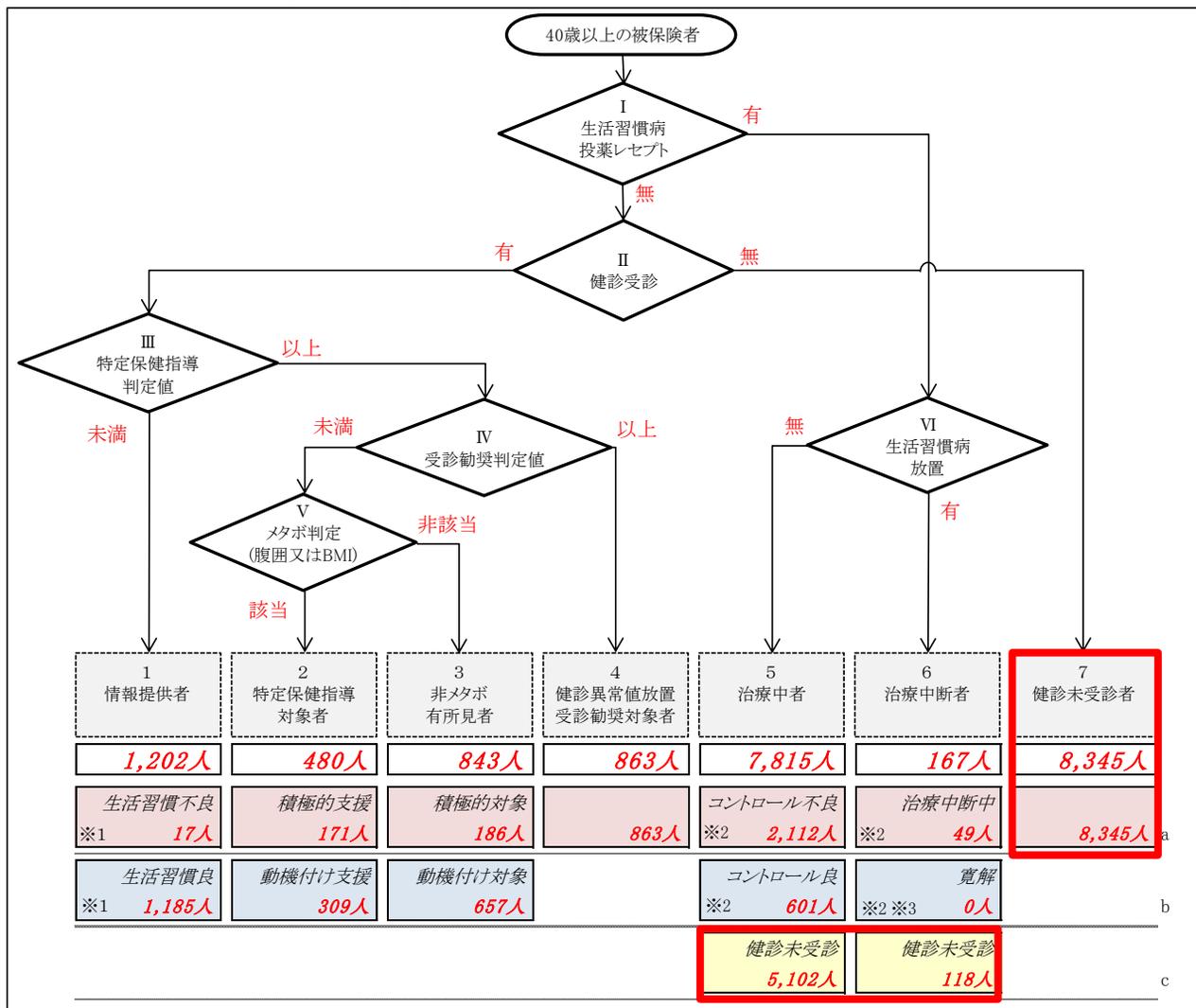
IV. 事業内容

1. 特定健康診査未受診者対策(特定健診受診率向上)

(1)対象者の特定

これまでの受診率向上のための受診勧奨事業に加え、レセプトを突合させた特定健診受診率向上事業を実施する。以下の図の特定健診未受診者の7のグループと、生活習慣病投薬レセプトがある5と6の、健診未受診者グループへ受診勧奨を行う。

健診及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※なお、平成27年2月時点で資格があるものを対象とする。

※1生活習慣インデックス(データホライゾン社基準)にて分類。健康診査時の生活習慣に関する質問票において回答を点数化し生活習慣の“良”“不良”を判定。

※2健康リスクインデックス(データホライゾン社基準)にて分類。レセプトから特定の疾患がある患者、ない患者を判定し、患者毎に健診時の検査値についてリスク判定を行いコントロールの“良”“不良”を判定。

※3寛解(かんかい)…治療中断者の判定になっているが、健康診査時の検査値(血糖、血圧、脂質のすべて)において判定基準未満であり、症状が落ち着いて安定した状態。

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	健診未受診者を選定し、3年間未受診の60代に家庭訪問を実施。未受診の理由を把握し、各階層毎の内容別に応じた受診勧奨を実施する。 健診受診率等を評価し、受診勧奨に有用な健診未受診者を選定する。
平成28年度	4年以上の健診未受診者の中から対象者を選定し家庭訪問を行う。未受診の理由を把握し、内容別に応じた受診勧奨を実施する。 年度内未受診者に対し、受診勧奨通知を実施する。
平成29年度	継続

②目標

平成27年度～平成29年度の目標を以下のとおりとする。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・再勧奨対象者への通知率 100% ・訪問実施人数をモニタリングする 	特定健診受診者数の増加

(3)実施要領

①保健事業の要領

受診勧奨対象者を特定し、その対象者に対して適切な受診勧奨通知を行う。通知の効果を得るため、対象者が行動変容しやすい内容とデザイン、通知のタイミングを検討し、また通知後の効果測定等を実施する。

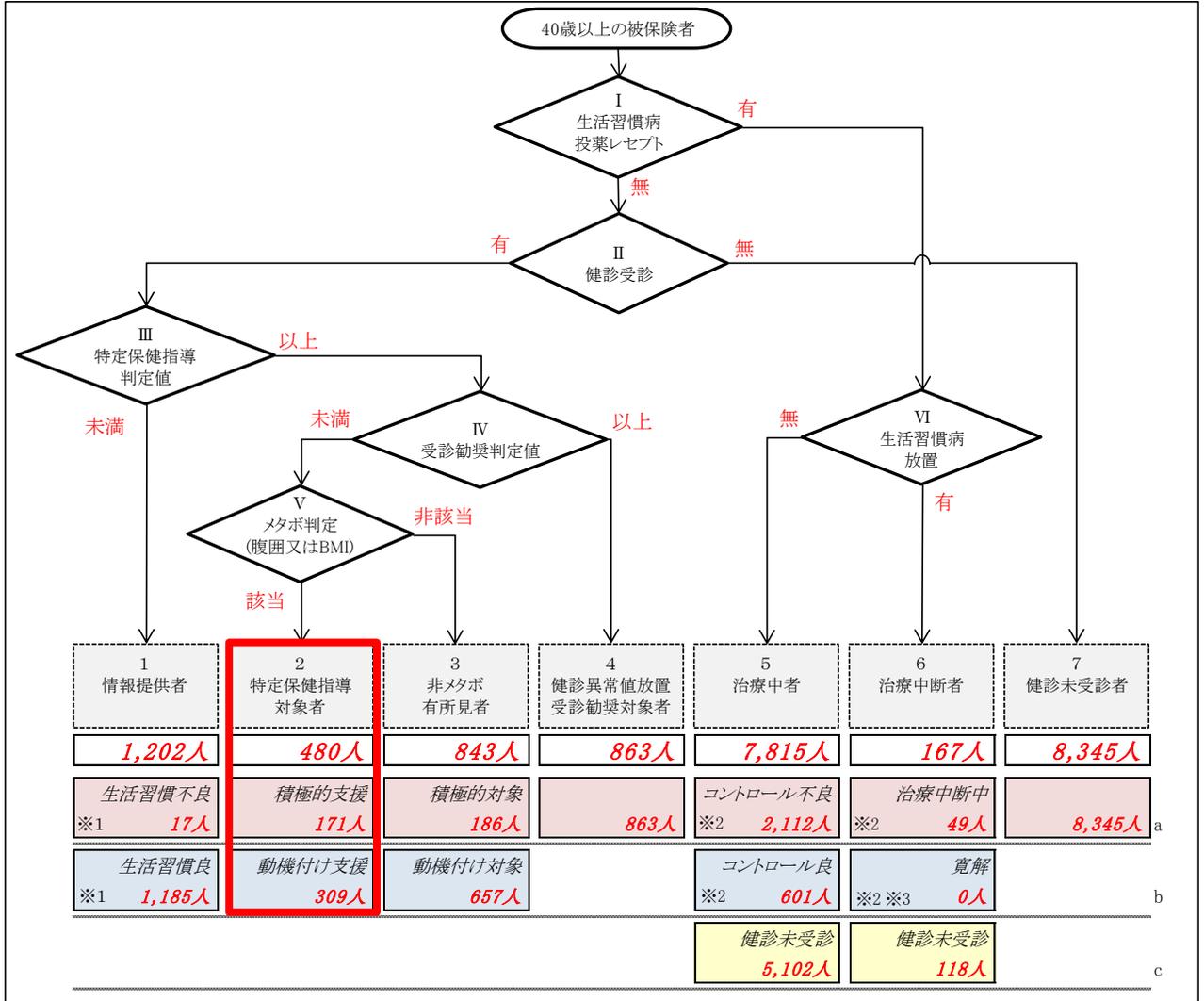
特定健診実施期間前を中心に受診勧奨対象者へ家庭訪問を行うことで、未受診状況を把握し、それに応じた受診勧奨や保健指導を実施する。確認した状況を記録に残し、今後の対策や保健指導に役立てていく。訪問後の健診受診人数等を検証し、効果を確認する。

2. 特定保健指導事業

(1)対象者の特定

特定保健指導の対象者は、以下の図の2のグループである。

健診及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※なお、平成27年2月時点で資格があるものを対象とする。

※1生活習慣インデックス(データホライゾン社基準)にて分類。健康診査時の生活習慣に関する質問票において回答を点数化し生活習慣の“良”“不良”を判定。

※2健康リスクインデックス(データホライゾン社基準)にて分類。レセプトから特定の疾患がある患者、ない患者を判定し、患者毎に健診時の検査値についてリスク判定を行いコントロールの“良”“不良”を判定。

※3寛解(かんかい)…治療中断者の判定になっているが、健康診査時の検査値(血糖、血圧、脂質のすべて)において判定基準未満であり、症状が落ち着いて安定した状態。

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	神栖市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。
平成28年度	神栖市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づき、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 健診データより検査値の推移を確認する。
平成29年度	継続

②目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・指導対象者の指導実施率向上(法定報告確認)	・積極的支援及び動機付け支援対象者数が減少する (階層化人数で確認していく)

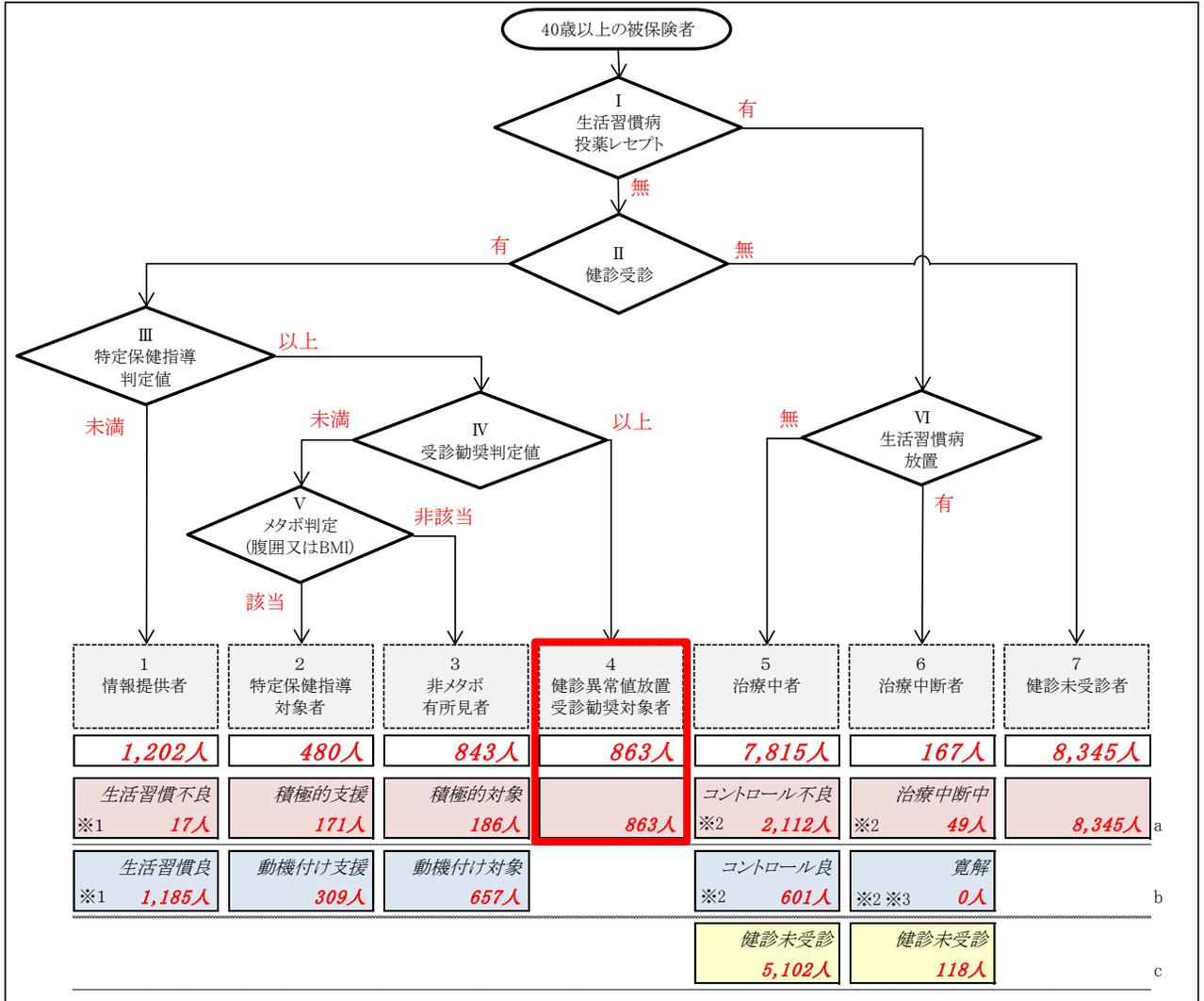
3. 健診異常値放置者受診勧奨事業

(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定

① 事業候補者の把握

特定健診を受ける必要がある40歳以上で、生活習慣病投薬レセプトが無く、健診受診しており、その健診の結果、異常値がある人が本事業の対象となる。

健診及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)… 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)… 健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※なお、平成27年2月時点で資格があるものを対象とする。

※1生活習慣インデックス(データホライゾン社基準)にて分類。健康診査時の生活習慣に関する質問票において回答を点数化し生活習慣の“良”“不良”を判定。

※2健康リスクインデックス(データホライゾン社基準)にて分類。レセプトから特定の疾患がある患者、ない患者を判定し、患者毎に健診時の検査値についてリスク判定を行いコントロールの“良”“不良”を判定。

※3寛解(かんかい)…治療中断者の判定になっているが、健康診査時の検査値(血糖、血圧、脂質のすべて)において判定基準未満であり、症状が落ち着いて安定した状態。

②事業対象者集団の特定

分析結果より、生活習慣病のレセプト(Ⅰ)が無い健診受診者(Ⅱ)3,388人中、特定保健指導判定値(Ⅲ)が高かった人は2,186人おり、その中で医療機関への受診を行わず放置している人(Ⅳ)、つまり、健診異常値放置受診勧奨者(4)は863人存在する。生活習慣病は放置することで様々な疾病を引き起こすため、早期発見・早期治療が重要である。これらの健診異常値放置者を正しい受診行動に導く必要がある。平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプト、健診データを対象に、条件設定により算出した健診異常値放置患者の人数を以下に示す。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I.条件設定による指導対象者の特定

・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数

863 人

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

次に指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「癌」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II.除外設定

		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	癌、難病等	195 人	195 人
除外患者を除いた候補者数		668 人	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

次に、残る対象者668人のうち、受診勧奨の効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値以上の異常値が発生しており、異常値に対するレセプトが発生していない対象者を特定するが、健診異常値判定数が多い患者を最優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これらはすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病リスク大 健康リスクインデックス (17～24)	候補者A 22人	候補者C 85人
	生活習慣病リスク中 健康リスクインデックス (9～16)	候補者B 66人	候補者D 219人
	生活習慣病リスク小 健康リスクインデックス (0～8)	候補者E 60人	候補者F 216人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			668人

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。
平成28年度	健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。
平成29年度	継続

②目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20% ※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者数 20%減少

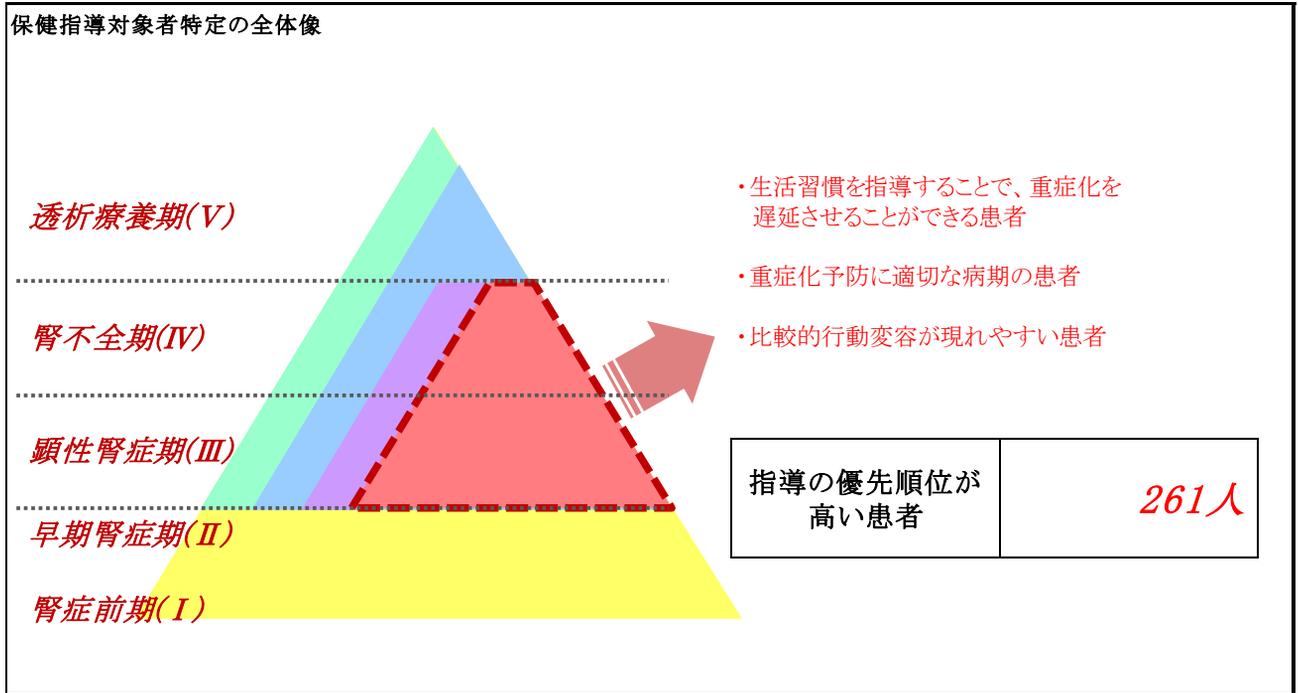
※ 受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合。

4. 糖尿病性腎症重症化予防事業

(1) 事業候補者の特定

糖尿病性腎症重症化指導対象者は、261人である。これらの対象者に将来、人工透析に至らせないための生活習慣改善を中心とした指導を行う。

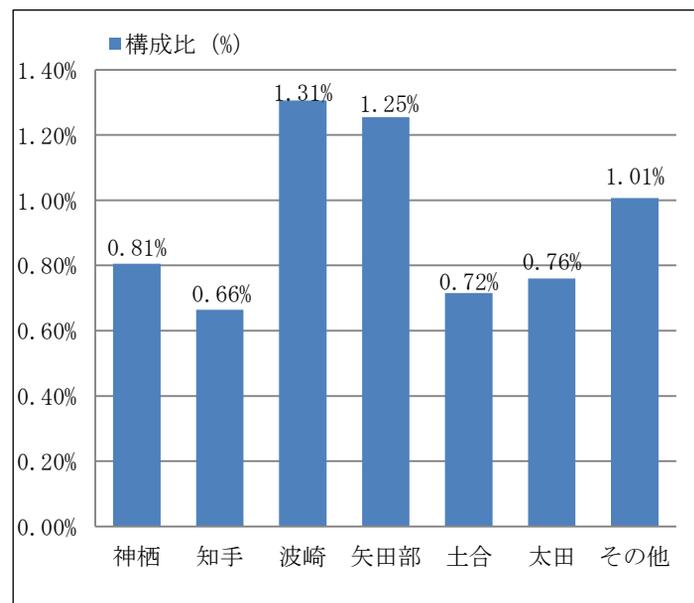
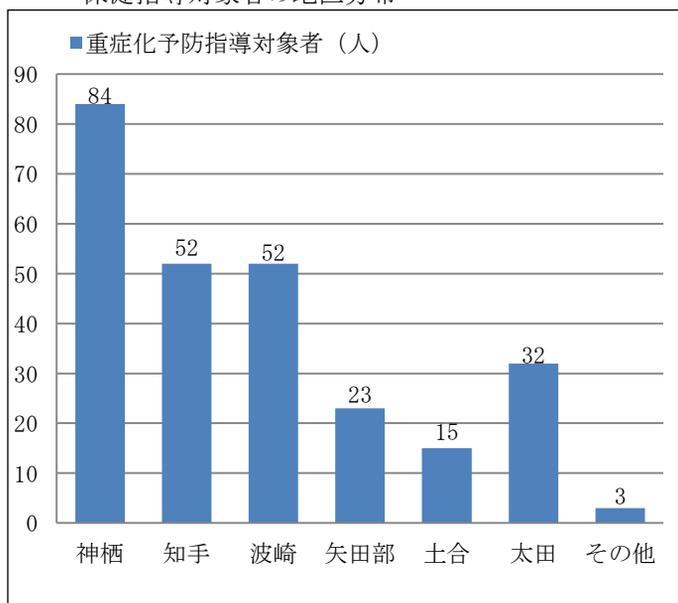
保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

指導の優先順位が高い患者261人を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

構成比は、平成27年2月時点での各地区の被保険者数から算出。

(神栖10,426人、知手7,830人、波崎3,982人、矢田部1,834人、土合2,097人、太田4,209人、その他298人)

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	健診結果から指導対象者を抽出し、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。
平成28年度	健診結果から指導対象者を抽出し、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導実施者に対し、健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。
平成29年度	継続

②目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・指導対象者の指導実施率の向上(実施人数を確認していく)	・指導実施後の対象者のCKD重症度分類を悪化させない

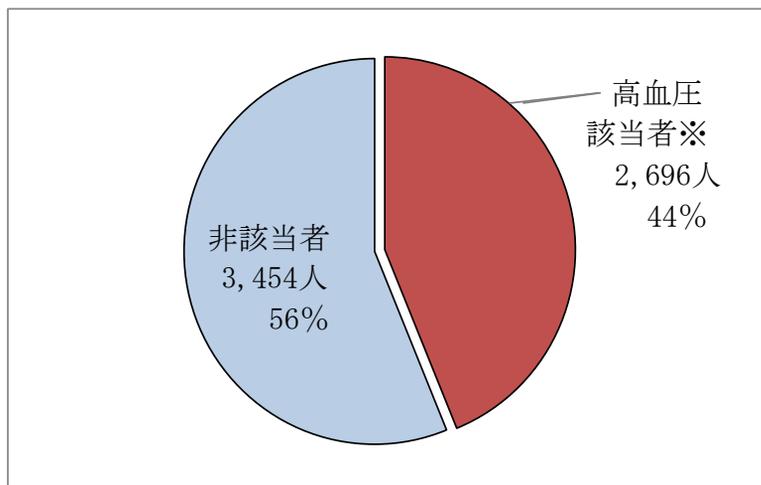
5. 高血圧症重症化予防事業

(1) 保健事業の対象者の特定

① 事業候補者の把握

平成26年4月～平成27年3月(12カ月)の健診データで、高血圧症患者の分析を行った。分析結果より、健診受診者6,150人中、日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づく高血圧(収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上)の該当者は2,696人であった。

特定健診受診者の高血圧該当状況



データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※高血圧該当者…収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上

② 事業対象者集団の特定

高血圧該当者を高血圧治療ガイドライン2014に基づき分類した結果、以下の通りとなった。

分類※	収縮期血圧と拡張期血圧の検査値	高血圧 該当者	高血圧症に関連する レセプトの有無	
			有	無
I度高血圧	収縮期血圧が140以上160未満 かつ/または 拡張期血圧が90以上100未満	1,616人	798人	818人
II度高血圧	収縮期血圧が160以上180未満 かつ/または 拡張期血圧が100以上110未満	283人	162人	121人
III度高血圧	収縮期血圧が180以上 かつ/または 拡張期血圧が110以上	46人	31人	15人
(孤立性) 収縮期高血圧	収縮期血圧が140以上 かつ 拡張期血圧が90未満	751人	401人	350人
合 計		2,696人	1,392人	1,304人

データ化範囲(分析対象)…内科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)。

※なお、平成27年2月時点で資格があるものを対象とする。

※収縮期血圧の選定レベルと拡張期血圧の選定レベルが異なる場合、選定レベルの高い方でカウントする。

※分類は日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014による。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	健診結果から指導対象者を抽出し、適切な保健指導を行う。
平成28年度	健診結果から指導対象者を抽出し、適切な指導を行う。 健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。
平成29年度	継続

② 目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・指導対象者の指導実施率の向上	・指導実施後の対象者の血圧値が低下する

6. 受診行動適正化指導事業

(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定

① 多受診患者の人数把握

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、医療費高額化の要因になっており、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。

重複受診・・・ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関を受診する

頻回受診・・・ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診する

重複服薬・・・ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上である
これらについて、平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトデータを用いて分析した。

以下の通り、重複受診者数を集計した。ひと月平均20人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は245人、実人数は159人である。

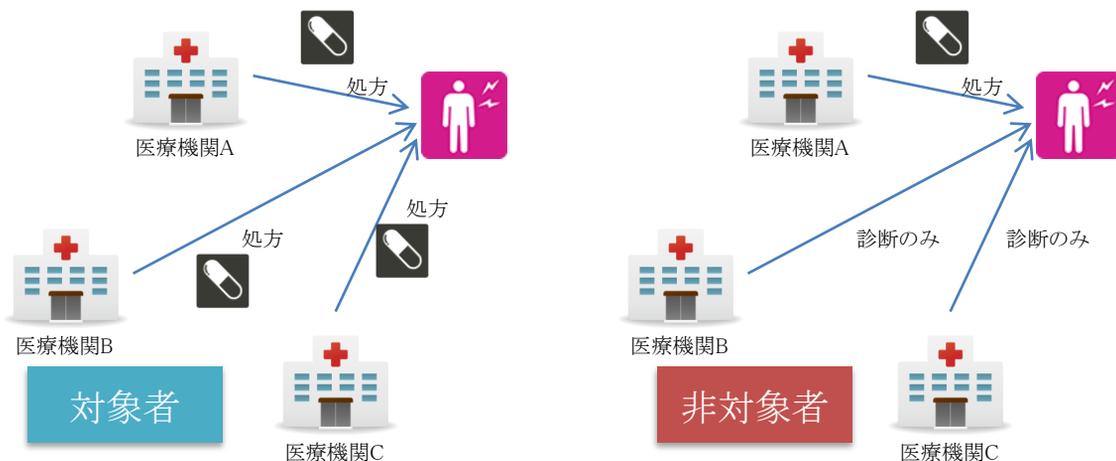
重複受診者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複受診者数(人) ※	20	17	25	21	14	21	19	22	23	24	23	16
12カ月間の延べ人数											245	
12カ月間の実人数											159	

データ化範囲(分析対象)・・・医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

データホライゾン社特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数・・・1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。



同一疾病で投薬治療が3医療機関以上であるため対象とする。

同一疾病で投薬治療が1医療機関であるため対象としない。残り2医療機関は診断がされただけで治療はされていないと判断する。

同一の疾病で複数医療機関を受診している対象者を特定する。このとき、疾病に対して投薬治療がされている医療機関に限定する。これにより、ただレセプトに記載されただけの医療機関を除外することができ、正確な対象者の特定が可能となる。

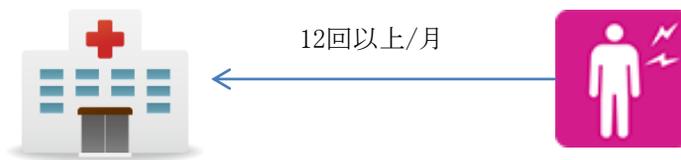
以下の通り、頻回受診者数を集計した。ひと月平均52人程度の頻回受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は623人、実人数は230人である。

頻回受診者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
頻回受診者数(人) ※	42	50	50	72	67	48	53	58	42	50	44	47
											12カ月間の延べ人数	623
											12カ月間の実人数	230

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。



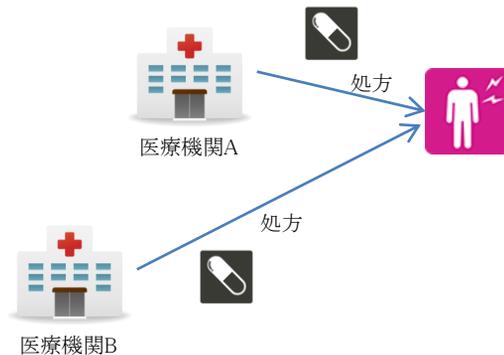
1医療機関において、1カ月間の受診回数が、12回以上である対象者を特定する。このとき、投薬や疾病による判断は行わない。

以下の通り、重複服薬者数を集計した。ひと月平均110人程度の重複服薬者が確認できる。12カ月間の延べ人数は1,318人、実人数は689人である。

重複服薬者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
重複服薬者数(人) ※	32	111	120	107	108	107	114	183	106	123	111	96
12カ月間の延べ人数											1,318	
12カ月間の実人数											689	

データ化範囲(分析対象)…**医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。**
 ※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。
 ※平成26年9月～平成26年10月に複数の医療機関にて医療機関コードが変更されており、9月、10月に医療機関コードが変更された医療機関に受診した場合は、同一医療機関でも判定対象となるため、平成26年9月～平成26年10月の数値に差が出ている。



1カ月間に、同一薬効の医薬品の合計処方日数が60日を超える場合を対象とする。(短期処方を除く。)

②事業対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で、重複受診者は159人、頻回受診者は230人、重複服薬者は689人存在する。これらの多受診患者を正しい受診行動に導く必要がある。効果的な事業を実施する上で、まず重要となるのが適切な指導対象者集団を特定することである。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

平成26年3月～平成27年2月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、条件設定により算出した多受診患者の人数を以下に示す。

(※重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。)

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に**3医療機関以上**受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で**同一医療機関に12回以上**受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、**同系医薬品の日数合計が60日を超える**患者

条件設定により候補者となった患者数

1,004 人

データ化範囲(分析対象)…**医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。**

次に指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。多受診が必要な医療である可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者について除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	717 人
除外②	癌、難病等 ※	717 人	

除外患者を除き、候補者となった患者数

287 人

データ化範囲(分析対象)…**医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。**

※疑い病名を含む。

次に、残る対象者287人のうち、指導することで効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。ここでは6カ月間のレセプトを分析しているのので、6カ月間のレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とし、次に3～4カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者、最後に2カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を対象とした。結果、効果が高い候補者A～候補者Fは17人となった。

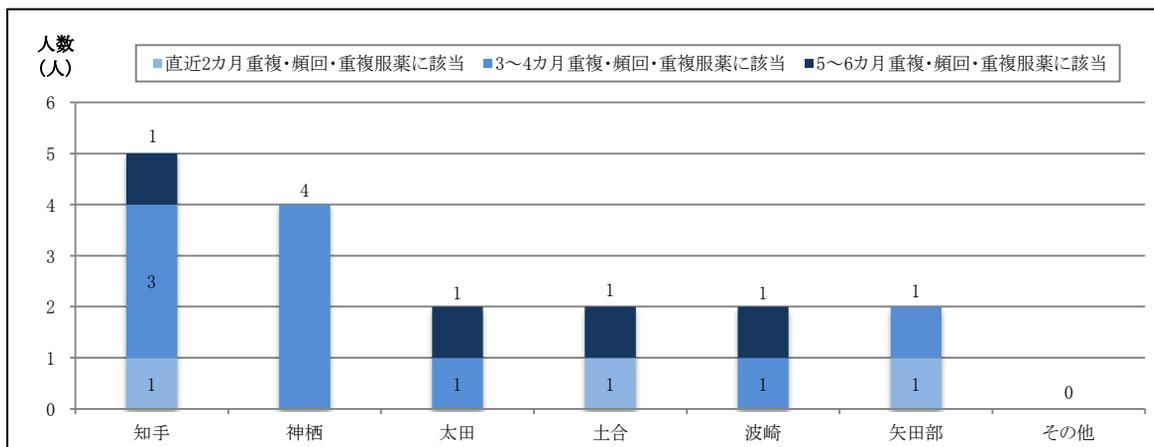
優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

III. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 3人	候補者C 1人	候補者 としない 270人
	6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 6人	候補者D 4人	
	6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 3人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				17人

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6カ月分)。

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数17人を地区別に示す。

保健指導候補者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年9月～平成27年2月診療分(6カ月分)。

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	指導対象者に対して適切な指導を行う。
平成28年度	指導対象者に対して適切な指導を行う。 指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認する。
平成29年度	継続

②目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% ※1 ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50% 減少 ※2 	<ul style="list-style-type: none"> ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少

※1 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合。

※2 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で指導実施完了者の医療費が削減された割合。

7. ジェネリック医薬品差額通知事業

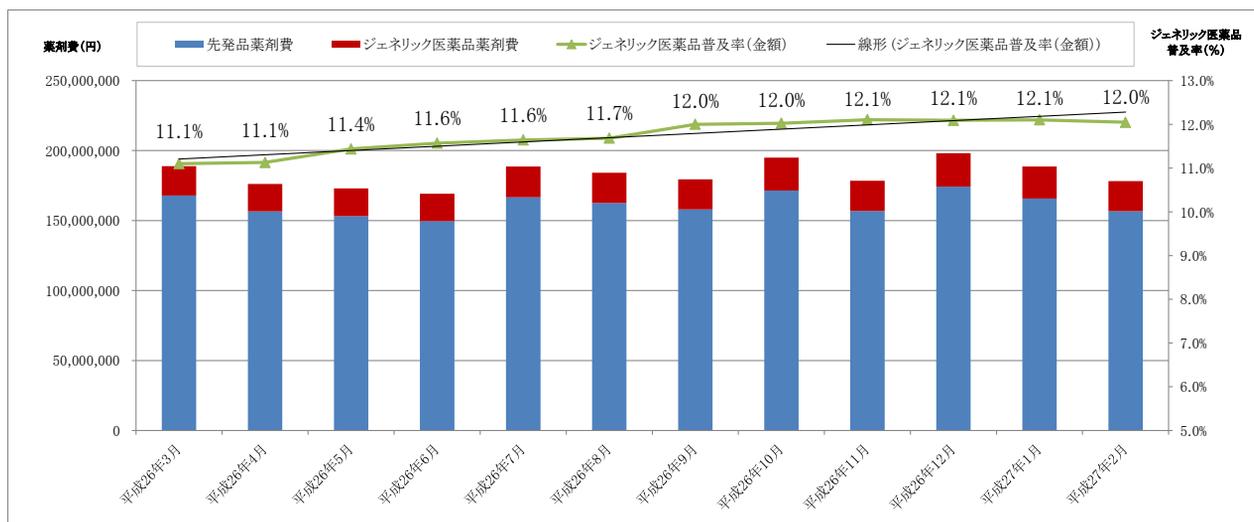
(1)保健事業の効果が高い対象者の特定

①ジェネリック医薬品普及率の把握

厚生労働省は平成25年4月に「ジェネリック医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を策定し、その中で「平成30年3月末までに、ジェネリック医薬品の数量シェアを60%以上にする」という目標を掲げ、ジェネリック医薬品の使用促進のための施策に積極的に取り組んでいる。

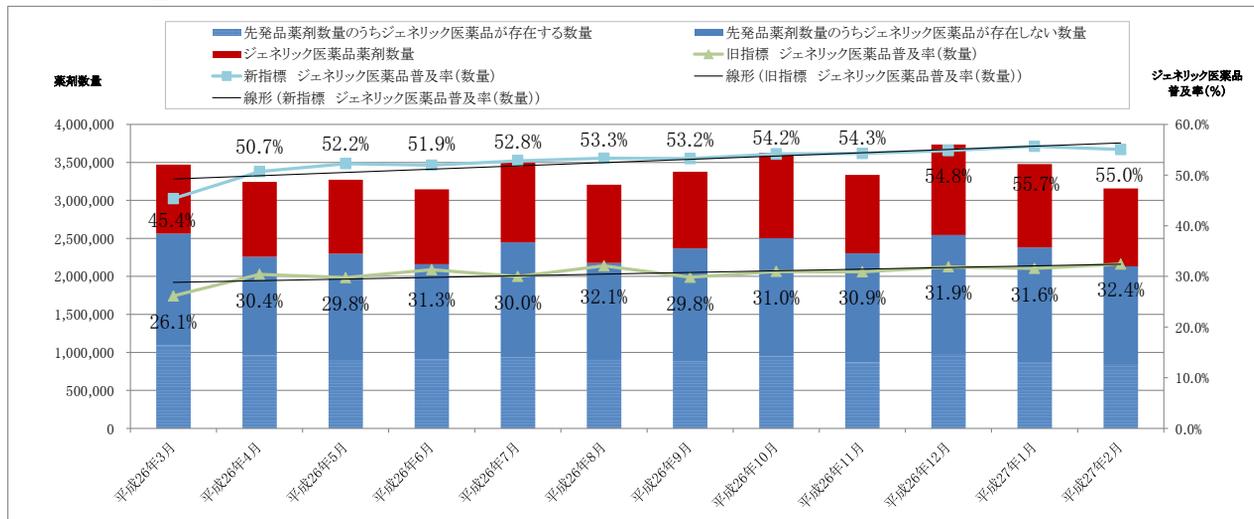
現在、神栖市国民健康保険の数量ベースのジェネリック医薬品普及率平均は52.8%である。
月別の推移(金額ベース・数量ベース)を以下の通り示す。

1. 金額ベース(全体)



データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

2. 数量ベース(全体)

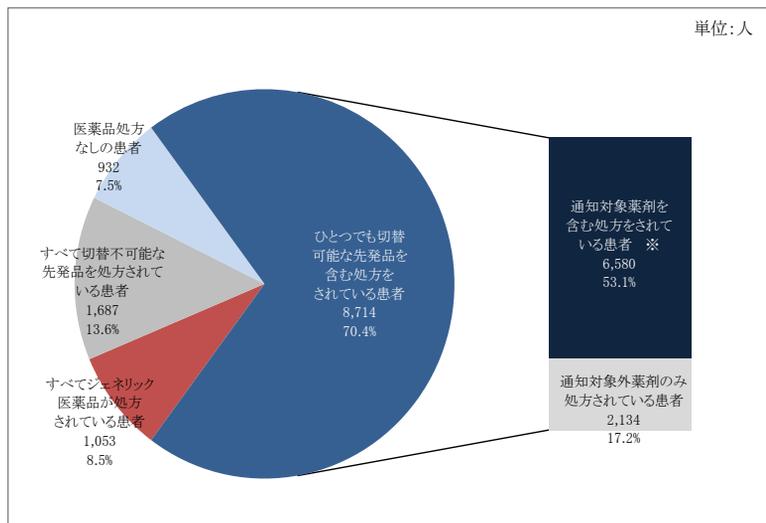


データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

②事業対象者集団の特定

レセプトが発生している患者毎の薬剤処方状況を以下に示す。患者数は12,386人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発医薬品を含む処方されている患者は8,714人で患者全体の70.4%を占める。さらにがん・精神疾患・短期処方のみを処方されている患者を除くと、6,580人となり全体の53.1%となる。これらの対象者にジェネリック医薬品差額通知等の情報提供を行い、ジェネリック医薬品の使用を促すことで、医療費削減を目指す。

ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル(患者数ベース)



データ化範囲(分析対象)…**医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成27年2月診療分(1カ月分)。**

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データホライズン社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても癌・精神疾患・短期処方のものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	年2回、3,000通程度を想定。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。
平成28年度	継続
平成29年度	継続

②目標(達成時期:平成29年度末)

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・対象者への通知率 100%	・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 通知開始時平均より 5%向上

8. 薬剤併用禁忌防止事業

(1)対象者の特定

①薬剤併用禁忌対象者数の把握

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。本事業では、薬剤併用禁忌を防止するため、その対象となる患者を特定し、医師、薬剤師への情報提供を行う。

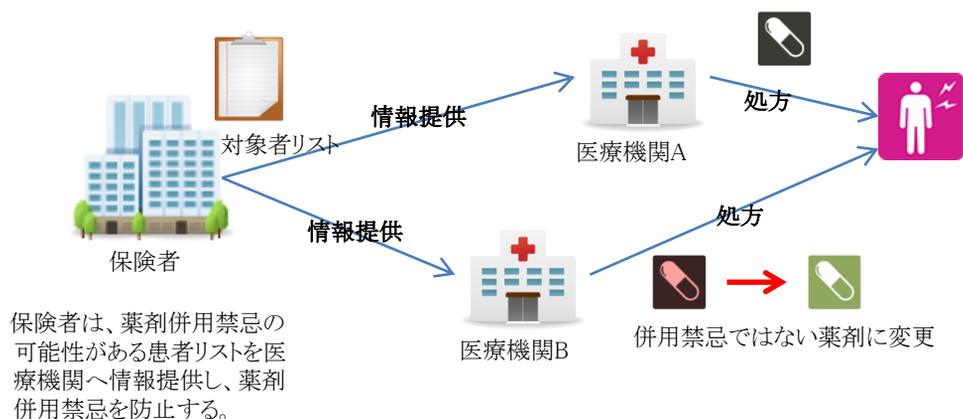
以下の通り薬剤併用禁忌対象者数を集計した。ひと月平均80人程度の薬剤併用禁忌対象者が確認できる。12カ月間の延べ人数は954人、実人数は632人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	81	67	70	53	60	61	71	69	75	105	148	94
12カ月間の延べ人数											954	
12カ月間の実人数											632	

データ化範囲(分析対象)…医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。



②薬剤併用禁忌の組み合わせの特定

12カ月間で薬剤併用禁忌が発生していた件数は1,548件、632人であった。主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	632
件数合計(件)	1,548

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	11
2	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	20
3	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	3
4	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	32
5	内服	611140022	アセトアミノフェン	内服	620002038	コカール錠200mg	1
6	内服	611140022	アセトアミノフェン	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	6
7	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	1
8	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620002022	コロナール細粒20%	4
9	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	21
10	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	29
11	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
12	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	2
13	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	621558101	SG配合顆粒	3
14	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	621498101	カブコデN配合錠	1
15	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	1
16	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620002038	コカール錠200mg	1
17	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	622081101	トラムセット配合錠	9
18	内服	620002634	アセトアミノフェン錠200「タツミ」 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	2
19	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620160501	PL配合顆粒	1
20	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	611140022	アセトアミノフェン	1
21	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
22	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
23	外用	662450001	アドレナリン液 0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	3
24	内服	620006824	アニルメ細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	3
25	内服	620006824	アニルメ細粒20%	内服	621558101	SG配合顆粒	1
26	内服	620006824	アニルメ細粒20%	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
27	内服	620006824	アニルメ細粒20%	内服	620002450	ヒリナジン末	1
28	内服	620006824	アニルメ細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	3
29	内服	620002640	アニルメ錠300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
30	内服	620006771	アマーヅ錠2.5mg	内服	610451012	イミグラン錠50 50mg	1
31	内服	620001923	アリセプトD錠5mg	内服	622046201	レミニールOD錠8mg	1
32	内服	620001961	イトラートカプセル50 50mg	内服	621932501	ラジレス錠150mg	12
33	内服	620004349	イトリゾール内用液1%	内服	621524102	シンバスタチン錠5mg「YD」	2
34	内服	610451012	イミグラン錠50 50mg	内服	620005014	ジヒデルゴット錠1mg	1
35	内服	610451012	イミグラン錠50 50mg	内服	610462006	レルボックス錠20mg	1
36	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	2
37	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	621975402	リスペリドン内用液1mg/mL「MEEK」 0.1%	2
38	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	622129801	リスペリドン内用液分包1mg「日医工」 0.1%1mL	13
39	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005586	リスパダールOD錠1mg	8
40	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005587	リスパダールOD錠2mg	9
41	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	17
42	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005616	リスペリドン錠2mg「アメル」	17
43	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	621975402	リスペリドン内用液1mg/mL「MEEK」 0.1%	2
44	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005635	リスペリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	12
45	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	1
46	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170727	コントミン糖衣錠25mg	3
47	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170428	リントン錠(3mg)	3
48	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	610453151	レボトミン錠25mg	3
49	外用	622096401	オンプレス吸入用カプセル150μg	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	1
50	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	154

データ化範囲(分析対象)… 医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成26年3月～平成27年2月診療分(12カ月分)。

※リストは50件以下省略

(2)実施計画と目標

①実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	薬剤併用禁忌の対象者リストを作成
平成28年度	継続
平成29年度	継続

②目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・薬剤併用禁忌割合 10%減少 ※	・併用禁忌薬剤による健康被害 0%

※ 初年度の基準となったレセプトデータ時における併用禁忌発生人数との比較

9. 人間ドック等健康診査費用助成事業

(1) 実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	40歳以上の国民健康保険被保険者の人間ドック等検診利用者に対し、検診費用の助成を行う(契約医療機関のみ)。特定健診の検査項目を必須とし、特定健診受診率向上を図るとともに、特定保健指導該当者には、特定保健指導を実施する。
平成28年度	継続
平成29年度	継続

(2) 目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
事業の周知をすすめるとともに、事業が円滑に進むよう関係各課や関係機関との調整を行う。	人間ドック等健康診査費用助成事業利用者の増加

10. 若年者健康診査事業

(1) 実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	16～39歳の市民を対象に、生活習慣病予防や疾病の早期発見を目的とした健康診査を実施。健診受診者に健康講座や保健師相談の周知をし、保健指導につなげる。
平成28年度	継続
平成29年度	継続

(2) 目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
若年者への健康診査事業の周知方法の拡大	受診者を増加させる

11. ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業

(1)実施計画

平成27年度～平成29年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成27年度	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣病予防対策として、市民健康講座・ウォーキング教室・エアロビクスやボクササイズなどの運動教室等の健康相談や健康づくり教室の開催・健康づくりの啓発や普及対策として、市内大型店舗に向いての健康チェックの実施、市内イベントでの健康チェックブースの設置・市民自らの、生活習慣改善や健康づくりに関する取り組みやきっかけを応援する「かみす健康マイレージ」の実施・大学との協働で、市民の塩分摂取に関する実態を明らかにする取り組みを行う。
平成28年度	継続
平成29年度	継続

(2)目標

平成29年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
健康づくり事業の効果的な開催時期や期間を見直しながら、実施回数を増加させる	健康づくり事業の参加者が増加する

V. その他

1. データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図り、特定健康診査及び特定保健指導の実績(個人情報に関する部分を除く)、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施、目標達成等について広く意見を求めるものとする。

2. 事業運営上の留意事項

(1)各種検(健)診等の連携

特定健診の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

(2)健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導は、被保険者のうち40歳から74歳までの方が対象になる。しかし、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

3. 個人情報の保護

特定健康診査及び特定保健指導に関わる個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。

また、特定健康診査及び特定保健指導にかかわる業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。